

Nikon

Waterproof Case

WP-AA1




.....





- | | |
|--------------------------|----|
| 使用説明書 | Jp |
| User's Manual | En |
| Benutzerhandbuch | De |
| Manuel d'utilisation | Fr |
| Manual del usuario | Es |
| 使用说明书 | Sc |
| 使用説明書 | Tc |
| Användarhandbok | Sv |
| Руководство пользователя | Ru |
| Gebruikshandleiding | Nl |
| دليل المستخدم | Ar |
| Manuale d'uso | It |
| 사용설명서 | Kr |
| คู่มือการใช้งาน | Th |
| Manual bagi Pengguna | Id |

安全上のご注意





あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。


-  **危険** 「死亡または重傷を負うおそれ大きい内容」です。
-  **警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
-  **注意** 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。


-  は、してはいけない内容です。
-  は、実行しなければならない内容です。


警告

-  **分解禁止** 分解、修理または改造をしない
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
感電やけがの原因になります。
-  **実行** 熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電源を取り外す
放置すると、発火、やけどの原因になります。
-  **禁止** 引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。
-  **禁止** 幼児の手の届くところに置かない
故障やけがの原因になります。
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。


 **禁止** 指定外の電池は使わない
発火、感電の原因になります。


 **接触
禁止** 高温環境や低温環境では、直接触らない
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。


 **実行** 製品は、はずれないように正しく装着する
競技や施設のルールを遵守し、安全に配慮する
事故やけがの原因になります。


 **禁止** 製品は、競技用装備などの妨げになる場合は装着しない
事故やけがの原因になります。

注意

 **実行** 長時間使わないときは、電池を取り外す
故障や発火の原因になります。

 **禁止** 夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない
故障や発火の原因になります。

 **実行** 製品は、指や手、皮膚をはさまないようにとりつける
事故やけがの原因になります。

 **禁止** 製品を不安定な場所に置いたり、とりついたりしない
製品がはずれたり倒れたりすると、事故やけがの原因になります。

危険 (電池について)

電池は誤った使いかたをしない

注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



禁止

- 充電電池は、専用の充電電池以外を使わない
- 電池を火の中に入れてたり、加熱したりしない
- 電池を分解しない
- 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させてショート(短絡)しない
- 電池、または電池を入れたカメラに強い衝撃を与えたり、投げたりしない



禁止

リチャージャブルバッテリー EN-EL12は、EN-EL12の充電機能付きカメラ本体または専用の充電器以外で充電しない
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



実行

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受ける
放置すると、目に傷害を与える原因になります。

警告 (電池について)



禁止

電池を乳幼児の手の届く所に置かない
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。



禁止

水につけたり、雨にぬらしたりしない
発火や故障の原因になります。
ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってください。



禁止

変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない
所定の時間を超えても充電が完了しなければ、充電を中止する
放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



実行

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。
ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、自治体の規則に従って廃棄してください。



実行

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水で洗い流す
放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。

同梱物を確認する

本製品をお使いになる前に、次のものがそろっているかをご確認ください。

- ウォーターブルーケースWP-AA1
- 増設バッテリーケース（ウォーターブルーケースに格納されています）

使用上のご注意

- ウォーターブルーケースWP-AA1の中に、対応したデジタルカメラ以外は入れないでください。
- ご使用前に、必ず本製品およびカメラが正常に機能するか、水漏れしないか、確認してください。万一、取り扱い上の不注意により、水没（水漏れ）事故を起こした場合、内部機材（デジタルカメラ、バッテリー、メモリーカードなど）の損害、記録内容や撮影に要した諸費用などの補償は、ご容赦ください。また、本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償もご容赦ください。
- 本製品に衝撃が加わったり、防水パッキンが劣化していると思われるときはご購入店かカメラの説明書に記載のニコンサービス機関にご相談ください。
- ウォーターブルーケースWP-AA1は、ハンドルパーマウントAA-7に対応していません。ハンドルパーマウントAA-7には装着して使用しないでください。

水漏れの防止について

ウォーターブルーケース内のデジタルカメラや増設バッテリーケースが水に濡れると、故障の原因となり、修理不能となるばかりでなく、感電や発火、有毒ガス発生の原因となります。水漏れ（水没）事故を防ぐために、以下の注意を守ってご使用ください。

- ウォーターブルーケースを水中や水際でご使用になる前は、必ず記載の方法で水漏れテストを行ってください。
- ウォーターブルーケースを密閉する前に、防水パッキン、およびウォーターブルーケースの防水パッキンと接する部分に汚れや髪の毛、繊維、ほこりや砂粒、液体などの異物が付着していないことを念入りにご確認ください。また、防水パッキンがねじれたり、はみ出したり、外れたりしていないか、ご確認ください。
- 水しぶきのかかる場所や、風の当たる場所、ほこりや砂の多い場所でウォーターブルーケースの開閉を行わないでください。
- ウォーターブルーケースに外部から力を加えると、変形して気密性が失われ、水漏れの原因となります。重いものを載せたり、落としたり強く押ししたりしないでください。
- 万一、水漏れが確認された場合は、ただちに使用を中止し、ウォーターブルーケース内部とデジタルカメラの水分を十分に拭き取り、至急デジタルカメラおよびウォーターブルーケースをニコンサービス機関にお持ちください。

水漏れの確認方法について

カメラを入れる前に、空のウォーターブルーフケースを密閉した状態で水の中に入れて、水漏れチェックを行います。

- ケースから気泡が出ていないことを確認しながら、ゆっくりと入れてください。
- 2～3分間、水の中につけ、各ボタンなどを操作してもケースから気泡が出ていないことを確認してください。
- 水の中から出し、乾いた布で水分をよくふき取ってからケースを開けて、内部に水が溜まっていないか確認してください。

衝撃・振動について

ウォーターブルーフケースは、内部のデジタルカメラを衝撃から保護するためのものではありません。落としたり、固いものにぶついたり、水面に投げたり、持ったまま水に飛び込んだりしないでください。

最大深度について

ウォーターブルーフケースは水深40 m以内での水圧に耐えるように設計されております。40 mを超える水深では、水漏れのほか、ウォーターブルーフケースの破損や変形が起こるおそれや、内部のデジタルカメラの故障の原因となるおそれがあります。

温度について

ウォーターブルーフケースを高温になる場所や火気の近くで使用、保管すると、劣化や変形が起こるおそれがあります。また、急激な温度変化は、ウォーターブルーフケース内部に水滴を生じ、内部のデジタルカメラの故障の原因となります。水滴の発生を防ぐために、以下の注意を守ってご使用ください。

- 短時間で寒暖の差が大きい場所へ移動したときは、十分にウォーターブルーフケースを周囲の温度になじませてからカメラを取り出してください。
- 水の中に入れる前に、砂浜や直射日光が当たる場所など温度の高い場所に放置しないでください。

薬品の使用について

- ウォーターブルーフケース本体外観部にシールを貼ると、シールの接着剤によりケース本体の劣化の原因となりますのでご注意ください
- ウォーターブルーフケースに以下の薬品が直接、または気化した状態で触れると、ケース本体の劣化の原因となりますのでご注意ください。
 - お手入れの際に、アルコール、シンナーなど揮発性の薬品や化学洗剤、防錆剤を使用しないでください。真水（水道水など）で洗ってください。
 - 曇り止めを使用しないでください。
 - 接着剤を使用しないでください。
 - 日焼け止めなどの化粧品が付着しないようご注意ください。

飛行機を利用する際のご注意

飛行機などを利用する際には、できるだけ手荷物としてお持ちください。機内に預ける場合は、ウォータープルーフケースを密閉しないでください。密閉した状態で預けると、気圧差により、ケースが開きにくくなったり、破損したりするおそれがあります。

高所での取り扱いについて

登山などでウォータープルーフケースを高所で開閉した場合は、ケース内外の気圧差を調整するために、下山の途中で適宜、ケースを開閉してください。開閉せずに下山すると、ケースが開きにくくなったり、破損したりするおそれがあります。

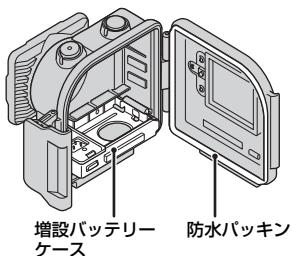
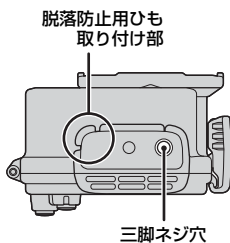
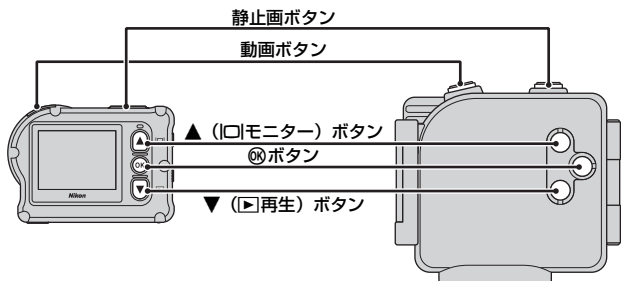
使用後のお手入れについて

- 使用後はカメラを入れて密閉したまま、真水（水道水など）をためた容器で洗ってください。その後乾いた柔らかい布を使用してウォータープルーフケースに付いている水滴をよく拭き取ってください。
- 中のカメラを取り出した後、ウォータープルーフケースの内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。
- 空のウォータープルーフケースを再度密閉し、真水（水道水など）をためた容器の中に2～3時間浸けてください。水の中で各ボタンなどを数回操作して、各部に付着した塩分を落としてください。塩分がついたままにしておくと、塩分が固まって動かなくなったり、金属部分がさびたりして水漏れの原因になることがあります。
- 乾いた柔らかい布を使用してウォータープルーフケースに付いている水滴をよく拭き取り、風通しのよい日陰で乾燥させてください。ウォータープルーフケースを乾燥させるときに、ヘヤードライヤーなどを使用したり、直射日光に当たったりしないでください。ウォータープルーフケースや防水パッキンが劣化し、水漏れの原因となります。

ウォータープルーフケースの保管について

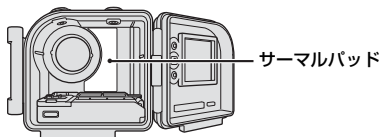
- ウォータープルーフケースを開けた状態で保管してください。また長期間使用しない場合は、清潔なビニール袋などに入れて防水パッキンにホコリなどがつかないように保管してください。
- 日陰などの涼しいところで保管してください。高温多湿の場所や、直射日光が当たる場所、極端に温度差がある場所に置かないでください。またナフタリンなどの防虫剤は、ウォータープルーフケースや防水パッキンを傷めますので、使用しないでください。

各部の名称



✓ サーマルパッドについてのご注意

- サーマルパッドは温度の上昇を抑える働きがあります。サーマルパッドを強く押ししたり、黒いテープをはがしたりしないでください。



撮影の準備をする

カメラ本体の準備をする

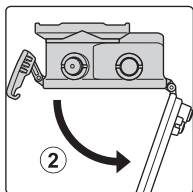
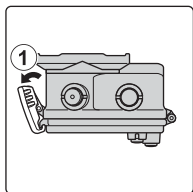
カメラのレンズプロテクターを外してください。

メモリーカードと、残量が充分にあるバッテリーをカメラに入れてください。

- 柔らかい布やエアダスターなどでカメラに付着した水分やごみを取り除いてください。水分が残った状態でカメラをウォータープルーフケースに入れると、結露の原因になります。

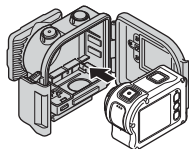
1 ウォータープルーフケースを開ける

- バックルを開け (①)、リアカバーを開きます (②)。



2 カメラを入れる

- レンズがウォータープルーフケースのレンズ窓に合うように入れてください。

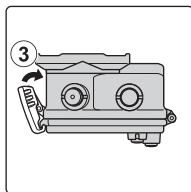
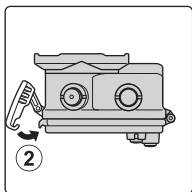
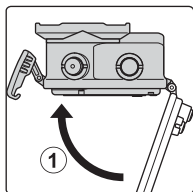


ウォータープルーフケースを閉める前に以下についてチェックをします。

- 防水パッキンが外れないように注意しながら、静かに閉じてください。
- バックルが完全にロックしているか確認してください。
- 水漏れを防止するために防水パッキンがはみ出したり、ケースに異物がはさまっていないか、再度確認してください。

3 ウォータープルーフケースを閉める

- リアカバーをフロントカバーに合わせてから (1) バックルをリアカバー側に倒してツメを引っ掛け (2)、カチッとロックされるまでバックルを倒して閉じま
す (3)。



レンズ窓がくもるときは

- カメラを取り出してしばらく動作させたあと、再度ウォータープルーフケースに入れるとくもりが取れることがあります。このとき、ウォータープルーフケースの内側に水分が残っていないかよくご確認ください。

リアカバーが開きにくいときは

次のような状況下では、周囲の温度変化によってウォータープルーフケースの内外に気圧差が生じ、リアカバーが開きにくくなる場合があります。

- リアカバーを閉じた状態で長時間放置したとき
- 高温下に長時間放置したとき
- 寒暖差の大きい場所へ移動したとき

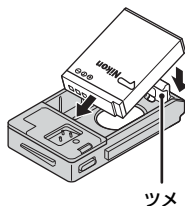
移動時や保管時はリアカバーが完全に閉まらないようご注意ください。

バッテリーを増設する

バッテリーを増設することができます。

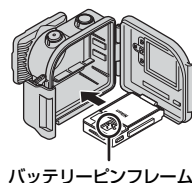
1 増設バッテリーケースにバッテリーを入れる

- +と-を正しい向きにし、ツメで固定される位置まで押し込んでください。
- 電源端子に指を触れたり濡らしたりすると、故障の原因になりますので、ご注意ください。



2 増設バッテリーをウォータープルーフケースの増設バッテリーケース収納部へ入れる

- バッテリーピンフレームに指を触れたり濡らしたりすると、故障の原因になりますので、ご注意ください。
- 取り外すときは、増設バッテリーケースのツメを外側に開くように押しながら、ケース裏側にある孔からバッテリーを押ししてください。



高温の状況下での撮影について

- バッテリー残量が十分でも、高温の状況下でカメラが熱くなった場合は連続撮影が終了することがあります。

主な仕様

耐圧	水深40 m 以内
デジタルカメラ動作環境温度	-10℃～+40℃ (陸上)、0℃～40℃ (水中)
寸法 (W×H×D)	約90.2×80.3×48.8 mm (突起部除く)
質量	約133 g (バッテリー、カメラ含まず)

ウォータープルーフケースWP-AA1の防水性能はJIS保護等級IPX8に相当し、水深40 m 以内で30分までの使用では浸水しないことが確認されています。

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

For Your Safety

To prevent damage to property or injury to yourself or to others, read "For Your Safety" in its entirety before using this product.

Keep these safety instructions where all those who use this product will read them.



DANGER

Failure to observe the precautions marked with this icon carries a high risk of death or severe injury.



WARNING

Failure to observe the precautions marked with this icon could result in death or severe injury.



CAUTION

Failure to observe the precautions marked with this icon could result in injury or property damage.



WARNING

- Do not disassemble or modify this product.
Do not touch internal parts that become exposed as the result of a fall or other accident. Failure to observe these precautions could result in electric shock or other injury.
- Should you notice any abnormalities such as the product producing smoke, heat, or unusual odors, immediately disconnect the battery or power source. Continued operation could result in fire, burns or other injury.
- Do not use this product in the presence of flammable dust or gas such as propane, gasoline or aerosols. Failure to observe this precaution could result in explosion or fire.
- Keep this product out of reach of children. Failure to observe this precaution could result in injury or product malfunction. In addition, note that small parts constitute a choking hazard. Should a child swallow any part of this product, seek immediate medical attention.
- Do not use batteries not specifically designated for use with this product. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.
- Do not handle with bare hands in locations exposed to extremely high or low temperatures. Failure to observe this precaution could result in burns, or frostbite.

- Be sure the product has been properly secured. Observe the rules and regulations of all facilities and in all contests where the product is to be used. Failure to observe these precautions could result in accidents or other injury.
- Do not wear this product if this will interfere with the use of required equipment. Failure to observe this precaution could result in accidents or other injury.



CAUTION

- Remove the batteries if this product will not be used for an extended period. Failure to observe this precaution could result in fire or product malfunction.
- Do not leave the product where it will be exposed to extremely high temperatures, for an extended period such as in an enclosed automobile or in direct sunlight. Failure to observe this precaution could result in fire or product malfunction.
- Take care that your fingers, hands, and skin do not get caught in the equipment. Failure to observe this precaution could result in accidents or other injury.
- Do not place the product on, or attach it to, unstable surfaces. Failure to observe this precaution could result in the product coming loose or falling over, causing accidents or other injury.



DANGER for Batteries

- Do not mishandle batteries. Failure to observe the following precautions could result in the batteries leaking, overheating, rupturing, or catching fire:
 - Use only rechargeable batteries approved for use in this product.
 - Do not expose batteries to flame or excessive heat.
 - Do not disassemble.
 - Do not short-circuit the terminals by touching them to necklaces, hairpins, or other metal objects.
 - Do not expose batteries or the products in which they are inserted to powerful physical shocks.
- Do not attempt to recharge EN-EL12 rechargeable batteries using chargers/cameras not specifically designated for this purpose. Failure to observe this precaution could result in the batteries leaking, overheating, rupturing, or catching fire.
- If battery liquid comes into contact with the eyes, rinse with plenty of clean water and seek immediate medical attention. Delaying action could result in eye injuries.



WARNING for Batteries

- Keep batteries out of reach of children. Should a child swallow a battery, seek immediate medical attention.
- Do not immerse batteries in water or expose to rain. Failure to observe this precaution could result in fire or product malfunction. Immediately dry the product with a towel or similar object should it become wet.
- Discontinue use immediately should you notice any changes in the batteries, such as discoloration or deformation. Cease charging batteries if they do not charge in the specified period of time. Failure to observe this precaution could result in the batteries leaking, overheating, rupturing, or catching fire.
- Prior to disposal, insulate battery terminals with tape. Overheating, rupture, or fire may result should metal objects come into contact with the terminals. Recycle or dispose of batteries in accord with local regulations.
- If battery liquid comes into contact with a person's skin or clothing, immediately rinse the affected area with plenty of clean water. Failure to observe this precaution could result in skin irritation.

Notices

Notices for Customers in Europe

CAUTIONS

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE.

DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS.

This symbol indicates that electrical and electronic equipment is to be collected separately.

The following apply only to users in European countries:

- This product is designated for separate collection at an appropriate collection point. Do not dispose of as household waste.
- Separate collection and recycling helps conserve natural resources and prevent negative consequences for human health and the environment that might result from incorrect disposal.
- For more information, contact the retailer or the local authorities in charge of waste management.



Package contents

Before using this product, check whether the following items are supplied.

- WP-AA1 Waterproof Case
- Additional battery case (inside the waterproof case)

Precautions for Use

- Do not put items other than the compatible camera in the WP-AA1 Waterproof Case.
- Before using the waterproof case, check that this product and the camera will operate correctly and there is no water leakage. In the unlikely event that a malfunction of the waterproof case causes damage due to submersion (water leakage), Nikon does not guarantee against damages to the internal equipment (camera, battery, memory card, etc.) and the recorded contents, nor expenses entailed with regard to the photography. Nikon will not be held liable for damages or lost profits that may result from product malfunction.
- If the waterproof case is exposed to shocks or the waterproofing packing seems deteriorated, it is recommended to consult your retailer or Nikon-authorized service representative described in the camera's manual.
- Do not attach the WP-AA1 Waterproof Case to the AA-7 Handlebar Mount, because they are not compatible with each other.

Preventing Leakage

Water inside the waterproof case may expose the camera and additional battery case to irreparable damage as well as result in fire, electric shock, or exposure to poisonous gases. The entry of water into the waterproof case can be prevented by observing the following precautions:

- Before using the waterproof case in or near water, test for leaks as described in this manual.
- Before sealing the waterproof case, examine the waterproofing packing and parts of the waterproof case that are in contact with the waterproofing packing carefully to ensure that they are free of liquid, dirt, hair, lint, dust, sand, and other foreign objects. Make sure that the waterproofing packing is not twisted or out of position.
- Do not open the waterproof case in areas exposed to spray, high winds, dust, or sand.
- Do not drop the waterproof case, place it under heavy objects, or subject it to excessive force. Failure to observe this precaution could cause the waterproof case to warp, resulting in leakage.
- In the event of leakage, stop use immediately, dry the camera and the interior of the waterproof case, and take the camera and the waterproof case to a Nikon-authorized service representative.

The Preliminary Leak Test

Before placing the camera in the waterproof case, latch the waterproof case and immerse it in water to check for leaks as described below.

- Latch the waterproof case and then slowly immerse it in water, stopping if air is expelled from inside the waterproof case.
- Immerse the waterproof case and operate the buttons under water for 2 to 3 minutes, checking whether bubbles escape.
- Take the waterproof case out of the water and dry it thoroughly with a soft, dry cloth, then open the waterproof case and check for water inside.

Shock and Vibration

The waterproof case is not designed to protect the camera from blows or vibration. Do not drop the waterproof case, strike it against hard objects, throw it into water, or jump into water holding the waterproof case.

Maximum Depth

The waterproof case is waterproof up to 40 m (131 ft). At greater depths, the waterproof case could leak, break, or change shape, resulting in damage to the camera.

Temperature

Do not leave the waterproof case in areas exposed to high temperature, or near fire. Failure to observe this precaution could weaken or warp the waterproof case. Sudden changes in temperature could result in condensation inside the waterproof case, which could also damage the camera. To prevent condensation:

- When you have moved from one location to another that is noticeably warmer or colder, leave the camera in the waterproof case until it has reached the same temperature as its surroundings.
- Do not expose the waterproof case to high temperatures by leaving it on the beach or in direct sunlight before entering the water.

Chemicals

- Do not apply stickers to the waterproof case, as the adhesive could cause the case to deteriorate.
- Do not expose the waterproof case to the following chemicals or their vapors. Failure to observe this precaution could result in damage to the waterproof case.
 - Do not use chemical detergents, rust inhibitors, thinner, alcohol, or other volatile chemicals when cleaning the waterproof case. Wash in fresh water only.
 - Do not use anti-fog chemicals.
 - Do not use adhesives.
 - Be careful not to apply cosmetics such as sunscreen.

Travelling by Air

If possible, include the waterproof case in your carry-on baggage when travelling by air. When packing the waterproof case with checked luggage, leave the waterproof case open. If the waterproof case is sealed, changes in air pressure may damage the waterproof case or prevent the waterproof case from opening.

High Altitudes

When travelling from high to low altitudes, open the waterproof case periodically to equalize the pressure. If the waterproof case is kept sealed, changes in air pressure may damage the case or prevent it from opening.

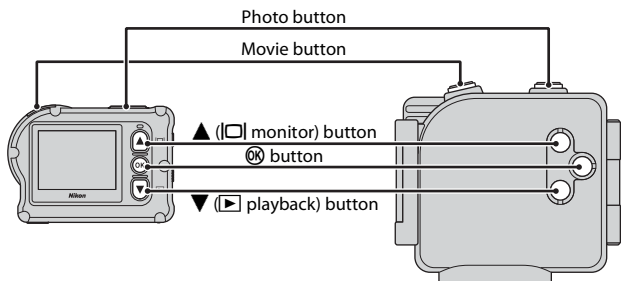
After Use

- Clean the waterproof case as soon as possible after use. Without opening the waterproof case or removing the camera, wash the waterproof case in a basin of fresh water. Dry the exterior of the waterproof case thoroughly with a soft, dry cloth.
- Remove the camera and wipe the interior of the waterproof case with a soft, dry cloth. Do not wash the interior of the waterproof case with water.
- Reseal the case and leave it in a basin of fresh water for two to three hours. Operate each of the buttons a few times to remove salt. If salt dries on the buttons, they may cease to function or their metal parts may rust, causing the waterproof case to leak.
- Dry the waterproof case thoroughly with a soft, dry cloth. Do not use a cloth to which salt has adhered. Leave the waterproof case out to dry in a shady, well-ventilated area. Do not use a hair dryer or other heat source or place the case in direct sunlight. Heat could cause the waterproof case or waterproofing packing to deteriorate, resulting in leakage.

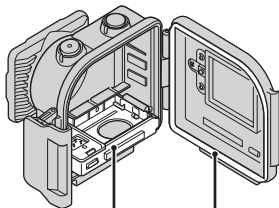
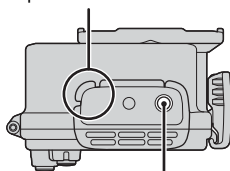
Storage

- Leave the waterproof case open. When leaving the waterproof case unused for an extended period, place it in a clean plastic bag to protect the waterproofing packing from dust.
- Store the waterproof case in a cool, well-ventilated area. Do not store the waterproof case in direct sunlight or where it will be exposed to sudden changes in temperature or high levels of humidity. Do not store the waterproof case or waterproofing packing with naphtha or camphor moth balls.

Names of Parts



Eyelet for fall prevention cord



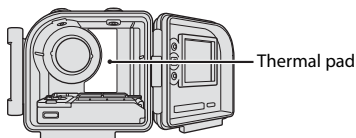
Tripod socket

Additional battery case

Waterproofing packing

✓ Notes about the thermal pad

The thermal pad prevents the temperature from rising. Do not press hard on the thermal pad, and do not peel off the black tape.



Preparing the Camera

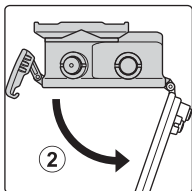
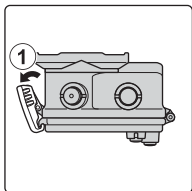
Prepare the camera

Remove the lens protector from the camera. Insert a memory card and fully-charged battery.

- Use a soft cloth or air duster to remove foreign substances such as water or dust from the camera. If the camera is still wet when inserted into the waterproof case, this could cause condensation.

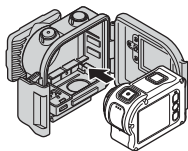
1 Open the waterproof case.

- Open the buckle (1), then open the rear cover (2).



2 Insert the camera.

- Insert the camera into the waterproof case so that the lens fits in the lens window.

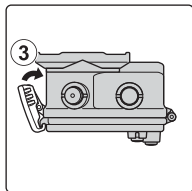
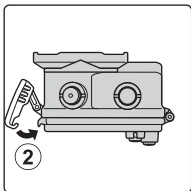
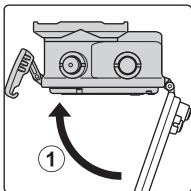


Perform following checks before closing the waterproof case.

- Quietly close the waterproof case so that the waterproofing packing will not come off.
- Be sure the buckle is fully locked.
- To prevent the water leakage, check again that the waterproofing packing is not squeezed-out or that a foreign object is not caught in the waterproof case.

3 Close the waterproof case.

- Match the rear cover to front cover (①), tilt the buckle to the rear cover side and hook the claw (②), then tilt the buckle until it clicks into the place and lock (③).



If the lens window becomes fogged

- To clear the fogging, try removing the camera from the waterproof case and using it for a while before putting it back inside. Make sure that no water remains in the waterproof case when you place the camera back inside.

If the rear cover is difficult to open

In the circumstances described below, the rear cover may become difficult to open due to a difference in air pressure caused by a change in the surrounding temperature.

- When storing the waterproof case for a long period of time with the rear cover closed
- When storing the waterproof case in hot conditions for a long period of time
- When moving the waterproof case to a place with a significant difference in temperature

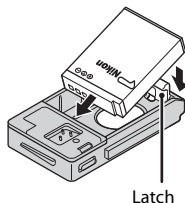
Make sure that the rear cover is not closed completely when moving or storing the waterproof case.

Adding a battery

You can add a battery.

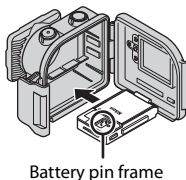
1 Insert the battery to the additional battery case.

- With the positive and negative terminals oriented correctly, insert the battery until the latch holds it firmly in place.
- Be careful not to wet or touch the power terminal as it may cause a malfunction.



2 Insert the additional battery into the additional battery case storage unit of the waterproof case.

- If you wet or touch the battery pin frame, it may cause a malfunction.
- To remove the battery, pull the latch outward and push up through the opening on the bottom of the additional battery case.



Recording in high-temperature conditions

- Recording may stop if the camera becomes hot when using it in high-temperature conditions, even if the battery is sufficiently charged.

Specifications

Maximum water depth	40 m (131 ft)
Camera operating temperature	-10°C– +40°C (14°F–104°F) (for land use), 0°C–40°C (32°F–104°F) (for underwater use)
Dimensions (W x H x D)	Approx. 90.2 x 80.3 x 48.8 mm (3.6 x 3.2 x 2.0 in.) (excluding projections)
Weight	Approx. 133 g (4.7 oz) (excluding battery and camera)

The waterproof performance of the WP-AA1 Waterproof Case is equivalent to JIS/IEC waterproof class 8 (IPX8). It is confirmed that water will not enter the waterproof case if held underwater at depths up to 40 m for up to 30 minutes.

- Nikon will not be held liable for any errors this manual may contain.
- The appearance of this product and its specifications are subject to change without notice.

Sicherheitshinweise

Lesen Sie die Sicherheitshinweise vor der Inbetriebnahme dieses Produkts vollständig durch, um Sach- oder Personenschäden zu verhüten.

Bewahren Sie diese Hinweise griffbereit für alle Personen auf, die das Produkt benutzen.



GEFAHR

Das Missachten der Warnhinweise, die so gekennzeichnet sind, birgt ein hohes Risiko für schwere oder tödliche Verletzungen.



WARNUNG

Das Missachten der Warnhinweise, die so gekennzeichnet sind, könnte zu schweren Verletzungen oder zum Tod führen.



VORSICHT

Das Missachten der Warnhinweise, die so gekennzeichnet sind, könnte zu Sach- oder Personenschäden führen.



WARNUNG

- Das Produkt nicht auseinandernehmen oder modifizieren. Berühren Sie keine Teile aus dem Geräteinnern, die infolge eines Sturzes oder eines anderen Unfallereignisses freiliegen. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahmen kann einen Stromschlag oder andere Verletzungen verursachen.
- Sollte das Produkt qualmen, sich überhitzen oder ungewöhnliche Gerüche absondern, nehmen Sie sofort den Akku heraus bzw. trennen Sie sofort die Stromversorgung. Die fortgesetzte Verwendung kann Brandgefahr, Verbrennungen oder andere Verletzungen zur Folge haben.
- Verwenden Sie dieses Produkt nicht in der Gegenwart von entflammbarem Staub oder Gas (wie z. B. Propangas, Benzin oder Aerosole). Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann eine Explosion oder einen Brand verursachen.
- Das Produkt von Kindern fernhalten. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann zu Verletzungen oder zur Beschädigung des Produkts führen. Beachten Sie außerdem, dass Kleinteile ein Erstickenrisiko darstellen. Sollte ein Kind irgendein Teil dieses Produkts verschlucken, konsultieren Sie sofort einen Arzt.
- Verwenden Sie keine Akkus, die nicht ausdrücklich für dieses Produkt bestimmt sind. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann einen Brand oder Stromschlag verursachen.
- An Orten mit extrem hohen oder niedrigen Temperaturen nicht mit bloßen Händen handhaben. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann zu Verbrennungen oder Erfrierungen führen.

- Vergewissern Sie sich, dass das Produkt richtig befestigt wurde. Beachten Sie die Regeln und Vorschriften der Einrichtungen und Wettbewerbe, bei denen das Produkt verwendet werden soll. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahmen kann zu Unfällen und Verletzungen führen.
- Tragen Sie dieses Produkt nicht, wenn es die Verwendung der erforderlichen Ausrüstung beeinträchtigen würde. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann zu Unfällen und Verletzungen führen.



VORSICHT

- Nehmen Sie die Akkus/Batterien heraus, wenn das Produkt für längere Zeit nicht benutzt wird. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann einen Brand oder Produktschäden verursachen.
- Bewahren Sie das Produkt nicht längere Zeit an Orten auf, an denen es extrem hohen Temperaturen ausgesetzt ist, wie in einem geschlossenen Auto oder direkt in der Sonne. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann einen Brand oder Produktschäden verursachen.
- Geben Sie Acht, dass Ihre Finger, Hände und Haut nicht von der Ausrüstung eingeklemmt werden. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann zu Unfällen und Verletzungen führen.
- Das Produkt nicht auf instabilen, unsicheren Flächen platzieren oder daran befestigen. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann zum Umkippen oder Abfallen des Produkts, und dadurch zu Unfällen und Verletzungen führen.



GEFAHR für Batterien

- Behandeln Sie Akkus sachgemäß. Das Missachten der folgenden Vorsichtsmaßnahmen kann dazu führen, dass Akkus auslaufen, überhitzen, aufplatzen oder sich entzünden:
 - Verwenden Sie nur wiederaufladbare Akkus, die für dieses Produkt zugelassen sind.
 - Setzen Sie Akkus keiner großen Hitze oder offenem Feuer aus.
 - Nicht auseinandernehmen.
 - Verhindern Sie das Kurzschließen der Kontakte durch Halsketten, Haarnadeln oder andere Metallgegenstände.
 - Setzen Sie Akkus bzw. Produkte mit eingesetzten Akkus keinen kräftigen Stößen aus.
- Laden Sie Akkus EN-EL12 ausschließlich mit Ladegeräten bzw. Kameras auf, die für diesen Akkutyp vorgesehen sind. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann dazu führen, dass Akkus auslaufen, überhitzen, aufplatzen oder sich entzünden.
- Sollte aus Akkus ausgetretene Substanz mit den Augen in Kontakt kommen, spülen Sie diese sofort mit reichlich sauberem Wasser aus und konsultieren Sie umgehend einen Arzt. Verzögerte Maßnahmen können zur Schädigung der Augen führen.



WARNUNG für Batterien

- Akkus von Kindern fernhalten. Sollte ein Kind einen Akku verschlucken, konsultieren Sie sofort einen Arzt.
- Tauchen Sie Akkus niemals ins Wasser und schützen Sie sie vor Regen. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann einen Brand oder Produktschäden verursachen. Trocknen Sie das Produkt sofort mit einem Handtuch oder ähnlichem, wenn es nass geworden ist.
- Benutzen Sie Akkus nicht weiter, wenn Sie Veränderungen wie Verfärbungen oder Verformungen feststellen. Beenden Sie die Aufladung der Akkus, wenn Sie nicht innerhalb der angegebenen Zeit aufgeladen sind. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann dazu führen, dass Akkus auslaufen, überhitzen, aufplatzen oder sich entzünden.
- Isolieren Sie vor dem Entsorgen von Akkus deren Kontakte mit Klebeband. Wenn die Kontakte mit Metallgegenständen in Berührung kommen, besteht die Gefahr der Überhitzung, des Aufplatzens oder eines Brandes. Beachten Sie die örtlichen Vorschriften für das Entsorgen bzw. Recycling von Akkus.
- Sollte aus Akkus ausgetretene Substanz mit der Haut oder der Kleidung in Kontakt kommen, spülen Sie den betroffenen Bereich sofort mit reichlich sauberem Wasser ab bzw. aus. Das Missachten dieser Vorsichtsmaßnahme kann Hautreizungen verursachen.

Hinweise

Hinweis für Kunden in Europa

VORSICHT

EXPLOSIONSGEFAHR BEI EINSETZEN EINES FALSCHEN AKKUTYPS.

AKKUS ENTSPRECHEND DEN ANWEISUNGEN ENTSORGEN.

Durch dieses Symbol wird angezeigt, dass elektrische und elektronische Geräte getrennt entsorgt werden muss.

Folgendes gilt für Verbraucher in europäischen Ländern:

- Dieses Produkt muss an einer geeigneten Sammelstelle separat entsorgt werden. Eine Entsorgung über den Hausmüll ist unzulässig.
- Durch getrennte Entsorgung und Recycling können natürliche Rohstoffe bewahrt und durch falsche Entsorgung verursachte, schädliche Folgen für die menschliche Gesundheit und Umwelt verhindert werden.
- Weitere Informationen erhalten Sie bei Ihrem Fachhändler oder bei den für die Abfallentsorgung zuständigen Behörden bzw. Unternehmen.



Lieferumfang

Überprüfen Sie vor der Verwendung dieses Produkts, ob die folgenden Teile im Lieferumfang enthalten sind.

- Unterwassergehäuse WP-AA1
- Zusätzliches Akkufach (im Unterwassergehäuse)

Vorsichtsmaßnahmen

- Setzen Sie keine anderen Gegenstände als die kompatible Kamera in das Unterwassergehäuse WP-AA1.
- Prüfen Sie, bevor Sie das Unterwassergehäuse verwenden, das Produkt und die Kamera auf einen korrekten Betrieb und Wassereintritt. In dem unwahrscheinlichen Fall, dass eine Fehlfunktion des Unterwassergehäuses einen Schaden durch das Eintauchen (Wassereintritt) verursacht, haftet Nikon nicht für Schäden an der inneren Ausrüstung (Kamera, Akku, Speicherkarte usw.) und dem aufgezeichneten Inhalt und übernimmt keine Kosten für die Fotografien. Nikon übernimmt keine Haftung für Schäden oder Umsatzausfälle, die durch Funktionsstörungen des Produkts verursacht wurden.
- Wenn das Unterwassergehäuse Stößen ausgesetzt wird oder die Wasserdichtung beschädigt scheint, wird empfohlen, sich an den Händler oder den Nikon-Kundendienst zu wenden, so, wie im Handbuch der Kamera beschrieben.
- Bringen Sie das Unterwassergehäuse WP-AA1 nicht an der Lenkerbefestigung AA-7 an, weil sie nicht miteinander kompatibel sind.

Verhindern von Wassereintritt

Wasser im Unterwassergehäuse kann irreparable Schäden an der Kamera und dem zusätzlichen Akkufach verursachen, und einen Brand, Stromschlag oder eine Gefährdung durch Giftgase zur Folge haben. Der Eintritt von Wasser in das Unterwassergehäuse kann durch die Einhaltung folgender Vorsichtsmaßnahmen verhindert werden:

- Prüfen Sie das Unterwassergehäuses auf einen Wassereintritt, wie in dieser Anleitung beschrieben, bevor Sie es in oder in der Nähe von Wasser verwenden.
- Prüfen Sie, bevor Sie das Unterwassergehäuse dicht verschließen, die Wasserdichtung und Teile des Unterwassergehäuses, die die Wasserdichtung berühren, sorgfältig, um sicherzustellen, dass sie frei von Flüssigkeit, Schmutz, Haaren, Flusen, Staub, Sand und anderen Fremdkörpern sind. Stellen Sie sicher, dass die Wasserdichtung nicht verdreht ist und sich an der richtigen Stelle befindet.
- Öffnen Sie das Unterwassergehäuse nicht an Orten, an denen es Gischt, starken Winden, Staub oder Sand ausgesetzt ist.
- Lassen Sie das Unterwassergehäuse nicht fallen, legen sie es nicht unter schwere Gegenstände und schützen Sie es vor übermäßigen Belastungen. Eine Nichtbeachtung dieser Vorsichtsmaßnahme kann zu Verformungen und somit zu einem Wassereintritt führen.
- Verwenden Sie das Produkt im Falle eines Wassereintritts nicht mehr, trocknen Sie die Kamera und das Innere des Unterwassergehäuses und lassen Sie die Kamera und das Unterwassergehäuse von einem autorisierten Nikon-Kundendienst überprüfen.

Vorbereitende Dichtigkeitsprüfung

Bevor Sie die Kamera in das Unterwassergehäuse einsetzen verriegeln Sie das Unterwassergehäuse und tauchen Sie es in Wasser, um es wie unten beschrieben, auf einen Wassereintritt zu prüfen.

- Verriegeln Sie das Unterwassergehäuse und tauchen Sie es langsam in Wasser. Unterbrechen Sie den Vorgang, wenn aus dem Inneren des Unterwassergehäuses Luft austritt.
- Tauchen Sie das Unterwassergehäuse in Wasser und betätigen Sie die Tasten 2 bis 3 Minuten unter Wasser, um zu prüfen, ob Luftblasen aufsteigen.
- Nehmen Sie das Unterwassergehäuse aus dem Wasser und trocknen Sie es gründlich mit einem weichen, trockenen Tuch. Öffnen Sie dann das Unterwassergehäuse und prüfen Sie, ob Wasser eingedrungen ist.

Stöße und Vibrationen

Das Unterwassergehäuse ist nicht dafür ausgelegt die Kamera vor Stößen und Vibrationen zu schützen. Lassen Sie das Unterwassergehäuse nicht fallen, schlagen Sie es nicht gegen harte Gegenstände, werfen Sie es nicht ins Wasser und springen Sie nicht ins Wasser, während Sie das Unterwassergehäuse festhalten.

Maximale Tiefe

Das Unterwassergehäuse ist bis 40 m wasserdicht. In größeren Tiefen könnte das Unterwassergehäuse undicht werden, brechen, seine Form ändern und die Kamera könnte beschädigt werden.

Umgebungstemperatur

Legen Sie das Unterwassergehäuse nicht an Orten ab, an denen es hohen Temperaturen ausgesetzt ist oder in der Nähe eines Feuers. Bei Nichtbeachtung dieser Vorsichtsmaßnahme kann das Unterwassergehäuse spröde werden oder sich verformen. Plötzliche Temperaturschwankungen können zur Kondensation im Inneren des Unterwassergehäuses führen, die ebenfalls die Kamera beschädigen könnte. Verhindern der Kondensation:

- Wenn Sie sich von einem Ort, der spürbar wärmer war, zu einem Ort, der spürbar kälter ist, bewegt haben, lassen Sie die Kamera in dem Unterwassergehäuse, bis sie die Umgebungstemperatur erreicht hat.
- Setzen Sie das Unterwassergehäuse keinen hohen Temperaturen, wie an einem heißen Strand oder der direkten Sonneneinstrahlung aus, bevor Sie sich in das Wasser begeben.

Chemikalien

- Bringen Sie keine Aufkleber auf dem Unterwassergehäuse an, da der Kleber Schäden am Gehäuse verursachen könnte.
- Setzen Sie das Unterwassergehäuse nicht den folgenden Chemikalien oder ihren Dämpfen aus. Bei Nichtbeachtung dieser Vorsichtsmaßnahme kann es zur Beschädigung des Unterwassergehäuses kommen.
 - Benutzen Sie keine chemischen Reinigungsmittel, Rostschutzmittel, Verdüner, Alkohol oder andere flüchtige Chemikalien zur Reinigung des Unterwassergehäuses. Reinigen Sie es nur mit frischem Wasser.
 - Benutzen Sie keine Antibeschlag-Chemikalien.
 - Verwenden Sie keine Klebemittel.
 - Tragen Sie keine Kosmetika, wie Sonnenschutzmittel auf.

Reisen mit dem Flugzeug

Transportieren Sie, wenn möglich, das Unterwassergehäuse im Handgepäck. Wenn Sie das Unterwassergehäuse im aufgegebenen Gepäck transportieren, lassen Sie das Unterwassergehäuse offen. Wenn das Unterwassergehäuse dicht verschlossen ist, können Luftdruckveränderungen das Unterwassergehäuse beschädigen oder dazu führen, dass es sich nicht öffnen lässt.

Große Höhen

Wenn Sie von großen Höhen in niedrige Höhen reisen, öffnen sie das Unterwassergehäuse regelmäßig, um einen Druckausgleich sicherzustellen. Wenn das Unterwassergehäuse dicht geschlossen ist, können Luftdruckveränderungen das Gehäuse beschädigen oder dazu führen, dass es sich nicht öffnen lässt.

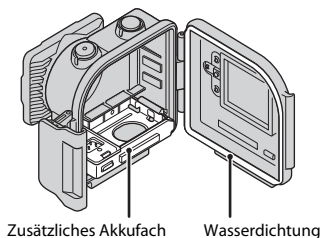
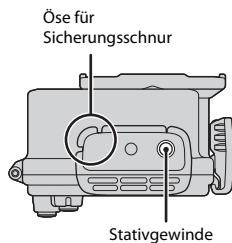
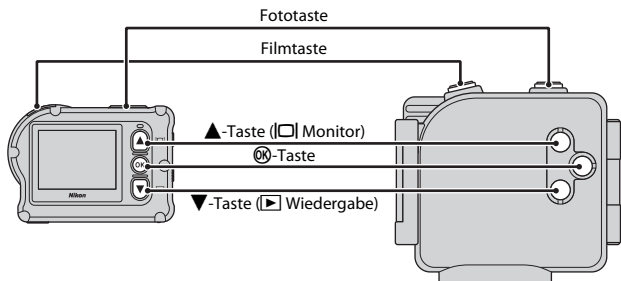
Nach Gebrauch

- Reinigen Sie das Unterwassergehäuse sobald wie möglich nach dem Gebrauch. Reinigen Sie das Unterwassergehäuse in einem Behälter mit frischem Wasser ohne das Gehäuse zu öffnen oder die Kamera zu entfernen. Trocknen Sie das Äußere des Unterwassergehäuses gründlich mit einem weichen, trockenen Tuch.
- Nehmen Sie die Kamera heraus und wischen Sie das Innere des Unterwassergehäuses mit einem weichen, trockenen Tuch ab. Reinigen Sie das Innere des Unterwassergehäuses nicht mit Wasser.
- Verschließen Sie das Gehäuse wieder dicht und lassen Sie es zwei bis drei Stunden in einem Behälter mit frischem Wasser liegen. Betätigen Sie jede Taste einige Male, um Salz zu entfernen. Wenn Salz auf den Tasten eintrocknet, funktionieren sie möglicherweise nicht mehr oder die Metallteile rosten und es kommt zu einem Wassereintritt.
- Trocknen Sie das Unterwassergehäuses gründlich mit einem weichen, trockenen Tuch. Verwenden Sie nicht das Tuch, mit dem Sie das Salz abgewischt haben. Lassen Sie das Unterwassergehäuse an einem trockenen, schattigen und gut belüfteten Ort trocknen. Benutzen Sie keinen Föhn und keine andere Wärmequelle und setzen Sie das Gehäuse nicht direktem Sonnenlicht aus. Hitze kann das Unterwassergehäuse oder die Wasserdichtung beschädigen, wodurch es zu einem Wassereintritt kommen könnte.

Lagerung

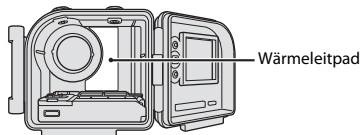
- Lassen Sie das Unterwassergehäuse offen. Wenn Sie das Unterwassergehäuse längere Zeit nicht benutzen, legen Sie es in einen sauberen Kunststoffbeutel, um sicherzustellen, dass seine Wasserdichtung staubfrei bleibt.
- Bewahren Sie das Unterwassergehäuse an einem kühlen und gut belüfteten Ort auf. Lagern Sie das Unterwassergehäuse nicht in direktem Sonnenlicht oder an einem Ort, an dem es plötzlichen Temperaturschwankungen oder einer hohen Feuchtigkeit ausgesetzt ist. Lagern Sie das Unterwassergehäuse oder die Wasserdichtung nicht zusammen mit Naphtha oder Mottenkugeln.

Teilebezeichnung



✓ Hinweise zum Wärmeleitpad

Das Wärmeleitpad verhindert ein Ansteigen der Temperatur. Drücken Sie nicht fest auf das Wärmeleitpad und lösen Sie nicht das schwarze Kleband ab.



Vorbereitung der Kamera

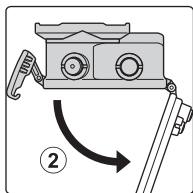
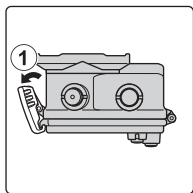
Bereiten Sie die Kamera vor

Entfernen Sie den Objektivschutz von der Kamera. Setzen Sie eine Speicherkarte und einen voll aufgeladenen Akku ein.

- Verwenden Sie ein weiches Tuch oder ein Druckluftspray, um Fremdpartikel wie Wasser oder Staub von der Kamera zu entfernen. Falls die Kamera noch feucht ist, wenn sie in das Unterwassergehäuse eingeführt wird, kann dies zu Kondensation führen.

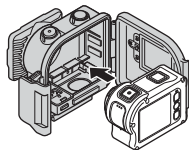
1 Öffnen Sie das Unterwassergehäuse.

- Öffnen Sie den Verschluss (①) und dann die hintere Abdeckung (②).



2 Setzen Sie die Kamera ein.

- Setzen Sie die Kamera so in das Unterwassergehäuse, dass das Objektiv in das Objektivfenster passt.

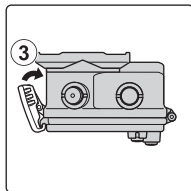
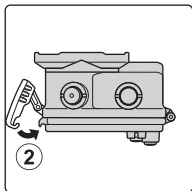
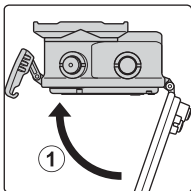


Führen Sie folgende Prüfungen durch, bevor Sie das Unterwassergehäuse schließen.

- Schließen Sie das Unterwassergehäuse vorsichtig, damit sich die Wasserdichtung nicht löst.
- Stellen Sie sicher, dass der Verschluss vollständig verriegelt ist.
- Um einen Wassereintritt zu verhindern, prüfen Sie erneut, dass die Wasserdichtung nicht herausgedrückt wurde und sich keine Fremdkörper im Unterwassergehäuse befinden.

3 Schließen Sie das Unterwassergehäuse.

- Richten Sie die hintere Abdeckung mit der vorderen Abdeckung (1) aus, kippen Sie den Verschluss zur Seite der hinteren Abdeckung, haken Sie den Greifer (2) ein, und legen Sie dann den Verschluss um, bis er hörbar einrastet (3).



Wenn das Objektivfenster beschlägt

- Um das Kondensat zu entfernen, versuchen Sie die Kamera aus dem Unterwassergehäuse zu entfernen und eine Weile zu verwenden, bevor Sie sie wieder einsetzen. Stellen Sie sicher, dass kein Wasser im Unterwassergehäuse verbleibt, wenn Sie die Kamera wieder einsetzen.

Wenn sich die hintere Gehäusehälfte schwer öffnen lässt

Unter den nachfolgend beschriebenen Umständen ist es aufgrund eines Luftdruckunterschieds, der durch eine Veränderung in der Umgebungstemperatur verursacht wird, möglicherweise schwierig, die hintere Gehäusehälfte zu öffnen.

- Bei Lagerung des Unterwassergehäuses über einen längeren Zeitraum mit geschlossener hinterer Gehäusehälfte
- Bei Lagerung des Unterwassergehäuses unter warmen Bedingungen über einen längeren Zeitraum
- Bei Verlagerung des Unterwassergehäuses an einen Ort mit einem beträchtlichen Temperaturunterschied

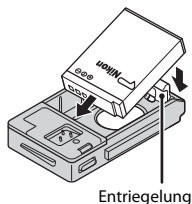
Stellen Sie sicher, dass die hintere Gehäusehälfte nicht vollständig geschlossen ist, wenn Sie das Unterwassergehäuse verlagern oder lagern.

Hinzufügen eines Akkus

Sie können einen Akku hinzufügen.

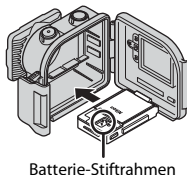
1 Legen Sie den Akku in das zusätzliche Akkufach.

- Richten Sie den positiven und negativen Anschluss des Akkus richtig aus und setzen Sie ihn vollständig ein, sodass er fest eingesetzt ist.
- Achten Sie darauf, dass die Anschlüsse nicht nass werden und fassen Sie sie nicht an, da dies zu einer Fehlfunktion führen könnte.



2 Setzen Sie den zusätzlichen Akku in das zusätzliche Akkulagerfach des Unterwassergehäuses ein.

- Wenn der Stiftrahmen nass wird oder Sie ihn berühren, kann dies eine Fehlfunktion verursachen.
- Um den Akku zu entfernen, entriegeln Sie den Verschluss drücken Sie durch die Öffnungen auf der Rückseite des zusätzlichen Akkufachs auf den Akku.



Aufnahmen bei hohen Temperaturen

- Wird die Kamera bei sehr heißen Außentemperaturen verwendet, kann das Aufnehmen von Fotografien auch bei voller Akkuladung beendet werden.

Technische Daten

Maximale Wassertiefe	40 m
Betriebstemperatur der Kamera	-10 °C – +40 °C (für Einsatz an Land), 0 °C – 40 °C (für Unterwassereinsatz)
Abmessungen (H × B × T)	ca. 90,2 × 80,3 × 48,8 mm (außer überstehende Teile)
Gewicht	ca. 133 g (ausschließlich Akku und Kamera)

Die Wasserdichtigkeit des Unterwassergehäuses WP-AA1 erfüllt die JIS/IEC Wasserdichtheitsnorm 8 (IPX8). Nachweislich tritt kein Wasser in das Unterwassergehäuse ein, wenn sich dieses bis zu 30 Minuten bis zu einer Tiefe von 40 m unter Wasser befindet.

- Nikon übernimmt keine Haftung für etwaige in dieser Anleitung enthaltenen Fehler.
- Das Erscheinungsbild des Produkts und seine technischen Daten können ohne Vorankündigung geändert werden.

Pour votre sécurité

Afin d'éviter de provoquer des dommages matériels ou de vous blesser ou de blesser un tiers, lisez intégralement « Pour votre sécurité » avant d'utiliser ce produit.

Conservez ces consignes de sécurité dans un endroit facilement accessible à tous ceux qui pourraient se servir de ce produit.



DANGER

Le non-respect des consignes indiquées par cette icône expose à un danger de mort ou à de graves blessures.



AVERTISSEMENT

Le non-respect des consignes indiquées par cette icône peut vous exposer à un danger de mort ou à de graves blessures.



ATTENTION

Le non-respect des consignes indiquées par cette icône peut vous exposer à des blessures ou provoquer des dommages matériels.



AVERTISSEMENT

- Ne démontez pas ou ne modifiez pas ce produit.
Ne touchez pas les composants internes qui sont exposés suite à une chute ou à un autre accident. Le non-respect de ces consignes peut provoquer un choc électrique ou d'autres blessures.
- Si vous observez des anomalies provenant du produit comme de la fumée, de la chaleur ou des odeurs inhabituelles, retirez immédiatement l'accumulateur ou débranchez immédiatement la source d'alimentation. Continuer d'utiliser le matériel risque de provoquer un incendie, des brûlures ou d'autres blessures.
- N'utilisez pas ce produit en présence de poussières ou de gaz inflammables comme du propane, de l'essence ou des aérosols. Le non-respect de cette consigne peut provoquer une explosion ou un incendie.
- Conservez ce produit hors de portée des enfants. Le non-respect de cette consigne peut provoquer des blessures ou le dysfonctionnement du produit. En outre, notez que les petites pièces présentent un risque d'étouffement. Si jamais un enfant avalait une pièce de ce produit, consultez immédiatement un médecin.
- N'utilisez pas des accumulateurs qui ne sont pas conçus spécifiquement pour ce produit.
Le non-respect de cette consigne peut provoquer un incendie ou un choc électrique.
- Ne manipulez pas le matériel à mains nues dans des lieux exposés à des températures extrêmement basses ou élevées. Le non-respect de cette consigne peut provoquer des brûlures ou des engelures.

- Vérifiez que le produit est bien fixé. Respectez les règles et les réglementations de toutes les installations et de tous les concours où vous prévoyez d'utiliser le produit. Le non-respect de ces consignes peut provoquer des accidents ou d'autres blessures.
- Ne portez pas ce produit s'il gêne l'utilisation de l'équipement requis. Le non-respect de cette consigne peut provoquer des accidents ou d'autres blessures.



ATTENTION

- Retirez les accumulateurs/piles si vous ne prévoyez pas d'utiliser ce produit avant longtemps. Le non-respect de cette consigne peut provoquer un incendie ou le dysfonctionnement du produit.
- Ne laissez pas le produit exposé à des températures excessivement chaudes pendant une période prolongée, comme dans une voiture fermée ou en plein soleil. Le non-respect de cette consigne peut provoquer un incendie ou le dysfonctionnement du produit.
- Veillez à ne pas coincer vos doigts, vos mains et votre peau dans l'équipement. Le non-respect de cette consigne peut provoquer des accidents ou d'autres blessures.
- Ne posez pas ou ne fixez pas le produit sur des surfaces instables. Le non-respect de cette consigne peut provoquer le détachement ou la chute du produit et par conséquent des accidents ou d'autres blessures.



DANGER pour les piles

- Manipulez correctement les accumulateurs. Le non-respect des consignes suivantes peut provoquer la fuite, la surchauffe, la casse ou l'inflammation des accumulateurs :
 - Utilisez uniquement des accumulateurs agréés pour ce produit.
 - N'exposez pas les accumulateurs aux flammes ni à une chaleur excessive.
 - Ne les démontez pas.
 - Ne court-circuitez pas les contacts en les touchant avec des colliers, des épingles à cheveux ou autres objets métalliques.
 - N'exposez pas les accumulateurs ou les produits dans lesquels ils sont insérés à des chocs physiques importants.
- N'essayez pas de recharger des accumulateurs EN-EL12 à l'aide de chargeurs/d'appareils photo qui ne sont pas conçus spécifiquement pour cela. Le non-respect de cette consigne peut provoquer la fuite, la surchauffe, la casse ou l'inflammation des accumulateurs.
- Si du liquide provenant des accumulateurs entre en contact avec les yeux, rincez-les abondamment à l'eau claire et consultez immédiatement un médecin. Si vous attendez trop longtemps, vous risquez d'avoir des lésions oculaires.



AVERTISSEMENT pour les piles

- Conservez les accumulateurs hors de portée des enfants. Si jamais un enfant avalait un accumulateur, consultez immédiatement un médecin.
- N'immergez pas les accumulateurs dans l'eau et ne les exposez pas à la pluie. Le non-respect de cette consigne peut provoquer un incendie ou le dysfonctionnement du produit. Séchez immédiatement le produit avec une serviette ou un objet similaire s'il est mouillé.
- Cessez immédiatement toute utilisation si vous remarquez une quelconque modification des accumulateurs, comme une décoloration ou une déformation. Cessez de charger les accumulateurs si le temps de charge est différent de ce qui est prévu. Le non-respect de cette consigne peut provoquer la fuite, la surchauffe, la casse ou l'inflammation des accumulateurs.
- Avant de les jeter, protégez les contacts des accumulateurs avec du ruban adhésif. Les accumulateurs risquent de surchauffer, de se casser ou de prendre feu si des objets métalliques touchent leurs contacts.
Recyclez ou jetez les accumulateurs en respectant les réglementations locales en vigueur.
- Si du liquide provenant d'accumulateurs entre en contact avec la peau ou les vêtements d'une personne, rincez immédiatement et abondamment à l'eau claire les parties touchées. Le non-respect de cette consigne peut provoquer des irritations cutanées.

Remarques

Avis pour les clients en Europe

ATTENTION

RISQUE D'EXPLOSION EN CAS DE REMPLACEMENT DE L'ACCUMULATEUR PAR UN TYPE NON CORRECT.

ÉLIMINEZ LES ACCUMULATEURS USAGÉS CONFORMÉMENT AUX INSTRUCTIONS.

Ce symbole indique que le matériel électrique et électronique doit être jeté dans les conteneurs appropriés.

Les mentions suivantes s'appliquent uniquement aux utilisateurs situés dans les pays européens :

- Ce produit doit être jeté dans un point de collecte approprié. Il ne doit pas être jeté avec les déchets ménagers.
- Le tri sélectif et le recyclage permettent de préserver les ressources naturelles et d'éviter les conséquences négatives pour la santé humaine et l'environnement, qui peuvent être provoquées par une élimination incorrecte.
- Pour plus d'informations, contactez votre revendeur ou les autorités locales chargées de la gestion des déchets.



Contenu du coffret

Avant d'utiliser ce produit, assurez-vous de disposer de tous les éléments suivants.

- Caisson étanche WP-AA1
- Compartiment à accumulateur supplémentaire (à l'intérieur du caisson étanche)

Précautions d'emploi

- Seul l'appareil photo compatible doit être inséré dans le caisson étanche WP-AA1. N'y placez aucun autre objet.
- Avant de placer l'appareil photo dans le caisson étanche, assurez-vous que l'un et l'autre fonctionnent normalement et que le caisson est parfaitement étanche. Dans le cas peu probable où un défaut du caisson étanche provoque des dommages à la suite d'une immersion (problème d'étanchéité), Nikon n'offre aucune garantie contre les dommages subis par l'équipement interne (appareil photo, accumulateur, carte mémoire, etc.) et le contenu enregistré et ne prend en charge aucun dommage photographique. Nikon ne pourra être tenu responsable de tous dommages ou pertes de profit découlant d'un dysfonctionnement de ce produit.
- Si le caisson étanche est soumis à des chocs ou si le joint d'étanchéité à l'eau semble détérioré, il est recommandé de consulter votre revendeur ou un des représentants Nikon agréés mentionnés dans le manuel de l'appareil photo.
- Le caisson étanche WP-AA1 n'est pas prévu pour être monté sur la fixation pour guidon AA-7.

Éviter l'entrée d'eau

Non seulement la présence d'eau à l'intérieur du caisson étanche peut endommager l'appareil photo et le compartiment à accumulateur supplémentaire de manière irréversible, mais elle peut également provoquer un incendie, vous exposer à une décharge électrique ou à des gaz toxiques. Pour éviter que de l'eau ne pénètre à l'intérieur du caisson étanche, observez les précautions suivantes :

- Avant d'utiliser le caisson étanche dans l'eau ou à proximité, testez son étanchéité en procédant comme indiqué dans ce manuel.
- Avant de fermer hermétiquement le caisson étanche, examinez attentivement le joint d'étanchéité à l'eau et les parties du caisson étanche en contact avec le joint d'étanchéité à l'eau pour vous assurer qu'aucune impureté, peluche, poussière et qu'aucun liquide, cheveu, grain de sable ou autre corps étranger n'y figurent. Veillez à ce que le joint d'étanchéité à l'eau ne soit pas déformé ou mal positionné.
- N'ouvrez pas le caisson étanche dans des lieux où il serait exposé à des éclaboussures, des pulvérisations, des vents violents, de la poussière ou du sable.
- Ne laissez pas tomber le caisson étanche, ne le placez pas sous de lourds objets ou ne le soumettez pas à des chocs violents. Il risque sinon de se déformer et par conséquent, de perdre son étanchéité.
- En cas de fuite, cessez d'utiliser les produits immédiatement, séchez l'appareil photo et l'intérieur du caisson étanche et confiez-les à un représentant Nikon agréé.

Test d'étanchéité préliminaire

Avant de placer l'appareil photo dans le caisson étanche, verrouillez le caisson et plongez-le dans l'eau pour vérifier son étanchéité comme décrit ci-dessous.

- Verrouillez le caisson étanche et immergez-le progressivement. Arrêtez l'opération immédiatement si de l'air semble provenir de l'intérieur du caisson étanche.
- Immergez le caisson étanche et actionnez les commandes sous l'eau pendant 2 à 3 minutes, en vérifiant qu'aucune bulle ne s'échappe.
- Sortez le caisson étanche de l'eau, essuyez-le méticuleusement avec un chiffon doux et sec, puis ouvrez le caisson étanche et assurez-vous que l'eau n'est pas entrée.

Chocs et vibrations

Le caisson étanche n'est pas destiné à protéger l'appareil photo des chocs ou des vibrations. Ne laissez pas tomber le caisson étanche, ne le heurtez pas contre des objets durs, ne le lancez pas dans l'eau et ne sautez pas dans l'eau en tenant le caisson étanche.

Profondeur maximale

Le caisson étanche est étanche jusqu'à 40 m. Si vous l'utilisez au-delà, il risque de perdre son étanchéité, de se casser, de se déformer, endommageant par conséquent l'appareil photo.

Température

Ne laissez pas le caisson étanche dans des lieux où il serait exposé à des températures élevées ou à proximité d'un feu. Le caisson risque sinon de se détériorer ou de se déformer. Des changements brusques de température sont susceptibles de créer de la condensation à l'intérieur du caisson étanche, ce qui peut également endommager l'appareil photo. Pour éviter l'apparition de condensation :

- Lorsque vous arrivez dans un endroit sensiblement plus chaud ou plus froid que le lieu que vous venez de quitter, laissez l'appareil photo dans le caisson étanche tant que celui-ci n'a pas atteint la température ambiante.
- N'exposez pas le caisson étanche à des températures élevées en le laissant sur la plage ou en plein soleil avant de le plonger dans l'eau.

Produits chimiques

- Ne collez pas d'autocollants sur le caisson étanche, car l'adhésif pourrait provoquer sa détérioration.
- N'exposez pas le caisson étanche aux produits chimiques suivants ou à leurs vapeurs. Vous risqueriez de l'endommager.
 - N'utilisez pas de détergents chimiques, d'antioxydants, de diluants, d'alcool ou d'autres produits chimiques volatiles pour nettoyer le caisson étanche. Utilisez uniquement de l'eau douce.
 - N'utilisez pas de produits chimiques anti-buée.
 - N'utilisez pas d'adhésifs.
 - Veillez à ne pas appliquer de produits cosmétiques, tels que de l'écran solaire.

Transport aérien

Si possible, rangez le caisson étanche dans votre bagage à main lorsque vous voyagez par avion. Si vous le rangez dans un bagage enregistré, laissez le caisson étanche ouvert. Si vous le fermez hermétiquement, les changements de pression atmosphérique sont susceptibles d'endommager le caisson étanche ou d'empêcher son ouverture.

Altitudes élevées

Lorsque vous passez d'une altitude élevée à une basse altitude, ouvrez le caisson étanche périodiquement pour égaliser la pression. Si vous le maintenez fermé hermétiquement en continu, les changements de pression atmosphérique sont susceptibles d'endommager le caisson étanche ou d'empêcher son ouverture.

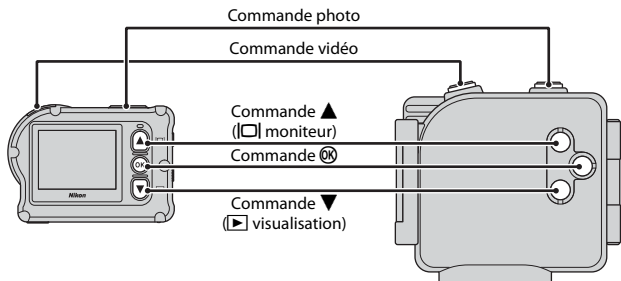
Après utilisation

- Le caisson étanche doit être nettoyé dans les plus brefs délais après avoir été utilisé. Avant de l'ouvrir et de sortir l'appareil photo, rincez le caisson étanche dans de l'eau douce. Essayez méticuleusement l'extérieur du caisson étanche avec un chiffon doux et sec.
- Sortez l'appareil photo et essayez l'intérieur du caisson étanche avec un chiffon doux et sec. Ne lavez pas l'intérieur du caisson étanche.
- Réfermez hermétiquement le caisson étanche et laissez-le tremper dans une bassine d'eau douce pendant deux ou trois heures. Actionnez chaque commande plusieurs fois pour enlever le sel. Si vous laissez le sel sécher sur les commandes, celles-ci risquent de ne plus fonctionner ou leurs composants métalliques risquent de rouiller, ce qui pourrait nuire à l'étanchéité du caisson étanche.
- Essayez méticuleusement le caisson étanche avec un chiffon doux et sec. N'utilisez pas un chiffon qui a été en contact avec le sel. Laissez sécher le caisson étanche à l'air libre à l'ombre, dans un endroit bien aéré. N'utilisez pas de sèche-cheveux ou une autre source de chaleur et n'exposez pas le caisson étanche aux rayons directs du soleil. La chaleur est susceptible de détériorer le caisson étanche ou le joint d'étanchéité à l'eau et, par conséquent, d'affecter l'étanchéité.

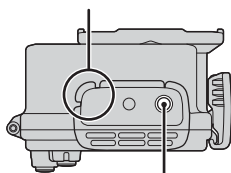
Stockage

- Gardez-le ouvert. Lorsque vous n'avez pas l'intention d'utiliser le caisson étanche pendant une période prolongée, rangez-le dans un sac plastique propre pour protéger le joint d'étanchéité à l'eau de la poussière.
- Stockez le caisson étanche dans un endroit frais et bien aéré. Ne stockez pas le caisson étanche dans un lieu où il serait exposé aux rayons directs du soleil ou à des changements brusques de température ou de forts taux d'humidité. Ne rangez pas le caisson étanche ou le joint d'étanchéité à l'eau avec de la naphthaline ou des boules anti-mites (camphre).

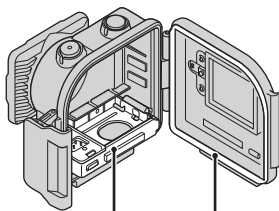
Identification des pièces



Œillet pour cordon antichute



Filetage pour fixation sur trépied



Compartiment à accumulateur supplémentaire

Joint d'étanchéité à l'eau

✓ Remarques à propos de l'interface thermique

L'interface thermique empêche la température de grimper. N'appuyez pas trop fortement sur l'interface thermique et ne retirez pas la bande noire.



Préparation de l'appareil photo

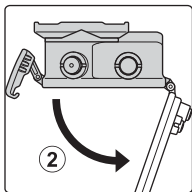
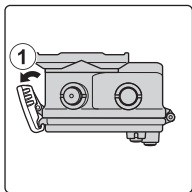
Préparer l'appareil photo

Retirez la protection d'objectif de l'appareil photo. Insérez une carte mémoire et un accumulateur entièrement chargé.

- Utilisez un chiffon doux ou un plumeau pour éliminer les corps étrangers (traces d'humidité, poussières, etc.) de l'appareil photo. Si l'appareil photo est encore humide lorsque vous l'insérez dans le caisson étanche, cela peut provoquer de la condensation.

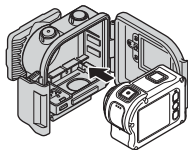
1 Ouvrez le caisson étanche.

- Déverrouillez le loquet (①), puis ouvrez le rabat arrière du caisson (②).



2 Insérez l'appareil photo.

- Insérez l'appareil photo dans le caisson étanche de façon à introduire l'objectif dans la fenêtre de l'objectif.

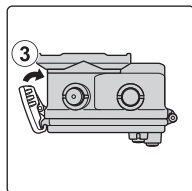
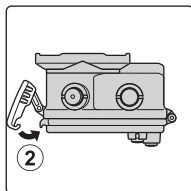
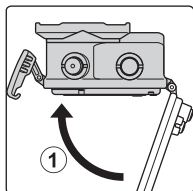


Vérifications à effectuer avant de refermer le caisson étanche

- Refermez délicatement le caisson étanche en veillant à ce que le joint d'étanchéité à l'eau reste bien en place.
- Assurez-vous que le loquet est parfaitement enclenché.
- Pour garantir une parfaite étanchéité à l'eau, assurez-vous à nouveau que le joint d'étanchéité à l'eau est positionné correctement ou qu'aucun corps étranger n'est coincé dans la jointure du caisson étanche.

3 Refermez le caisson étanche.

- Faites coïncider le rabat arrière avec le rabat avant (1), remettez le loquet en place sur le rabat arrière en l'inclinant, fixez-le sur le crochet (2), puis inclinez le loquet pour l'enclencher et le verrouiller (3).



Si un voile se forme sur la fenêtre de l'objectif

- Pour éliminer le voile, retirez l'appareil photo du caisson étanche et utilisez l'appareil photo pendant quelques minutes avant de la remettre en place. Assurez-vous que le caisson étanche ne présente aucune trace d'humidité avant d'y réinstaller l'appareil photo.

Si le rabat arrière est difficile à ouvrir

Dans les conditions exposées ci-dessous, le rabat arrière risque d'être difficile à ouvrir en raison de la différence de pression atmosphérique provoquée par une variation de la température ambiante.

- Lors du stockage prolongé du caisson étanche en maintenant le rabat arrière fermé
- Lors du stockage prolongé du caisson étanche dans des conditions de forte chaleur
- Lors du transfert du caisson étanche dans un lieu présentant une différence de température importante

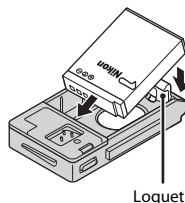
Veillez à ce que le rabat arrière ne soit pas complètement refermé lors du déplacement ou du stockage du caisson étanche.

Ajout d'un accumulateur

Vous pouvez ajouter un accumulateur.

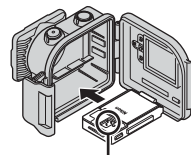
1 Insérez l'accumulateur dans le compartiment à accumulateur supplémentaire.

- Insérez l'accumulateur en veillant à orienter correctement ses bornes positive et négative et assurez-vous qu'il est parfaitement maintenu en place par le loquet.
- Veillez à ne pas mouiller ou toucher les bornes de l'accumulateur, car cela pourrait provoquer une défaillance.



2 Insérez le compartiment à accumulateur supplémentaire dans le logement prévu à cet effet à l'intérieur du caisson étanche.

- Veillez à ne pas mouiller ou toucher les contacts du compartiment à accumulateur, car cela provoquerait un dysfonctionnement.
- Pour éjecter l'accumulateur, tirez le loquet vers l'extérieur, puis poussez l'accumulateur vers le haut en plaçant un doigt à travers l'ouverture du fond du compartiment à accumulateur supplémentaire.



Contacts du compartiment à accumulateur

Enregistrement sous des températures élevées

- Si vous procédez à un enregistrement par forte chaleur, il risque de s'interrompre si l'appareil photo devient trop chaud et ce, même si l'accumulateur est suffisamment chargé.

Fiche technique

Profondeur maximale dans l'eau	40 m
Température de fonctionnement de l'appareil photo	-10 °C–+40 °C (prise de vue sur terre), 0 °C–40 °C (prise de vue sous-marine)
Dimensions (L x H x P)	Environ 90,2 x 80,3 x 48,8 mm (parties saillantes exclues)
Poids	Environ 133 g (hors accumulateur et appareil photo)

Le caisson étanche WP-AA1 possède un degré de protection équivalent au niveau d'étanchéité à l'eau JIS/IEC 8 (IPX8). Le caisson étanche est certifié étanche lorsqu'il est maintenu dans l'eau à une profondeur de 40 m maximum pendant une durée maximale de 30 minutes.

- Nikon ne peut être tenu responsable des erreurs contenues dans ce manuel.
- Nikon se réserve le droit de modifier sans préavis l'aspect et les caractéristiques du produit.

Por su seguridad

Para evitar daños materiales, sufrir lesiones o lesionar a terceros, lea completamente "Por su seguridad" antes de usar este producto.

Guarde estas instrucciones de seguridad en un lugar en el que todos los que usen el producto puedan leerlas.



PELIGRO

No respetar las precauciones marcadas con este icono causará probablemente lesiones graves o mortales.



ADVERTENCIA

No respetar las precauciones marcadas con este icono puede causar lesiones graves o mortales.



PRECAUCIÓN

No respetar las precauciones marcadas con este icono puede causar lesiones o daños materiales.



ADVERTENCIA

- No desmonte ni modifique este producto.
No toque las piezas internas que puedan quedar expuestas como resultado de una caída u otro accidente. No respetar estas precauciones puede causar descargas eléctricas u otras lesiones.
- Si nota anomalías en el producto, como por ejemplo la emisión de humo, calor u olores inusuales, desconecte inmediatamente la batería o la fuente de alimentación. Continuar usando el producto podría causar incendios, quemaduras u otras lesiones.
- No use este producto en presencia de polvo o gas inflamable, como por ejemplo propano, gasolina o aerosoles. No respetar esta precaución puede causar explosiones o incendios.
- Mantenga este producto alejado de los niños. No respetar esta precaución puede causar lesiones o funcionamientos incorrectos del producto. Además, tenga en cuenta que las piezas pequeñas pueden presentar riesgos de asfixia. Si un niño ingiere cualquier pieza de este producto, solicite asistencia médica inmediatamente.
- No use baterías que no hayan sido específicamente designadas para su uso con este producto.
No respetar esta precaución puede causar incendios o descargas eléctricas.
- No manipular con las manos descubiertas en zonas expuestas a temperaturas extremadamente altas o bajas. No respetar esta precaución puede causar quemaduras o congelación.

- Asegúrese de que el producto esté fijado correctamente. Respete las leyes y normativas de todas las instalaciones y en todos los torneos en los que use el producto. Hacer caso omiso de estas precauciones puede causar accidentes u otras lesiones.
- No utilice este producto si con ello interferirá en el uso de los equipos necesarios. Hacer caso omiso de esta precaución puede causar accidentes u otras lesiones.



PRECAUCIÓN

- Extraiga las baterías si el producto no va a ser utilizado durante largos períodos. No respetar esta precaución puede causar incendios o funcionamientos incorrectos del producto.
- No deje el producto en zonas expuestas a temperaturas extremadamente altas durante largos períodos, como por ejemplo, en el interior de un vehículo cerrado o en contacto directo con la luz del sol. No respetar esta precaución puede causar incendios o funcionamientos incorrectos del producto.
- Preste atención para evitar que sus dedos, manos y piel queden atrapados en el equipo. Hacer caso omiso de esta precaución puede causar accidentes u otras lesiones.
- No coloque el producto ni lo instale sobre superficies inestables. Hacer caso omiso de esta precaución puede causar que el producto se suelte o caiga, causando accidentes u otras lesiones.



PELIGRO por baterías

- No manipule incorrectamente las baterías. No respetar las siguientes precauciones puede causar fugas, sobrecalentamientos, roturas o incendiar las baterías:
 - Use solamente baterías recargables aprobadas para su uso en este producto.
 - No exponga las baterías a las llamas o calor excesivo.
 - No desmontar.
 - No cortocircuite los terminales tocándolos con collares, pasadores de pelo u otros objetos metálicos.
 - No exponga las baterías o los productos en los cuales se introducen a fuertes impactos físicos.
- No intente recargar baterías recargables EN-EL12 usando cargadores/cámaras no diseñados específicamente para dicho propósito. No respetar esta precaución puede causar fugas, sobrecalentamientos, roturas o incendiar las baterías.
- Si el líquido de la batería entra en contacto con los ojos, aclárelos con abundante agua limpia y solicite asistencia médica inmediatamente. Retrasarlo podría causar lesiones oculares.



ADVERTENCIA por baterías

- Mantenga las baterías alejadas de los niños. Si un niño ingiere una batería, solicite asistencia médica inmediatamente.
- No sumerja las baterías en agua ni las exponga a la lluvia. No respetar esta precaución puede causar incendios o funcionamientos incorrectos del producto. Seque inmediatamente el producto con una toalla u objeto similar si se moja.
- Si nota cualquier cambio en las baterías, como por ejemplo decoloración o deformación, cese el uso inmediatamente. Deje de cargar las baterías recargables si no se cargan en el tiempo especificado. No respetar esta precaución puede causar fugas, sobrecalentamientos, roturas o incendiar las baterías.
- Antes de desecharla, aísle los terminales de la batería con cinta. Si algún objeto metálico entra en contacto con los terminales, podrían producirse sobrecalentamientos, roturas o incendios.
Recicle o deseche las baterías en conformidad con las normativas locales.
- Si el líquido de la batería entra en contacto con la piel o ropa de una persona, aclare inmediatamente la zona afectada con abundante agua limpia. No respetar esta precaución puede causar irritación cutánea.

Avisos

Avisos para los clientes en Europa

PRECAUCIONES

RIESGO DE EXPLOSIÓN SI LA BATERÍA SE SUSTITUYE POR OTRA DE TIPO INCORRECTO.

DESHÁGASE DE LAS BATERÍAS USADAS SEGÚN LAS INSTRUCCIONES.

Este símbolo indica que los equipos eléctricos y electrónicos deben ser desechados por separado.

La nota siguiente corresponde únicamente a los usuarios de los países europeos:

- Este producto se ha diseñado para desecharlo por separado en un punto de recogida de residuos adecuado. No lo tire con la basura doméstica.
- Desechar y reciclar por separado ayuda a conservar los recursos naturales y previene las consecuencias dañinas para la salud humana y el entorno que podrían surgir a causa de un desecho incorrecto.
- Para obtener más información, puede ponerse en contacto con el vendedor o con las autoridades locales encargadas de la gestión de residuos.



Contenido del paquete

Antes de utilizar este producto, verifique que contiene todos los elementos siguientes.

- Carcasa subacuática WP-AA1
- Portabaterías adicional (dentro de la carcasa subacuática)

Precauciones de uso

- No introduzca en la carcasa subacuática WP-AA1 ningún elemento que no sea la cámara compatible.
- Antes de utilizar la carcasa subacuática, verifique que el producto y la cámara funcionan correctamente y que no hay filtraciones de agua. En el improbable caso de que un fallo en la carcasa subacuática causase daños durante la inmersión (filtraciones de agua), Nikon no garantiza la ausencia de daños en el equipo interno (cámara, batería, tarjeta de memoria, etc.) y el contenido grabado, ni los posibles gastos acarreados en la fotografía. Nikon no se hará responsable de los daños o pérdidas de ingresos que pueda ocasionar el mal funcionamiento del producto.
- Si la carcasa subacuática se expone a golpes o el recinto estanco parece defectuoso, se recomienda consultar a un distribuidor o a un representante del servicio técnico autorizado de Nikon, tal y como se describe en el manual de la cámara.
- No instale la carcasa subacuática WP-AA1 en el soporte para manillar AA-7, ya que no son compatibles entre sí.

Evitar filtraciones

Si entra agua en la carcasa subacuática, la cámara y el portabaterías quedarán expuestos a daños irreparables y podría provocar un incendio, una descarga eléctrica o exposición a gases venenosos. Para evitar que entre agua en la carcasa subacuática, siga estas precauciones:

- Antes de usar la carcasa subacuática dentro o cerca del agua, compruebe si existen filtraciones tal y como se describe en este manual.
- Antes de sellar la carcasa subacuática, observe el recinto estanco y las piezas de la carcasa subacuática que están en contacto con el recinto estanco para garantizar que no hay líquido, suciedad, pelos, pelusas, polvo, arena u otros objetos extraños. Asegúrese de que el recinto estanco no está doblado ni descolocado.
- No abra la carcasa subacuática en zonas expuestas a pulverizaciones, vientos fuertes, polvo o arena.
- No deje caer la carcasa subacuática, no la coloque debajo de objetos pesados ni la someta a fuerza excesiva. De no seguir esta precaución, podría hacer que la carcasa subacuática se deforme y se produzcan filtraciones.
- En caso de filtraciones, deje de usar el producto inmediatamente, seque la cámara y el interior de la carcasa subacuática y lleve la cámara y la carcasa subacuática a un representante del servicio técnico autorizado de Nikon.

Prueba preliminar de filtraciones

Antes de introducir la cámara en la carcasa subacuática, cierre la carcasa subacuática y sumérgala en agua para comprobar si hay filtraciones, tal y como se describe a continuación.

- Cierre la carcasa subacuática, sumérgala lentamente en agua y deténgase si observa que sale aire del interior de la carcasa subacuática.
- Sumerja la carcasa subacuática y utilice los botones debajo del agua durante 2-3 minutos para comprobar si se aprecian burbujas.
- Saque la carcasa subacuática del agua y séquela bien con un paño suave y seco; seguidamente, abra la carcasa subacuática y compruebe si ha entrado agua.

Golpes y vibraciones

La carcasa subacuática no está diseñada para proteger la cámara de golpes o vibraciones. No deje caer la carcasa subacuática, no la golpee con objetos duros, no la tire al agua ni salte al agua con la carcasa subacuática.

Profundidad máxima

La carcasa subacuática es resistente al agua hasta una profundidad de 40 m (131 pies). A mayor profundidad, es posible que se produzcan filtraciones en la carcasa subacuática, roturas o cambios de forma, y esto podría averiar la cámara.

Temperatura

No deje la carcasa subacuática en zonas expuestas a altas temperaturas o cerca del fuego. De no seguir esta precaución, la carcasa subacuática podría debilitarse o deformarse. Los cambios bruscos de temperatura podrían generar condensación en el interior de la carcasa subacuática y también averiar la cámara. Para evitar la condensación:

- Si cambia de ubicación y hay mucha diferencia de temperatura, deje la cámara dentro de la carcasa subacuática hasta que la temperatura se equilibre con el ambiente que le rodea.
- No exponga la carcasa subacuática a altas temperaturas dejándola en la playa o a la luz solar directa antes de meterse en el agua.

Productos químicos

- No pegue pegatinas en la carcasa subacuática, ya que el adhesivo podría deteriorar la carcasa.
- No exponga la carcasa subacuática a los siguientes productos químicos ni a sus vapores. De no seguir esta precaución, podría averiar la carcasa subacuática.
 - No utilice detergentes químicos, inhibidores de corrosión, disolventes, alcohol ni otros productos químicos volátiles cuando limpie la carcasa subacuática. Lave la carcasa únicamente con agua dulce.
 - No utilice productos químicos para eliminar el vaho.
 - No utilice adhesivos.
 - Cuidado que no entren en contacto productos cosméticos como el protector solar.

Si va a viajar en avión

Si es posible, lleve la carcasa subacuática consigo en el equipaje de mano si va a viajar en avión. Cuando meta la carcasa subacuática en la maleta, deje la carcasa subacuática abierta. Si sella la carcasa subacuática, los cambios de presión podrían averiar la carcasa subacuática o impedir que se abra.

Altitudes elevadas

Si va a pasar de altitudes elevadas a altitudes más bajas, abra de vez en cuando la carcasa subacuática para que se vaya adaptando a la presión. Si deja la carcasa subacuática sellada, los cambios de presión podrían averiar la carcasa o impedir que se abra.

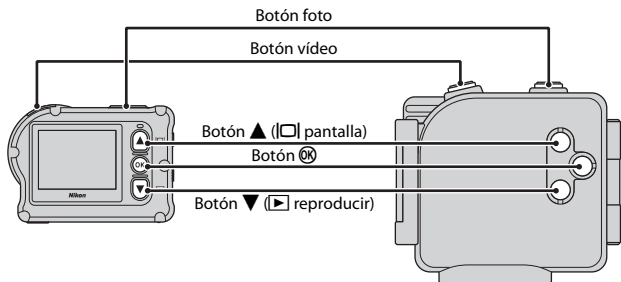
Después del uso

- Limpie la carcasa subacuática tan pronto como sea posible después de haberla usado. Sin abrir la carcasa subacuática ni extraer la cámara, lave la carcasa subacuática en un recipiente con agua dulce. Seque bien el exterior de la carcasa subacuática con un paño suave y seco.
- Extraiga la cámara y limpie el interior de la carcasa subacuática con un paño suave y seco. No lave el interior de la carcasa subacuática con agua.
- Vuelva a sellar la carcasa y déjela en un recipiente con agua dulce durante dos o tres horas. Accione todos los botones varias veces para eliminar la sal. Si se secan restos de sal en los botones, podrían dejar de funcionar o las piezas metálicas podrían oxidarse, haciendo que se produzcan filtraciones en la carcasa subacuática.
- Seque bien la carcasa subacuática con un paño suave y seco. No utilice paños a los que pueda adherirse la sal. Deje la carcasa subacuática en una zona alejada de la luz y bien ventilada para que se seque. No utilice un secador ni otras fuentes de calor, ni coloque la carcasa a la luz solar directa. El calor podría hacer que la carcasa subacuática o el recinto estanco se deterioren y podría producir filtraciones.

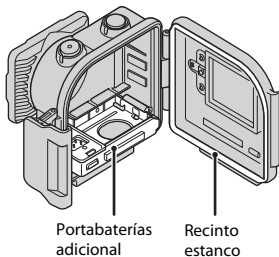
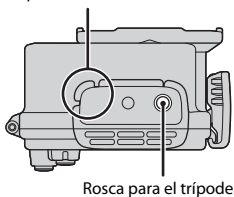
Almacenamiento

- Deje abierta la carcasa subacuática. Si no va a utilizar la carcasa subacuática durante un largo periodo de tiempo, póngala en una bolsa de plástico limpia para proteger el recinto estanco del polvo.
- Guarde la carcasa subacuática en una zona fresca y bien ventilada. No guarde la carcasa subacuática donde quede expuesta a la luz solar directa o a cambios bruscos de temperatura o altos niveles de humedad. No guarde la carcasa subacuática ni el recinto estanco con bolas de naftalina o alcanfor antipolillas.

Nombres de las piezas

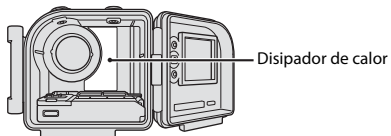


Ojal para cable de prevención de caídas



✓ Observaciones sobre el disipador de calor

El disipador de calor impide que aumente la temperatura. No presione el disipador de calor con fuerza y no retire la cinta negra.



Preparativos de la cámara

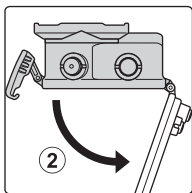
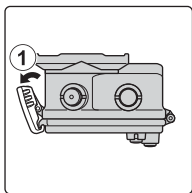
Prepare la cámara

Quite el protector de objetivo de la cámara. Inserte una tarjeta de memoria y una batería totalmente cargada.

- Utilice un paño suave o una aspiradora de polvo para eliminar de la cámara sustancias extrañas como agua o polvo. Si la cámara no está totalmente seca al introducirla en la carcasa subacuática, podría generarse condensación.

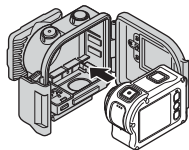
1 Abra la carcasa subacuática.

- Abra el cierre (1) y después abra la tapa posterior (2).



2 Inserte la cámara.

- Introduzca la cámara en la carcasa subacuática de modo que el objetivo encaje en la ventana del objetivo.

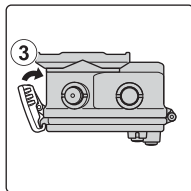
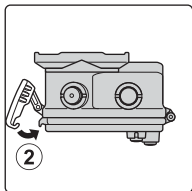
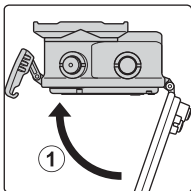


Lleve a cabo las siguientes comprobaciones antes de cerrar la carcasa subacuática.

- Cierre suavemente la carcasa subacuática para que el recinto estanco no se caiga.
- Asegúrese de que el cierre está totalmente bloqueado.
- Para evitar filtraciones de agua, vuelva a comprobar que el recinto estanco no está aplastado y que no hay objetos extraños atrapados en la carcasa subacuática.

3 Cierre la carcasa subacuática.

- Alinee la tapa posterior y la tapa frontal (1), incline el cierre de la tapa posterior y fíjelo con el gancho (2); seguidamente, incline el cierre hasta que encaje en su posición y quede bloqueado (3).



Si la ventana del objetivo se empaña

- Para eliminar el empañamiento, pruebe a sacar la cámara de la carcasa subacuática y utilícela durante un tiempo antes de volver a introducirla. Asegúrese de que no quedan restos de agua en la carcasa subacuática cuando vuelva a introducir la cámara.

Si no puede abrir fácilmente la tapa posterior

En las circunstancias que se describen a continuación, es posible que abrir la tapa posterior sea complicado por la diferencia de presión causada por un cambio en la temperatura ambiente.

- Si va a almacenar la carcasa subacuática durante mucho tiempo con la tapa posterior cerrada
- Si va a almacenar la carcasa subacuática durante mucho tiempo en un entorno caluroso
- Si va a mover la carcasa subacuática a una ubicación con temperaturas muy distintas

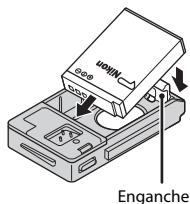
Asegúrese de que la tapa posterior no esté totalmente cerrada cuando traslade o almacene la carcasa subacuática.

Añadir una batería

Puede añadir una batería.

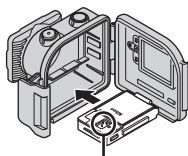
1 Inserte la batería en el portabaterías adicional.

- Con los terminales positivo y negativo orientados correctamente, introduzca la batería hasta que el enganche la fije en su posición.
- Preste atención para no mojar o tocar el terminal, ya que podría averiar el producto.



2 Introduzca la batería adicional en la unidad de almacenamiento del portabaterías adicional de la carcasa subacuática.

- Si moja o toca la zona de los contactos de la batería, podría provocar una avería.
- Para extraer la batería, presione la batería, tire del enganche hacia fuera y sáquela por la apertura situada en la parte inferior del portabaterías adicional.



Zona de los contactos de la batería

Grabación en condiciones de alta temperatura

- Es posible que la grabación se detenga si la cámara se calienta al usarla en condiciones de alta temperatura, incluso si la batería está suficientemente cargada.

Especificaciones

Profundidad máxima del agua	40 m (131 pies)
Temperatura de funcionamiento de la cámara	De -10 °C a +40 °C (de 14 °F a 104 °F) (en tierra), De 0 °C a 40 °C (de 32 °F a 104 °F) (uso subacuático)
Dimensiones (An x Al x Pr)	Aprox. 90,2 × 80,3 × 48,8 mm (3,6 × 3,2 × 2,0 pulg.) (sin incluir salientes)
Peso	Aprox. 133 g (4,7 oz) (sin incluir la batería y la cámara)

El rendimiento estanco de la carcasa subacuática WP-AA1 equivale a la clase 8 de estanqueidad de JIS/IEC (IPX8). Esto asegura que no entrará agua en la carcasa subacuática si se utiliza bajo el agua a profundidades de hasta 40 m durante un máximo de 30 minutos.


- Nikon no se hace responsable de los errores que pueda contener este manual.
- La apariencia de este producto y sus especificaciones están sujetas a cambios sin previo aviso.

保留备用

使用产品前请仔细阅读本使用说明书。

安全须知

为预防对您或他人造成人身伤害或财产损失，请在使用前仔细阅读“安全须知”，并以正确的方法使用。
请在阅读之后妥善保管本说明书，以便随时查阅。

 **危险** 表示“极有可能造成人员死亡或负重伤的内容”。

 **警告** 表示“有可能造成人员死亡或负重伤的内容”。


 **注意** 表示“有可能造成人员负轻伤或财产损失的内容”。


本节使用以下图示和符号对必须遵守的内容作以分类。


 表示不允许进行的行为。


 表示必须进行的行为。


警告

 **禁止拆解** 切勿自行拆解、修理或改装。
当产品由于跌落等原因而破损使得内部外露时，切勿触碰外露部分。
否则将导致触电或受伤。


 **执行** 当发现产品变热、冒烟或发出焦味等异常时，
请立刻取出电池或切断电源。
若放任不管，将导致起火或烫伤。


 **禁止** 切勿在有可能起火、爆炸的场所使用。
若有丙烷气、汽油、可燃性喷雾剂等易燃性气体、粉尘的场所使用产品，将导致爆炸或火灾。

 **禁止** 切勿在婴幼儿伸手可及之处进行保管。
否则将导致故障或受伤。
若误吞细小部件，将会对身体造成伤害。
万一意外吞入口中，请立即接受医生诊疗。


 **禁止** 切勿使用非指定的电池。
否则将导致起火或触电。


 **禁止 触碰** 在高温环境或低温环境中，切勿直接接触产品。
否则将可能导致烫伤、低温烫伤或冻伤。


 **执行** 请将产品正确佩戴，确保不会脱落。
请遵守竞技或设施规则，确保安全。
否则将导致事故或受伤。


 **禁止** 切勿在对竞技用装备等造成妨碍的情况下佩戴产品。
否则将导致事故或受伤。

注意

 **执行** 若您将在较长时间内不使用本产品，请取出电池。
否则将导致故障或起火。

 **禁止** 切勿放置于夏天封闭的车内或直射阳光下等高温环境中。
否则将导致故障或起火。

 **执行** 安装产品时，切勿夹住手部或皮肤。
否则将导致事故或受伤。

 **禁止** 切勿将产品放置或安装于不平稳的场所。
若产品脱落或翻倒，将导致事故或受伤。

电池的危險事項

切勿錯誤使用電池。

使用時若不遵守注意事項，將導致電池漏液、發熱、破裂或起火。



禁止

- 切勿使用專用可充電電池以外的可充電電池。
- 切勿將電池投入火中或對其進行加熱。
- 切勿拆解電池。
- 切勿將電池與項鍊、髮夾等金屬物品接觸而導致短路。
- 切勿對電池或其所在的照相機施以強烈撞擊或投擲電池、照相機。



禁止

切勿使用帶EN-EL12充電功能的照相機機身或專用充電器以外的設備為EN-EL12可充電電池充電。否則將導致電池漏液、發熱、破裂或起火。



執行

電池漏液進入眼內時，請立即用清水沖洗，並接受醫生診療。
若置之不理，將會對眼睛造成傷害。

電池的警告事項



禁止

切勿在嬰幼兒伸手可及之處保管電池。
萬一意外吞入口中，請立即接受醫生診療。



禁止

切勿將電池浸入水中，或者使其被雨水淋濕。
否則將導致起火或故障。
若電池被弄濕，請用干毛巾等徹底擦干。



禁止

若發現電池變色、變形或其他異常，切勿使用。
如果電池未在指定時間內充電，請停止充電。
若放任不管，將導致電池漏液、發熱、破裂或起火。



执行

将电池进行回收再利用或废弃处理时，务必使用绝缘胶带等将电极部分绝缘。

电极与其他金属接触会导致电池发热、破裂或起火。请将电池带去尼康售后服务中心或资源再利用合作店，或者按照您居住地的相关规定进行处理。



执行

若电池漏液接触到皮肤或衣服，请立即用清水冲洗。

若放任不管，将导致皮肤发炎等症状。

注意

产品中有害物质的名称及含量

标志	部件名称	有害物质					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴 联苯 (PBB)	多溴 二苯醚 (PBDE)
	外壳	○	○	○	○	○	○
	机械元件	×	○	○	○	○	○
	电子元件	×	○	○	○	○	○

本表格依据SJ/T11364的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572规定的限量要求。

但是，以现有的技术条件要使照相机相关产品完全不含有上述有害物质极为困难，并且上述产品都包含在《关于电气电子设备中特定有害物质使用限制指令2011/65/EU》的豁免范围之内。

包装内容

使用本产品以前，请确认以下物品是否齐全。

- 防水套WP-AA1
- 附加电池盒（防水套内）

使用注意事项

- 切勿将兼容照相机以外的物体装入防水套WP-AA1。
- 使用防水套以前，请确认本产品 and 照相机可正常工作，并且没有漏水。未按本使用说明书所列操作步骤或超出防水套性能范围使用本产品将出现故障（漏水），并可能由此造成内部设备（照相机、电池、存储卡等）的损坏，卡中存储的影像可能会丢失且无法恢复。对此不当使用造成的直接或间接损失，尼康公司不承担任何责任。尼康公司无法补救因产品故障而错过的影像记录。
- 如果防水套受到撞击或者防水密封圈看上去已经老化，建议咨询您的零售商或者照相机说明书中介绍的尼康售后服务中心或尼康特约维修店。
- 切勿将防水套WP-AA1安装到车把固定底座AA-7上，因其不兼容。

防止渗漏

如果防水套漏水，可能会对照相机和附加电池盒造成无法修复的损坏，另外可能会造成火灾、触电或产生有毒气体。通过遵守以下注意事项，可以防止防水套进水：

- 在水中或者附近使用防水套以前，请按照本说明书所述测试是否漏水。
- 密封防水套以前，请仔细检查防水密封圈以及和防水密封圈接触的防水套部件上是否有液体、污物、毛发、棉绒、灰尘、沙粒和其它异物。确保防水密封圈没有扭曲或错位。
- 切勿在会暴露于喷雾、狂风、灰尘或沙粒的地方打开防水套。
- 切勿让防水套跌落，将重物压在上面或者对其用力过大。未能遵守本注意事项可能会造成防水套变形，从而导致漏水。
- 如果出现漏水，请立即停止使用，将照相机和防水套内部擦干，然后将照相机和防水套带到尼康售后服务中心或尼康特约维修店。

初步渗漏测试

将照相机装入防水套以前，请将防水套锁好，然后浸入水中检查是否渗漏，具体如下。

- 将防水套锁好，然后慢慢浸入水中，如果有空气从防水套内排出则停止操作。
- 将防水套浸在水中并操作按钮2到3分钟，检查是否有气泡出现。
- 将防水套从水中取出，用柔软的干布擦拭干净，然后打开防水套并检测内部是否有水进入。

撞击和震动

防水套无法在照相机受到击打或震动时提供保护。切勿让防水套跌落、用其击打硬物、将其掷入水中或者拿着防水套跳水。

最大深度

防水套的防水深度可达40 m。防水套在更深处可能会漏水、破裂或变形，从而导致照相机损坏。

温度

切勿将防水套遗留在高温区或者靠近火源。未能遵守本注意事项可能会造成防水套性能下降或变形。温度突变可能会造成防水套内结露，从而可能会造成照相机损坏。防止结露：

- 前往明显更加温暖或寒冷的地方以后，请将照相机放在防水套中，直到达到与周围环境相同的温度。
- 入水前，切勿将防水套放在沙滩上或直射阳光下而使其受到高温影响。

化学品

- 切勿在防水套上粘贴粘胶纸，否则粘合剂可能会造成防水套性能下降。
- 切勿让防水套与以下化学品或其气体接触。未能遵守本注意事项可能会造成防水套损坏。
 - 清理防水套时，切勿使用化学洗涤剂、防锈剂、稀释剂、酒精或其它挥发性化学品。只能在淡水中清洗。
 - 切勿使用防雾化学品。
 - 切勿使用粘合剂。
 - 注意不要涂抹防晒霜等化妆品。

乘坐飞机

乘坐飞机时，请尽量将防水套放入随身行李箱中。将防水套放入托运行李时，请让防水套处于打开状态。如果防水套处于密封状态，气压变化可能会造成防水套损坏或者无法打开。

高海拔

从高海拔地区向低海拔地区行进时，请定期打开防水套让内外压力相同。如果防水套保持密封状态，气压变化可能会造成防水套损坏或者无法打开。

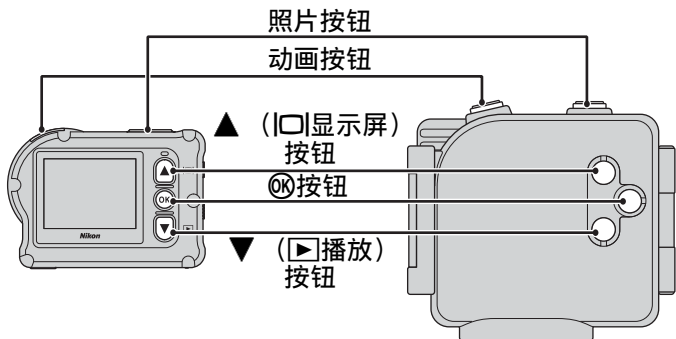
使用以后

- 使用以后，请尽快清理防水套。在不打开防水套或者取出照相机的情况下，将防水套放入盛满淡水的盆中进行清洗。用柔软的干布将防水套的外部彻底擦干。
- 取出照相机，然后用柔软的干布擦拭防水套的内部。切勿用水清洗防水套的内部。
- 将防水套重新密封起来，然后将其放在盛满淡水的盆中2到3小时。操作每个按钮数次清除盐份。如果盐份干在按钮上，按钮可能会无法使用，或者其金属部件可能会生锈，从而导致防水套漏水。
- 用柔软的干布将防水套彻底擦干。切勿使用粘有盐份的擦布。将防水套放在阴凉通风的地方进行风干。切勿使用吹风机或其它热源，或者将防水套放在直射阳光下。热量可能会造成防水套或防水密封圈性能下降，从而导致漏水。

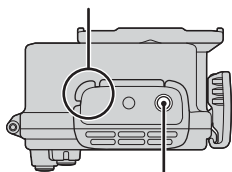
存放

- 让防水套保持打开状态。当防水套长期不使用时，请将其放在干净的塑料袋中，以免防水密封圈接触灰尘。
- 将防水套存放在阴凉通风的地方。切勿将防水套存放在直射阳光下或者会出现温度突变或高湿度的地方。切勿将防水套或防水密封圈和石脑油或樟脑卫生球一起存放。

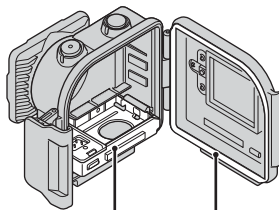
部件名称



防摔挂绳孔



三脚架连接孔

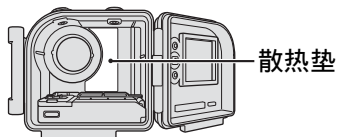


附加电池盒

防水密封圈

☑ 关于散热垫的注意事项

散热垫可抑制温度升高。切勿用力按压散热垫，切勿撕下黑色胶带。



准备照相机

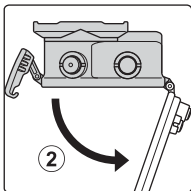
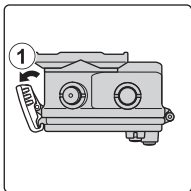
准备照相机

从照相机上拆下保护镜。插入存储卡和电量充足的电池。

- 使用软布或空气除尘器从照相机上清除水或灰尘等异物。如果在插入防水套时照相机依然未干，可能会造成结露。

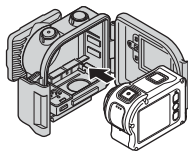
1 打开防水套。

- 依次打开锁扣 (①) 和后盖 (②)。



2 插入照相机。

- 让镜头正确位于镜头窗口中，将照相机插入防水套。

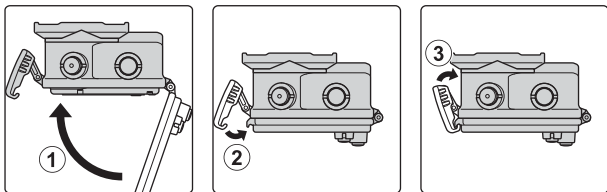


关闭防水套以前，执行以下检查。

- 轻轻关闭防水套，以免防水密封圈脱落。
- 确保锁扣已完全锁紧。
- 为了防止漏水，请再次确认防水密封圈未被挤出或者异物未卡在防水套中。

3 关闭防水套。

- 让后盖与前盖对准 (①)，将锁扣向后盖侧倾斜按压并钩住钩形突起 (②)，然后倾斜按压锁扣，直到发出咔嗒声表示锁定到位 (③)。



如果镜头窗口雾化

- 若要清除雾化，请尝试将照相机从防水套中取出并使用一段时间，然后再将其放回防水套。将照相机放回时，请确保防水套中没有水残留。

如果后盖难以打开

在以下环境中，后盖可能会因周围温度变化引起的气压差而难以打开。

- 当在后盖关闭的情况下长期存放防水套时
- 当在高温环境中长期存放防水套时
- 将防水套移到温差大的地方时

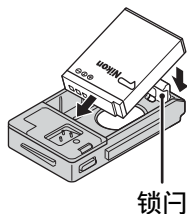
移动或存放防水套时，确保后盖未完全关闭。

增加电池

可以增加电池。

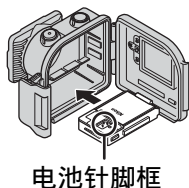
1 将电池插入附加电池盒。

- 确保电池的正负极端子方向正确，插入电池，直到锁闩将其固定到位。
- 注意不要弄湿或触碰电源端子，否则可能会造成故障。



2 将附加电池插入防水套的附加电池盒存储单元。

- 如果弄湿或触碰电池针脚框，可能会造成故障。
- 若要取出电池，请向外拉锁闩，并从附加电池盒底部的开口向上推出电池。



在高温环境中录制

- 当在高温环境中使用时，即使电池已充满电，如果照相机温度变得很高，录制也可能会停止。

技术规格

最大水深	40 m
照相机操作温度	-10°C - +40°C (在陆地上使用)， 0°C - 40°C (在水下使用)
尺寸 (宽x高x厚)	约90.2x80.3x48.8 mm (不包括突出部分)
重量	约133 g (不包括电池和照相机)

防水套WP-AA1的防水性能相当于JIS/IEC防水8级 (IPX8)。经确认，将防水套放在水下约40 m处长达约30分钟，也不会漏水。

本产品外观及其规格若有变更，恕不另行通知。

尼康客户支持中心服务热线：400-820-1665
(周一至周日9:00-18:00, 除夕下午休息)
<http://www.nikon.com.cn/>

进口商：尼康映像仪器销售（中国）有限公司
上海市茂名南路205号瑞金大厦22楼, 200020

出版日期 2016 年 11 月 1 日

安全須知

為防止您的財產受損或者您自己或他人受傷，在使用本產品之前，請全面閱讀“安全須知”。

請妥善保管這些安全指南，以便本產品的所有使用者可隨時查閱。



危險

若不遵守標有該圖示的注意事項，極有可能會導致死亡或嚴重受傷。



警告

若不遵守標有該圖示的注意事項，可能會導致死亡或嚴重受傷。



注意事項

若不遵守標有該圖示的注意事項，可能會導致受傷或財產受損。



警告

- 勿自行拆解或改裝本產品。
勿觸碰由於摔落或其他意外事故而外露的內部零件。若不遵守此注意事項，可能會導致觸電或其他傷害。
- 若發現任何不正常現象，如本產品冒煙、發熱或異味等，請立即取出電池或斷開電源。若在此情形下繼續使用，可能會導致起火、灼傷或其他傷害。
- 勿在有丙烷氣、汽油或煙霧劑等易燃性粉塵或氣體的場所使用本產品。若不遵守此注意事項，可能會導致爆炸或火災。
- 勿在兒童伸手可及之處保管本產品。若不遵守此注意事項，可能會導致受傷或產品故障。另外，請注意細小部件有導致窒息的危險。若兒童誤吞了本產品的任何部件，請立即尋求醫療協助。
- 勿使用非指定用於本產品的電池。
若不遵守此注意事項，可能會導致起火或觸電。
- 在溫度極高或極低的場所，勿用裸手直接接觸。若不遵守此注意事項，可能會導致灼傷或凍傷。
- 確認本產品已正確穩固佩戴。遵守所有相關機構和比賽中的規則和規定，安全使用本產品。若不遵守此注意事項，可能會導致事故或其他傷害。
- 若佩戴本產品會干擾必要裝置的使用，請勿佩戴。若不遵守此注意事項，可能會導致事故或其他傷害。

注意事項

- 若您將在較長時間內不使用本產品，請取出電池。若不遵守此注意事項，可能會導致起火或產品故障。
- 勿將本產品長時間放置在極其高溫的地方，如封閉的車內或直射陽光下。若不遵守此注意事項，可能會導致起火或產品故障。
- 小心勿讓本裝置夾住您的手部或皮膚。若不遵守此注意事項，可能會導致事故或其他傷害。
- 勿將本產品放置或安裝於不平穩的表面。若不遵守此注意事項，可能會導致產品鬆脫或滑落，從而引發事故或其他傷害。

電池的危險事項

- 勿錯誤使用電池。若不遵守以下注意事項，可能會導致電池漏液、過熱、破裂或起火：
 - 僅可使用已被驗證可用於本產品的可充電電池。
 - 勿將電池投入火中或加熱升溫。
 - 勿自行拆解。
 - 勿使電池終端接觸項鍊、髮夾或其他金屬物品而引起短路。
 - 勿使電池或其所在的产品受到強烈震動。
- 勿嘗試使用非專門指定的充電器/相機為 EN-EL12 可充電電池進行充電。若不遵守此注意事項，可能會導致電池漏液、過熱、破裂或起火。
- 若電池的電池液接觸到眼睛，請立即用大量清水沖洗並尋求醫療協助。若不及時處理將可能導致眼睛受傷。

電池的警告事項

- 勿在兒童伸手可及之處保管電池。若兒童誤吞了電池，請立即尋求醫療協助。
- 勿將電池浸入水中或暴露在雨中。若不遵守此注意事項，可能會導致起火或產品故障。若本產品被弄濕，請立即用毛巾或類似物品將其擦乾。
- 一旦發現電池變色或變形，請立即停止使用。如果電池未在指定時間內充電，請停止充電。若不遵守此注意事項，可能會導致電池漏液、過熱、破裂或起火。
- 處理前，請用絕緣膠帶封好電池的終端。若金屬物品接觸到電池終端，可能會導致過熱、破裂或起火。
請按照當地的相關規定回收或處理電池。

- 若電池的電池液接觸到皮膚或衣物，請立即用大量清水沖洗接觸部位。若不遵守此注意事項，可能會導致皮膚過敏。
-

包裝內容

使用本產品前，請檢查是否提供有下列物品。

- WP-AA1 防水罩
- 附加電池盒（防水罩內部）

使用注意事項

- 切勿在 WP-AA1 防水罩中放置兼容相機以外的其他物品。
- 使用防水罩前，請檢查本產品和相機將正常操作且無漏水。在不太可能的情況下，防水罩會因浸泡（漏水）造成損壞，尼康並不保證內部設備（相機、電池、記憶卡等）和記錄的內容免受損壞，亦不對拍攝所帶來的費用承擔責任。對於本產品故障所導致的損壞或利潤損失，尼康不承擔任何責任。
- 如果防水罩遭受衝擊或防水包裝看上去已變質，建議諮詢零售商或相機說明書中所示的尼康授權服務代表。
- 請勿將 WP-AA1 防水罩安裝至 AA-7 車把固定底座，這兩種配件互不兼容。

防止滲漏

防水罩中進水，不僅會給相機和附加電池盒帶來不可修復的損害，還會產生火災、觸電或使其暴露於有毒氣體。遵守以下注意事項，可防止防水罩進水：

- 在水中或水附近使用防水罩之前，按照本說明書所述測試是否漏水。
- 密封防水罩之前，仔細檢查防水包裝和與防水包裝接觸的防水罩的零件，確保無水、髒污、毛髮、線頭、灰塵、沙子和其他異物。確保防水包裝未扭曲或錯位。
- 切勿在暴露於噴霧、大風、灰塵或沙子的地區打開防水罩。
- 切勿跌落防水罩、將其置於重物下或對其施加過大的力。未能遵守本注意事項可能會導致防水罩彎曲，造成滲漏。
- 如出現滲漏，應立即停止使用，擦乾相機和防水罩內部，並將相機與防水罩送至尼康授權的服務代表人員處。

初步滲漏測試

將相機放入防水罩之前，扣上防水罩並將其浸於水中，檢查滲漏情況，如下所示。

- 扣上防水罩，然後慢慢將其浸於水中，如果防水罩內部排出氣體，則停止測試。
- 浸泡防水罩並在水下操作按鍵 2 至 3 分鐘，檢查是否有氣泡溢出。
- 將防水罩從水中取出，並用柔軟的乾布徹底擦乾，然後打開防水罩，檢查裡面是否有水。

衝擊與震動

防水罩並非設計用於保護相機免受撞擊或震動。切勿跌落防水罩、在堅硬物體上撞擊、將其扔入水中或拿著防水罩跳入水中。

最大深度

防水罩可防水 40 m。在更深區域，防水罩可能會漏水、斷裂或變形，造成相機損壞。

溫度

切勿將防水罩置於高溫或接近火源的地區。未能遵守本注意事項可能會使防水罩功能減弱或變形。溫度突變可能會導致防水罩內部冷凝，亦可能會損壞相機。要避免冷凝：

- 從一個地方轉移至另一個明顯更熱或更冷的地方時，將相機保留在防水罩內，直至其溫度與周圍環境溫度一致。
- 進入水中前，切勿將防水罩放置於沙灘上或直射陽光下等高溫區域。

化學物質

- 切勿在防水罩上貼貼紙，因為黏合劑會造成防水罩變質。
- 切勿將防水罩暴露於以下化學物質或其氣體中。未能遵守本注意事項可能會損壞防水罩。
 - 清洗防水罩時，切勿使用化學清洗液、防鏽劑、稀釋劑、酒精或其他化學物質。僅可使用清水清洗。
 - 切勿使用防霧化學物質。
 - 切勿使用黏合劑。
 - 注意切勿使用化妝品，如防晒霜。

搭乘飛機

搭乘飛機時，如可能，請將防水罩放在隨身行李中。將防水罩放在托運行李中時，請將防水罩打開。若關閉防水罩，氣壓的變化可能會損壞防水罩或使其無法打開。

高海拔地區

從高海拔地區前往低海拔地區時，定期打開防水罩以平衡壓力。若防水罩保持關閉，氣壓的變化可能會損壞防水罩或使其無法打開。

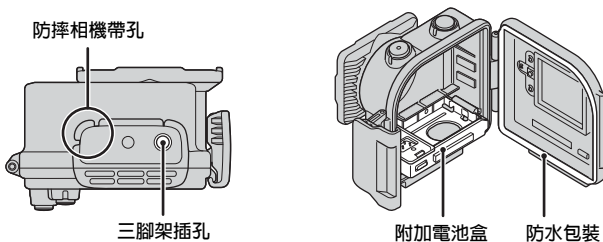
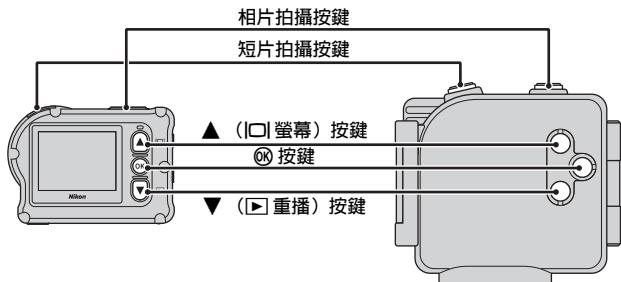
使用後

- 使用後應盡快清潔防水罩。不要打開防水罩或取出相機，在一盆清水中洗滌防水罩。用一塊柔軟的乾布徹底擦乾防水罩外部。
- 取出相機，用柔軟的乾布擦乾防水罩內部。切勿用水沖洗防水罩內部。
- 重新關上盒子，將其放在一盆清水中兩至三小時。每個按鍵操作幾次，以清除鹽粒。如鹽粒乾在按鍵上，按鍵可能會無法使用或金屬部件可能會生鏽，導致防水罩漏水。
- 用一塊柔軟的乾布徹底擦乾防水罩。切勿使用已粘附鹽粒的布。將防水罩放在外面，在陰涼且通風良好的區域晾乾。切勿使用吹風機或其他熱源或將防水罩放置於直射陽光下。高溫可能會導致防水罩或防水包裝變質，造成漏水。

儲存

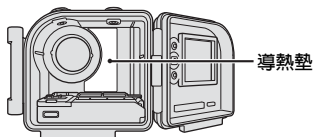
- 將防水罩打開。長時間不使用防水罩時，請將其放置於乾淨的塑料袋中，保護防水包裝以免變臟。
- 請將防水罩儲存在涼爽且通風良好的區域。請勿將防水罩存放於直射陽光下或溫度突變或濕度極高的地方。切勿將防水罩或防水包裝與石油精或樟腦球一起存放。

組件名稱



✓ 關於導熱墊的注意事項

導熱墊可防止溫度上升。請勿用力按壓導熱墊，切勿剝去黑色膠帶。



準備相機

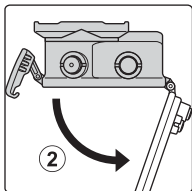
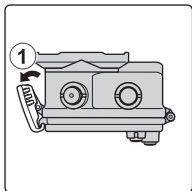
準備相機

從相機移除鏡頭保護蓋。插入記憶卡和完全充電的電池。

- 使用軟布或吹塵器移除相機上的水或灰塵等異物。如果相機在插入防水罩時潮濕，可能會引起結露。

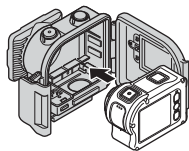
1 打開防水罩。

- 打開鎖扣 (①)，然後打開後罩蓋 (②)。



2 插入相機。

- 將電池插入防水罩，以將鏡頭裝進鏡頭視窗。

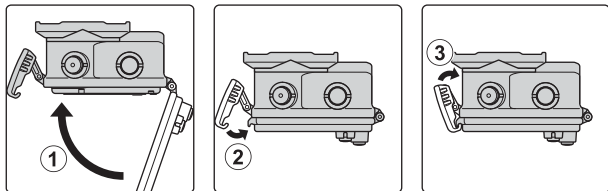


執行以下檢查，然後再關閉防水罩。

- 輕輕關上防水罩，以免防水包裝掉落。
- 確保鎖扣已鎖緊。
- 為避免漏水，再次檢查防水包裝未被擠出，且防水罩內無異物。

3 關閉防水罩。

- 將後罩蓋與前罩蓋對準 (1)，向後罩蓋傾斜鎖扣，勾住掛鉤 (2)，然後再傾斜鎖扣直至其卡入到位 (3)。



如果鏡頭窗起霧

- 如要清除霧氣，嘗試將相機從防水罩中取出，使用一段時間後再將其裝回。將相機放入時，確保防水罩中無水。

如果後蓋難以打開

在下述情況下，由於周圍環境溫度變化產生的氣壓差異，後蓋可能難以打開。

- 長期儲存防水罩且後蓋關閉時
- 在炎熱環境下長期儲存防水罩時
- 將防水罩移至溫度顯著變化的地方時

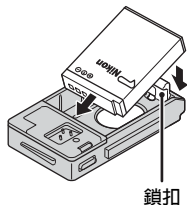
移動或儲存防水罩時，確保後蓋未完全關閉。

添加電池

您可以添加電池。

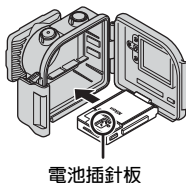
1 將電池插入附加電池盒。

- 確保正極和負極終端方向正確，插入電池，直至鎖扣卡入到位。
- 注意不要將電源終端弄濕或觸碰電源終端，否則可能會產生故障。



2 將附加電池插入防水罩的附加電池盒儲存器。

- 如將電池插針板弄濕或觸碰電池插針板，可能會產生故障。
- 要移除電池，向外拉鎖扣，從附加電池盒底部的移除孔向上推動電池。



✎ 高溫條件下記錄

- 在高溫條件下使用時，如果相機變熱，即使電池電量充足，也可能會停止記錄。

規格

最大水深	40 m
相機操作溫度	-10°C – +40°C（陸地使用），0°C–40°C（水底使用）
尺寸（寬 x 高 x 深）	約 90.2 × 80.3 × 48.8 mm（不包括突出部分）
重量	約 133 g（電池和相機除外）

WP-AA1 防水罩的防水效能相當於 JIS/IEC 防水等級 8 (IPX8)。經確認，放置於深達 40 m 的水中長達 30 分鐘，水不會進入防水罩。

- 本說明書中如有任何錯誤，尼康不承擔任何責任。
- 本產品的外觀和規格如有改動，恕不另行通知。

För säkerhets skull

För att förhindra skador på dig själv eller andra, läs hela "För säkerhets skull" innan du använder denna produkt.

Förvara dessa säkerhetsinstruktioner där de som använder produkten kan läsa dem.



FARA

Om de försiktighetsåtgärder som markeras med denna ikon inte följs finns stor risk för dödsfall eller allvarliga skador.



VARNING

Om de försiktighetsåtgärder som markeras med denna ikon inte följs kan det leda till dödsfall eller allvarliga skador.



FÖRSIKTIGHET

Om de försiktighetsåtgärder som markeras med denna ikon inte följs kan det leda till personskador eller skada på egendom.



VARNING

- Demontera eller modifiera inte produkten.
Rör inte vid interna delar som exponeras på grund av ett fall eller annan olycka. Om dessa försiktighetsåtgärder inte följs kan det orsaka elstötar eller andra skador.
- Om du upptäcker något onormalt, såsom att produkten avger, rök, värme eller ovanlig lukt, koppla omedelbart bort batteriet eller strömkällan. Fortsatt användning kan orsaka brand, brännskador eller andra skador.
- Använd inte produkten i närheten av lättantändligt damm eller gas såsom propan, bensin eller aerosoler. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan det orsaka explosion eller brand.
- Förvara denna produkt utom räckhåll för barn. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan det orsaka skador eller fel på produkten. Notera dessutom att smådelar utgör en kvävningsrisk. Om ett barn sväljer någon del av denna produkt, kontakta omedelbart sjukvården.
- Använd inte batterier som inte är speciellt avsedda för användning med denna produkt. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan det orsaka brand eller elstötar.
- Hantera inte med bara händerna på platser med extremt höga eller låga temperaturer. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan det orsaka brännskador eller köldskador.

- Se till att produkten har säkrats ordentligt. Följ regler och förordningar i alla anläggningar och i alla tävlingar där produkten används. Om dessa försiktighetsåtgärder inte följs kan det leda till olyckor eller andra skador.
- Bär inte denna produkt om detta påverkar användningen av nödvändig utrustning. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan det leda till olyckor eller andra skador.



FÖRSIKTIGHET

- Ta bort batterierna om produkten inte ska användas under en längre tid. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan det orsaka brand eller fel på produkten.
- Lämna inte produkten på en plats där den utsätts för extremt höga temperaturer under en längre tid, såsom i ett stängt fordon eller i direkt solljus. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan det orsaka brand eller fel på produkten.
- Var försiktig så att dina fingrar, händer och hud inte fastnar i utrustningen. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan det leda till olyckor eller andra skador.
- Placera inte produkten på, och fäst den inte på, instabila ytor. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan det leda till att produkten lossnar eller faller, och orsakar olyckor eller andra skador.



FARA för batterier

- Hantera batterierna korrekt. Om följande försiktighetsåtgärder inte följs kan batterierna läcka, överhettas, spricka eller börja brinna:
 - Använd endast uppladdningsbara batterier som är godkända för användning i denna produkt.
 - Utsätt inte batterierna för öppen eld eller stark värme.
 - Demontera inte.
 - Kortslut inte polerna genom att röra vid dem med halsband, hårnålar eller andra metallföremål.
 - Utsätt inte batterier eller produkter som de är isatta i för kraftiga fysiska stötar.
- Försök inte ladda upp uppladdningsbara EN-EL12-batterier med laddare/kameror som inte är speciellt avsedda för detta syfte. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan batterierna läcka, överhettas, spricka eller börja brinna.
- Om batterivätska kommer i kontakt med ögonen, skölj med rikligt med rent vatten och uppsök sjukvården omedelbart. Om du väntar med detta kan det leda till ögonskador.



VARNING för batterier

- Förvara batterierna utom räckhåll för barn. Om ett barn sväljer ett batteri, uppsök sjukvården omedelbart.
- Sänk inte ner batterierna i vatten, och utsätt dem inte för regn. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan det orsaka brand eller fel på produkten. Torka omedelbart av produkten med en handduk eller liknande om den blir blöt.
- Sluta omedelbart använda produkten om du upptäcker förändringar i batterierna, såsom missfärgning eller deformation. Sluta ladda batterierna om de inte laddas under den angivna tidsperioden. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan batterierna läcka, överhettas, spricka eller börja brinna.
- Innan du kasserar dem, isolera batteripolerna med tejp. Överhettning, sprickor eller brand kan orsakas om metallföremål kommer i kontakt med polerna. Återvinn eller kassera batterierna i enlighet med lokala bestämmelser.
- Om batterivätska kommer i kontakt med en persons hud eller kläder, skölj omedelbart det påverkade området med rikligt med rent vatten. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan det orsaka hudirritation.

Meddelanden

Meddelande till kunder i Europa

VARNINGAR

EXPLOSIONSRISK OM BATTERIET ERSÄTTTS MED ETT BATTERI AV FEL TYP.

KASSERA ANVÄNDA BATTERIER I ENLIGHET MED ANVISNINGARNA.

Denna symbol indikerar att elektrisk och elektronisk utrustning måste lämnas till separat insamling.

Följande gäller endast användare i europeiska länder:

- Den här produkten ska lämnas till separat insamling vid en särskild samlingsplats. Släng inte produkten tillsammans med det vanliga hushållsavfallet.
- Separat insamling och återvinning hjälper till att spara på naturresurserna och förhindrar den negativa påverkan på människors hälsa och på miljön som kan inträffa vid felaktig kassering.
- Mer information får du från återförsäljaren eller av de lokala myndigheter som ansvarar för avfallshanteringen där du bor.



Förpackningens innehåll

Innan du använder produkten, kontrollera att följande föremål medföljer.

- Undervattenshus WP-AA1
- Hållare för extrabatteri (inne i undervattenshuset)

Försiktighetsåtgärder vid användning

- Lägg inga andra föremål än den kompatibla kameran i Undervattenshus WP-AA1.
- Innan du använder undervattenshuset, kontrollera att produkten och kameran fungerar korrekt och att vatten inte kan läcka in. I det osannolika fallet att ett fel på undervattenshuset orsakar skador på grund av nedsänkning (vattenläckage) ger Nikon ingen garanti för skador på den inre utrustningen (kamera, batteri, minneskort, etc.) eller inspelat innehåll, eller kostnader som uppstår när det gäller fotograferingen. Nikon kan inte hållas ansvarigt för skador eller utebliven vinst som har uppkommit till följd av fel på produkten.
- Om undervattenshuset har utsatts för stötar eller om den vattentäta packningen ser ut att vara sliten rekommenderar vi att du kontaktar din återförsäljare eller en Nikon- auktoriserad servicerepresentant enligt beskrivningen i kamerans handbok.
- Fäst inte Undervattenshus WP-AA1 på Fäste för cykelstyre AA-7, eftersom de inte är kompatibla med varandra.

Förhindra läckage

Vatten inne i undervattenshuset kan utsätta kameran och hållaren för extrabatteri för skador som inte kan repareras, och kan också orsaka brand, elstötar eller exponering för giftiga gaser. Förhindra att vatten kommer in i undervattenshuset genom att följa dessa försiktighetsåtgärder:

- Innan du använder undervattenshuset i eller i närheten av vatten, testa om det finns läckor enligt beskrivningen i denna handbok.
- Innan du förseglar undervattenshuset, undersök den vattentäta packningen och de delar av undervattenshuset som ligger mot den vattentäta packningen noggrant för att försäkra dig om att det inte finns vätska, smuts, hår, ludd, damm, sand eller andra främmande ämnen på dem. Se till att den vattentäta packningen inte är vriden och att den sitter på rätt plats.
- Öppna inte undervattenshuset i områden med vattenstänk, starka vindar, damm eller sand.
- Tappa inte undervattenshuset, placera det inte under tunga föremål, och utsätt det inte för kraftiga stötar. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan undervattenshuset deformeras, och läckor kan uppstå.
- Om en läcka uppstår, sluta omedelbart använda utrustningen, torka kameran och insidan av undervattenshuset, och ta med kameran och undervattenshuset till en Nikon- auktoriserad servicerepresentant.

Det inledande läckagetestet

Innan du placerar kameran i undervattenshuset, stäng undervattenshuset och sänk ner det i vatten för att kontrollera om det finns läckor, enligt beskrivningen nedan.

- Stäng undervattenshuset och sänk sakta ner det i vatten, och stanna om luft läcker ut från undervattenshuset.
- Sänk ner undervattenshuset i vatten, använd knapparna i 2 till 3 minuter och kontrollera om bubblor kommer ut.
- Ta upp undervattenshuset från vattnet, torka det noggrant med en mjuk, torr trasa, och öppna det sedan och kontrollera om det finns vatten i det.

Stötar och vibrationer

Undervattenshuset är inte konstruerat för att skydda kameran från stötar eller vibrationer. Tappa inte undervattenshuset, slå det inte mot hårda föremål, kasta det inte i vattnet, och hoppa inte i vattnet när du håller i det.

Maximalt djup

Undervattenshuset är vattentätt ner till 40 m. På större djup kan undervattenshuset läcka, gå sönder eller ändra form, vilket leder till skador på kameran.

Temperatur

Lämna inte undervattenshuset i områden med hög temperatur, eller i närheten av en eld. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan undervattenshuset försvagas eller deformeras. Plötsliga förändringar i temperaturen kan leda till kondensation inne i undervattenshuset, vilket också kan skada kameran. För att förhindra kondensation:

- När du går från ett område till ett annat som är märkbart varmare eller kallare, lämna kameran i undervattenshuset tills den har nått samma temperatur som omgivningen.
- Utsätt inte undervattenshuset för höga temperaturer genom att lämna det på stranden eller i direkt solljus innan du går i vattnet.

Kemikalier

- Sätt inte klistermärken på undervattenshuset, då limmet kan förstöra det.
- Utsätt inte undervattenshuset för följande kemikalier eller dess ångor. Om denna försiktighetsåtgärd inte följs kan det leda till skador på undervattenshuset.
 - Använd inte kemiska rengöringsmedel, rostskyddsmedel, thinner, alkohol eller andra flyktiga kemikalier när du rengör undervattenshuset. Tvätta endast i rent vatten.
 - Använd inte immskyddskemikalier.
 - Använd inte klister.
 - Använd inte produkter som t.ex. solskyddsmedel.

Flygresor

Om möjligt, ta med undervattenshuset i handbagaget när du reser med flyg. Om du packar ner undervattenshuset i incheckat bagage, lämna det då öppet. Om undervattenshuset är förseglat kan förändringar i lufttrycket skada det, eller förhindra att det öppnas.

Höga höjder

När du reser från hög till låg höjd över havet, öppna undervattenshuset regelbundet för att utjämna trycket. Om undervattenshuset hålls förseglat kan förändringar i lufttrycket skada det, eller förhindra att det öppnas.

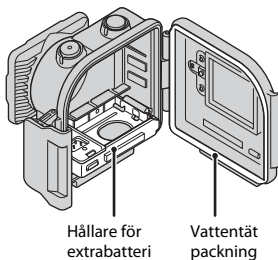
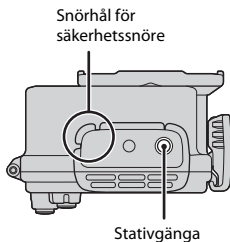
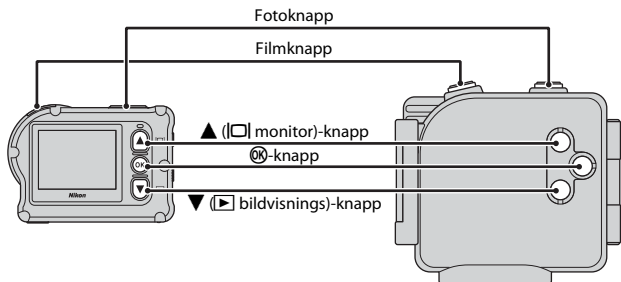
Efter användningen

- Rengör undervattenshuset så snart som möjligt efter användningen. Tvätta undervattenshuset i en balja med rent vatten utan att öppna det eller ta ur kameran. Torka undervattenshusets utsida noggrant med en mjuk, torr trasa.
- Ta bort kameran och torka insidan av undervattenshuset med en mjuk, torr trasa. Tvätta inte insidan av undervattenshuset med vatten.
- Stäng undervattenshuset igen och lämna det i en balja med rent vatten i två till tre timmar. Använd alla knapparna några gånger för att ta bort salt. Om salt torkar på knapparna kan de sluta fungera, eller så kan deras metalledar rosta, vilket leder till att undervattenshuset läcker.
- Torka undervattenshuset noggrant med en mjuk, torr trasa. Använd inte en trasa som salt har fastnat på. Låt undervattenshuset ligga ute för att torka på en skuggig, välventilerad plats. Använd inte en hårtork eller annan värmekälla, och lägg inte undervattenshuset i direkt solljus. Värme kan leda till att undervattenshuset eller den vattentäta packningen försvagas, och orsaka läckage.

Förvaring

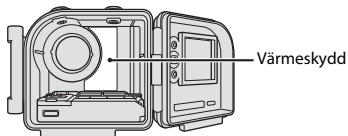
- Lämna undervattenshuset öppet. Om undervattenshuset inte används under en längre tid, lägg det i en ren plastpåse för att skydda den vattentäta packningen från damm.
- Förvara undervattenshuset på en sval, välventilerad plats. Förvara inte undervattenshuset i direkt solljus, eller på platser där det utsätts för plötsliga temperaturförändringar eller hög luftfuktighet. Förvara inte undervattenshuset eller den vattentäta packningen med malkulor som innehåller nafta eller kamfer.

Delarnas namn



✓ Anmärkningar om värmeskyddet

Värmeskyddet förhindrar att temperaturen ökar. Tryck inte hårt på värmeskyddet, och dra inte bort den svarta tejen.



Förbereda kameran

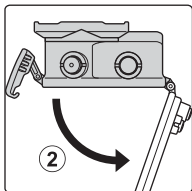
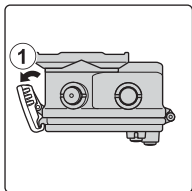
Förbered kameran

Ta bort linsskyddet från kameran. Sätt i ett minneskort och ett fulladdat batteri.

- Använd en mjuk trasa eller luftblåsare för att ta bort främmande ämnen som t.ex. vatten eller damm från kameran. Om kameran fortfarande är blöt när den placeras i undervattenshuset kan det orsaka kondensation.

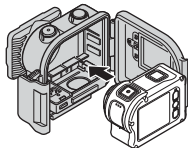
1 Öppna undervattenshuset.

- Öppna spännet (①), och öppna sedan den bakre luckan (②).



2 Sätt i kameran.

- Sätt i kameran i undervattenshuset så att objektivet passar i objektivfönstret.

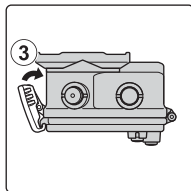
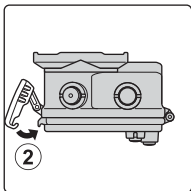
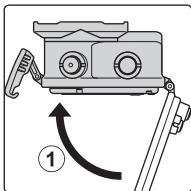


Utför följande kontroller innan du stänger undervattenshuset.

- Stäng undervattenshuset försiktigt så att den vattentäta packningen inte lossnar.
- Se till att spännet är helt låst.
- För att förhindra vattenläckage, kontrollera igen att den vattentäta packningen inte har tryckts ut och att inga främmande föremål fastnat i undervattenshuset.

3 Stäng undervattenshuset.

- Passa in den bakre luckan mot framsiden (①), vrid spännet mot den bakre luckans sida och haka fast haken (②), vrid sedan spännet tills det klickar på plats och låses (③).



Om objektivfönstret blir immigt

- Försök att få bort imman genom att ta ur kameran från undervattenshuset och använda den ett tag innan du lägger i den igen. Se till att inget vatten finns kvar i undervattenshuset när du lägger tillbaka kameran i det.

Om det bakre skyddet är svårt att öppna

I de situationer som beskrivs nedan kan det bakre skyddet vara svårt att öppna på grund av skillnader i lufttrycket som orsakats av förändringar i den omgivande temperaturen.

- Om undervattenshuset förvaras under en längre tid med det bakre skyddet stängt
- Om undervattenshuset förvaras på en varm plats under en längre tid
- Om undervattenshuset flyttas till en plats med stor temperaturskillnad

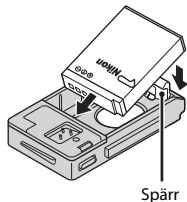
Se till att det bakre skyddet inte är helt stängt när du transporterar eller förvarar undervattenshuset.

Lägga till ett batteri

Du kan lägga till ett batteri.

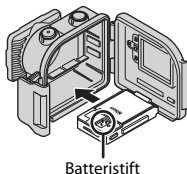
1 Sätt i batteriet i hållaren för extrabatteri.

- Vänd den positiva och negativa polen åt rätt håll och för in batteriet tills spärren håller det på plats ordentligt.
- Var försiktig så att du inte blöter ner eller rör vid strömkontakten, då det kan leda till fel på produkten.



2 För in extrabatteriet i förvaringsutrymmet för hållaren för extrabatteri i undervattenshuset.

- Om du blöter ner eller rör vid batteristiften kan det orsaka felfunktion.
- För att ta bort batteriet, dra spärren utåt och tryck upp genom öppningen längst ner på hållaren för extrabatteri.



Inspelning i omgivningar med höga temperaturer

- Inspelningen kan avbrytas om kameran blir varm när den används i omgivningar med höga temperaturer, även om batteriet har tillräcklig laddning.

Specifikationer

Maximalt vattendjup	40 m
Kamerans drifttemperatur	-10 °C– +40 °C (för användning på land), 0 °C–40 °C (för användning under vattnet)
Mått (B x H x D)	Ungefär 90,2 x 80,3 x 48,8 mm (exklusive utskjutande delar)
Vikt	Ungefär 133 g (exklusive batteri och kamera)

Vattentätheten hos Undervattenshus WP-AA1 motsvarar JIS/IEC vattentäthetsklass 8 (IPX8). Det är bekräftat att vatten inte läcker in i undervattenshuset om det hålls under vattnet på ett djup upp till 40 m i 30 minuter.

- Nikon kan inte hållas ansvarigt för eventuella fel i denna handbok.
- Produktens utseende och specifikationer kan ändras utan föregående meddelande.

Для Вашей безопасности

Для предотвращения повреждения имущества или получения травм полностью прочтите раздел "Для Вашей безопасности" прежде, чем использовать изделие.

Храните данные инструкции по технике безопасности в доступном месте, где с ними смогут ознакомиться все, кто использует данное изделие.



ОПАСНО

Несоблюдение предостережений, отмеченных данным символом, приводит к высокому риску смерти или получению серьезной травмы.



ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Несоблюдение предостережений, отмеченных данным символом, может привести к смерти или получению серьезной травмы.



ПРЕДОСТЕРЕЖЕНИЕ

Несоблюдение предостережений, отмеченных данным символом, может привести к травме или повреждению имущества.



ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

- Не разбирайте и не модифицируйте изделие.
Не касайтесь внутренних частей, которые стали обнажены в результате падения изделия или другого несчастного случая. Несоблюдение этих предостережений может привести к поражению электрическим током или другой травме.
- При обнаружении любых неисправностей, как например, дым, жар или необычный запах, исходящие от изделия, немедленно отсоедините батарею или источник питания. Дальнейшая эксплуатация может привести к возгоранию, ожогам или другим травмам.
- Не используйте данное изделие в присутствии воспламеняющейся пыли или газа, как например, пропан, газولين или аэрозоли. Несоблюдение данного предостережения может привести к взрыву или возгоранию.
- Держите данное изделие в недоступном для детей месте. Несоблюдение данного предостережения может привести к травме или неисправности изделия. Кроме того, имейте в виду, что небольшие детали представляют собой опасность удушья. Если ребенок проглотил любую часть данного изделия, немедленно обратитесь за медицинской помощью.
- Не используйте батареи, не предназначенные для использования с данным изделием. Несоблюдение данного предостережения может привести к возгоранию или поражению электрическим током.
- Не касайтесь голыми руками в местах, подверженных воздействию чрезвычайно высоких или низких температур. Несоблюдение данного предостережения может привести к ожогам или обморожению.

- Убедитесь, что изделие надежно закреплено. Соблюдайте правила и нормы всех объектов и во всех конкурсах, где продукт будет использоваться. Несоблюдение этих мер предосторожности может стать причиной несчастных случаев или прочих травм.
- Не переносите этот продукт, если он будет мешать использованию необходимого оборудования. Несоблюдение этой меры предосторожности может стать причиной несчастных случаев или прочих травм.



ПРЕДОСТЕРЕЖЕНИЕ

- Извлеките батареи, если данное изделие не будет использоваться в течение длительного периода времени. Несоблюдение данного предостережения может привести к возгоранию или неисправности изделия.
- Не оставляйте изделие в местах, где оно будет подвергаться воздействию чрезвычайно высоких температур в течение длительного периода времени, как например, в закрытом автомобиле или под прямыми солнечными лучами. Несоблюдение данного предостережения может привести к возгоранию или неисправности изделия.
- Позаботьтесь о том, чтобы Ваши пальцы, руки и кожа не попали в оборудование. Несоблюдение этой меры предосторожности может стать причиной несчастных случаев или прочих травм.
- Не устанавливайте изделие на неустойчивые поверхности и не прикрепляйте его к ним. Несоблюдение этого требования может привести к тому, что изделие ослабнет или упадет и станет причиной несчастных случаев или прочих травм.



ОПАСНО! Батареи

- Обращайтесь с батареями правильно. Несоблюдение следующих предостережений может привести к протечке, перегреву, разрыву или возгоранию батарей:
 - Используйте только перезаряжаемые батареи, одобренные для использования с данным изделием.
 - Не подвергайте батареи воздействию огня или перегреву.
 - Не разбирайте.
 - Не замыкайте накоротко контакты, касаясь их бусами, шпильками для волос или другими металлическими предметами.
 - Не подвергайте батареи или изделия, куда они вставлены, сильным ударам.
- Не пытайтесь зарядить перезаряжаемые батареи EN-EL12 с помощью зарядного устройства/фотокамер, не предназначенных для данной цели. Несоблюдение данного предостережения может привести к протечке, перегреву, разрыву или возгоранию батарей.
- Если жидкость из батареи попала в глаза, промойте глаза большим количеством чистой воды и немедленно обратитесь за медицинской помощью. Отсрочка обращения к врачу может привести к травме глаза.



ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ! Батареи

- Держите батареи в недоступном для детей месте. Если ребенок проглотил батарею, немедленно обратитесь за медицинской помощью.
- Не погружайте батареи в воду и не подвергайте воздействию дождя. Несоблюдение данного предостережения может привести к возгоранию или неисправности изделия. Немедленно высушите изделие полотенцем или похожим предметом, если изделие намочило.
- Немедленно прекратите использование изделия, если Вы заметили какие-либо изменения в батареях, как например, изменение цвета или формы. Прекратите зарядку батарей, если их не удалось зарядить в течение указанного времени. Несоблюдение данного предостережения может привести к протечке, перегреву, разрыву или возгоранию батарей.
- Перед утилизацией изолируйте контакты батареи с помощью ленты. Может возникнуть перегрев, разрыв или возгорание, если контакты будут касаться металлических предметов. Выполняйте переработку или утилизацию батарей в соответствии с местным законодательством.
- Если жидкость из батареи попала на кожу или одежду человека, немедленно промойте пораженную область большим количеством чистой воды. Несоблюдение данного предостережения может привести к раздражению кожи.

Уведомления

Примечания для пользователей в Европе

ОСТОРОЖНО!

ПРИ ЗАМЕНЕ БАТАРЕИ БАТАРЕЕЙ НЕПРАВИЛЬНОГО ТИПА СУЩЕСТВУЕТ ОПАСНОСТЬ ВЗРЫВА.

УТИЛИЗАЦИЯ ИСПОЛЬЗОВАННЫХ БАТАРЕЙ ДОЛЖНА ОСУЩЕСТВЛЯТЬСЯ СОГЛАСНО ИНСТРУКЦИЯМ.

Данный символ означает, что электрическое и электронное оборудование должно утилизироваться отдельно.

Следующие замечания касаются только пользователей в европейских странах:

- Данное изделие предназначено для отдельной утилизации в соответствующих пунктах утилизации. Не выбрасывайте изделие вместе с бытовым мусором.
- Раздельные сбор и утилизация помогают сберечь природные ресурсы и предотвращают отрицательные последствия для здоровья людей и окружающей среды, которые могут возникнуть из-за неправильной утилизации.
- Подробные сведения можно получить у продавца или в местной организации, ответственной за вторичную переработку отходов.



Комплектация

Перед использованием изделия проверьте наличие следующих элементов.

- Водонепроницаемый чехол WP-AA1
- Футляр для дополнительной батареи (внутри водонепроницаемого чехла)

Меры предосторожности при использовании

- Помещайте в водонепроницаемый чехол WP-AA1 только поддерживаемые фотокамеры.
- Перед использованием водонепроницаемого чехла убедитесь в правильной работе этого изделия и фотокамеры, а также в отсутствии протечек воды. В маловероятном случае, когда неисправность водонепроницаемого чехла приведет к ущербу из-за погружения в воду (протечка воды), компания Nikon не дает гарантии отсутствия повреждений внутреннего оборудования (фотокамера, батарея, карта памяти и т. д.) и записанного содержимого, а также не гарантирует возмещение издержек, связанных с фотосъемкой. Компания Nikon не несет ответственности за убытки или упущенную выгоду, возникшие в результате неправильной работы изделия.
- Если водонепроницаемый чехол подвергся механическим ударам или водонепроницаемое уплотнение оказалось повреждено, рекомендуется обратиться к продавцу или в сервисный центр компании Nikon, информацию по которым можно найти в руководстве по фотокамере.
- Не прикрепляйте водонепроницаемый чехол WP-AA1 к креплению на руль AA-7, поскольку они несовместимы.

Предотвращение протечки

Вода внутри водонепроницаемого чехла может нанести фотокамере и футляру для дополнительной батареи непоправимый ущерб, а также может привести к возгоранию, поражению электрическим током и воздействию ядовитых газов. Попадания воды в водонепроницаемый чехол можно избежать, соблюдая следующие меры предосторожности.

- Перед использованием водонепроницаемого чехла в воде или рядом с ней выполните проверки на протечки, описанные в этом руководстве.
- Перед закрытием водонепроницаемого чехла внимательно осмотрите водонепроницаемое уплотнение и элементы водонепроницаемого чехла, которые соприкасаются с водонепроницаемым уплотнением, чтобы убедиться в отсутствии на них жидкости, грязи, волос, ворсинок, пыли, песка и других посторонних предметов. Убедитесь, что водонепроницаемое уплотнение не перекручено и установлено правильно.
- Не открывайте водонепроницаемый чехол в местах, подверженных воздействию спреев, сильного ветра, пыли или песка.
- Не роняйте водонепроницаемый чехол, не кладите на него тяжелые предметы и не подвергайте чрезмерным механическим воздействиям. Несоблюдение этой меры предосторожности может вызвать деформацию водонепроницаемого чехла, что приведет к протечке.
- В случае протечки немедленно прекратите использование, высушите фотокамеру и внутреннюю часть водонепроницаемого чехла и передайте фотокамеру и водонепроницаемый чехол в авторизованный сервисный центр компании Nikon.

Предварительная проверка на протечку

Перед помещением фотокамеры в водонепроницаемый чехол закройте водонепроницаемый чехол и погрузите его в воду, чтобы проверить на протечки, как описано ниже.

- Закройте водонепроницаемый чехол и медленно погрузите его в воду, прекратив это действие, если воздух начнет выходить из водонепроницаемого чехла.
- Погрузите водонепроницаемый чехол и задействуйте кнопки под водой в течение 2-3 минут, проверяя, не выходят ли пузырьки воздуха.
- Извлеките водонепроницаемый чехол из воды и тщательно протрите его мягкой сухой тканью, затем откройте водонепроницаемый чехол и убедитесь в отсутствии в нем воды.

Механические воздействия и вибрация

Водонепроницаемый чехол не предназначен для защиты фотокамеры от ударов или вибраций. Не роняйте водонепроницаемый чехол, не ударяйте его о твердые предметы, не бросайте в воду, не прыгайте в воду, держа водонепроницаемый чехол.

Максимальная глубина

Водонепроницаемый чехол является водонепроницаемым на глубине до 40 м. На больших глубинах водонепроницаемый чехол может протечь, треснуть или деформироваться, что приведет к повреждению фотокамеры.

Температура

Не оставляйте водонепроницаемый чехол в местах, подверженных воздействию высоких температур, а также рядом с огнем. Несоблюдение этой меры предосторожности может вызвать ослабление или деформацию водонепроницаемого чехла. Резкие перепады температуры могут вызвать конденсацию влаги внутри водонепроницаемого чехла, что также может привести к повреждению фотокамеры. Чтобы предотвратить конденсацию, выполните следующее.

- При перемещении из одного места в другое, где заметно теплее или холоднее, оставьте фотокамеру в водонепроницаемом чехле, пока его температура не сравняется с температурой окружающей среды.
- Перед погружением в воду не подвергайте водонепроницаемый чехол воздействию высоких температур, оставив его на пляже или под прямыми солнечными лучами.

Химические вещества

- Не приклеивайте наклейки на водонепроницаемый чехол, так как клей может привести к ухудшению его характеристик.
- Не подвергайте водонепроницаемый чехол воздействию следующих химических веществ или их паров. Несоблюдение этой меры предосторожности может привести к повреждению водонепроницаемого чехла.
 - Не используйте химические моющие средства, ингибиторы коррозии, растворители, спирт или другие летучие вещества при очистке водонепроницаемого чехла. Промывайте его только в пресной воде.
 - Не используйте химические средства, предотвращающие запотевание.
 - Не используйте клеи.
 - Соблюдайте осторожность, чтобы на устройство не попали косметические средства, например солнцезащитный крем.

Перевозка воздушным транспортом

По возможности укладывайте водонепроницаемый чехол в ручную кладь при его перевозке воздушным транспортом. При укладке водонепроницаемый чехол в сдаваемый багаж не закрывайте его. Если оставить водонепроницаемый чехол закрытым, изменения воздушного давления могут повредить его или его не удастся открыть.

Большая высота над уровнем моря

При перемещении с большой на малую высоту над уровнем моря периодически открывайте водонепроницаемый чехол для выравнивания давления. Если оставить водонепроницаемый чехол закрытым, изменения воздушного давления могут повредить его или его не удастся открыть.

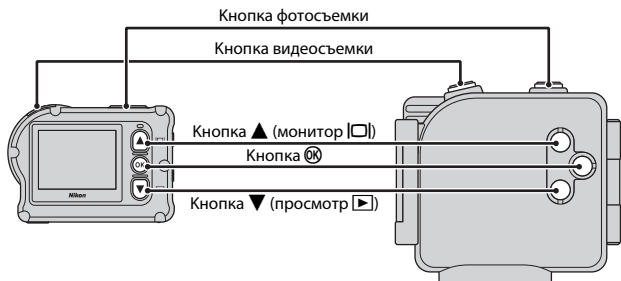
После использования

- После использования как можно быстрее очистите водонепроницаемый чехол. Не открывая водонепроницаемый чехол и не извлекая из него фотокамеру, промойте его в резервуаре с пресной водой. Тщательно протрите внешнюю поверхность водонепроницаемого чехла мягкой сухой тканью.
- Извлеките фотокамеру и протрите внутреннюю часть водонепроницаемого чехла мягкой сухой тканью. Не промывайте внутреннюю часть водонепроницаемого чехла водой.
- Закройте чехол и оставьте его в резервуаре с пресной водой на два-три часа. Несколько раз задействуйте его кнопки для удаления соли. Если соль высохнет на кнопках, они могут перестать работать, а их металлические части могут заржаветь, что приведет к протечке водонепроницаемого чехла.
- Тщательно протрите водонепроницаемый чехол мягкой сухой тканью. Не используйте ткань, к которой прилипла соль. Дайте водонепроницаемому чехлу просохнуть в затененном и хорошо проветриваемом месте. Не используйте фены или другие источники тепла, а также не размещайте чехол под прямыми солнечными лучами. Тепло может привести к ухудшению характеристик водонепроницаемого чехла или водонепроницаемого уплотнения, что приведет к протечке.

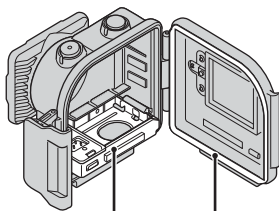
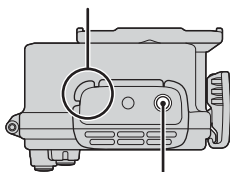
Хранение

- Не закрывайте водонепроницаемый чехол. Если водонепроницаемый чехол не будет использоваться в течение длительного времени, поместите его в чистый пластиковый пакет, чтобы защитить водонепроницаемое уплотнение от пыли.
- Храните водонепроницаемый чехол в прохладном и хорошо проветриваемом месте. Не храните водонепроницаемый чехол под прямыми солнечными лучами или в местах, подверженных внезапным изменениям температуры или воздействию высоких уровней влажности. Не храните водонепроницаемый чехол или водонепроницаемое уплотнение вместе с нафталиновыми или камфарными средствами против моли.

Название деталей



Проушина для шнура,
предотвращающего падение



✓ **Примечания относительно термопрокладки**

Термопрокладка предотвращает повышение температуры. Не нажимайте сильно на термопрокладку и не снимайте черную ленту.



Процедура подготовки фотокамеры

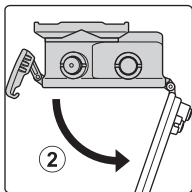
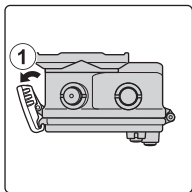
Подготовка фотокамеры

Снимите защитную насадку на объектив с фотокамеры. Вставьте карту памяти и полностью зарядите батарею.

- С помощью мягкой ткани или груши с кисточкой удалите посторонние вещества, например воду или пыль, с фотокамеры. Установка влажной фотокамеры в водонепроницаемый чехол может привести к конденсации.

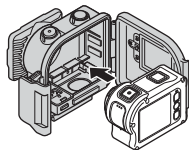
1 Откройте водонепроницаемый чехол.

- Откройте фиксатор (1), затем откройте заднюю крышку (2).



2 Вставьте фотокамеру.

- Вставьте фотокамеру в водонепроницаемый чехол, так чтобы объектив поместился в окошко объектива.

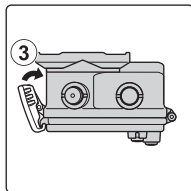
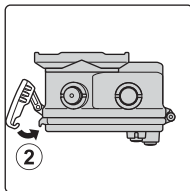
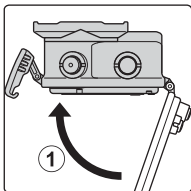


Перед закрытием водонепроницаемого чехла выполните следующие проверки.

- Осторожно закройте водонепроницаемый чехол, чтобы водонепроницаемое уплотнение не вышло наружу.
- Убедитесь, что фиксатор надежно зафиксирован.
- Чтобы предотвратить протечку воды, снова проверьте, что водонепроницаемое уплотнение не выдавлено, а посторонние объекты не зажаты в водонепроницаемом чехле.

3 Закройте водонепроницаемый чехол.

- Совместите заднюю крышку с передней (1), отклоните фиксатор в сторону задней крышки и зацепите захват (2), затем наклоните фиксатор до щелчка и зафиксируйте (3).



Если окно объектива запотело

- Чтобы устранить запотевание, попробуйте извлечь фотокамеру из водонепроницаемого чехла, несколько раз задействовать ее, а затем снова поместить в чехол. При повторном помещении фотокамеры в водонепроницаемый чехол убедитесь, что на нем не осталось капель воды.

Если задняя крышка открывается с трудом

В случаях, описанных ниже, задняя крышка, возможно, будет открываться с трудом из-за разницы давления, вызванного изменением температуры окружающего воздуха.

- Продолжительное хранение водонепроницаемого чехла с закрытой задней крышкой
- Продолжительное хранение водонепроницаемого чехла в условиях высокой температуры
- Перемещение водонепроницаемого чехла в место, резко отличающееся по температуре

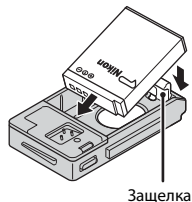
Никогда не закрывайте заднюю крышку полностью при перемещении и хранении водонепроницаемого чехла.

Добавление батареи

Вы можете добавить батарею.

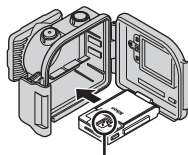
1 Вставьте батарею в футляр для дополнительной батареи.

- Правильно сориентировав положительный и отрицательный контакты, вставьте батарею до надежной фиксации защелки.
- Соблюдайте осторожность, чтобы не намочить или не дотронуться до контакта питания, так как это может привести к неисправности.



2 Поместите футляр для дополнительной батареи в специальный отсек хранения водонепроницаемого чехла.

- Влага на рамке с контактами батареи или прикосновение к ней могут привести к неисправности устройства.
- Чтобы извлечь батарею, потяните защелку наружу и нажмите через отверстие на нижнюю часть футляра для дополнительной батареи.



Запись в условиях высокой температуры

- Если фотокамера используется в условиях высокой температуры, то при ее перегреве возможна остановка записи даже в том случае, когда батарея имеет достаточный заряд.

Технические характеристики

Максимальная глубина погружения в воду	40 м
Рабочая температура фотокамеры	От -10 до +40 °C (для наземного использования), от 0 до 40 °C (для подводного использования)
Размеры (Ш x В x Г)	Прибл. 90,2 x 80,3 x 48,8 мм (без выступающих частей)
Масса	Прибл. 133 г (за исключением батареи и фотокамеры)

Характеристики водонепроницаемости водонепроницаемого чехла WP-AA1 соответствуют классу водонепроницаемости 8 JIS/IEC (IPX8). Подтверждено, что вода не попадет в водонепроницаемый чехол, если он находится под водой на глубине до 40 м в течение не более 30 минут.

- Компания Nikon не несет ответственности за возможные ошибки в настоящем руководстве.
- Внешний вид изделия и его технические характеристики могут быть изменены без предварительного уведомления.

Voor uw veiligheid

Om schade aan eigendommen of letsel aan uzelf of anderen te voorkomen, lees "Voor uw veiligheid" in zijn geheel door alvorens dit product te gebruiken.

Bewaar deze veiligheidsinstructies daar waar iedere gebruiker van dit product ze kan lezen.



GEVAAR

Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregelen, gemarkeerd met dit pictogram, zorgt voor groot gevaar voor de dood of ernstig letsel.



WAARSCHUWING

Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregelen, gemarkeerd met dit pictogram, kan de dood of ernstig letsel tot gevolg hebben.



LET OP

Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregelen, gemarkeerd met dit pictogram, kan letsel of schade aan eigendommen tot gevolg hebben.



WAARSCHUWING

- Dit product niet uit elkaar halen of aanpassen.
Raak geen interne delen aan die worden blootgesteld als gevolg van een val of ander ongeluk. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregelen kan een elektrische schok of ander letsel tot gevolg hebben.
- Mocht u afwijkingen aan het product ontdekken zoals het produceren van rook, hitte of ongebruikelijke geuren, ontkoppel dan onmiddellijk de accu of voedingsbron.
Voortgaand gebruik kan brand, brandwonden of ander letsel veroorzaken.
- Gebruik dit product niet in de aanwezigheid van ontvlambaar stof of gas zoals propaan, benzine of spuitbussen. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan een explosie of brand tot gevolg hebben.
- Houd dit product uit de buurt van kinderen. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan letsel of een defect aan het product tot gevolg hebben. Merk bovendien op dat kleine onderdelen verstikkingsgevaar opleveren. Mocht een kind onderdelen van dit product inslikken, zoek dan onmiddellijk medische hulp.
- Gebruik geen accu's die niet specifiek zijn bedoeld voor gebruik met dit product.
Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan brand of een elektrische schok tot gevolg hebben.
- Pak niet met blote handen vast op plaatsen die worden blootgesteld aan extreem hoge en lage temperaturen. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan brandwonden of bevroeringsverschijnselen tot gevolg hebben.

- Zorg ervoor dat het product goed is vastgezet. Neem daar waar het product wordt gebruikt, de regels en voorschriften van alle mogelijkheden en in alle wedstrijden in acht. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregelen kan ongelukken of ander letsel veroorzaken.
- Draag dit product niet als dit zal storen bij het gebruik van vereiste apparatuur. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan ongelukken of ander letsel veroorzaken.



LET OP

- Verwijder de batterijen/accu's als voor langere tijd geen gebruik wordt gemaakt van dit product. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan brand of een defect aan het product tot gevolg hebben.
- Laat het product niet achter op een plaats waar het voor langere tijd wordt blootgesteld aan extreem hoge temperaturen, zoals in een afgesloten auto of in direct zonlicht. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan brand of een defect aan het product tot gevolg hebben.
- Let op dat uw vingers, handen en huid niet verstrikt raken in de apparatuur. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan ongelukken of ander letsel veroorzaken.
- Plaats het product niet op, of bevestig het niet aan onstabiele oppervlakken. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan ertoe leiden dat het product loskomt of omvalt, wat ongevallen of ander letsel veroorzaakt.



GEVAAR voor batterijen

- Voorkom onjuist gebruik van accu's. Het niet in acht nemen van de volgende voorzorgsmaatregelen kan ervoor zorgen dat de accu's lekken, oververhit raken, scheuren of vlam vatten.
 - Gebruik uitsluitend oplaadbare accu's die zijn goedgekeurd voor gebruik in dit product.
 - Stel accu's niet bloot aan vlammen of extreme hitte.
 - Haal niet uit elkaar.
 - Sluit de aansluitingen niet kort door ze in aanraking te laten komen met kettingen, haarspelden of andere metalen voorwerpen.
 - Stel accu's of de producten waarin ze worden geplaatst, niet bloot aan krachtige fysieke schokken.
- Probeer EN-EL12 oplaadbare accu's niet op te laden met behulp van laders/camera's die niet specifiek bedoeld zijn voor dit doel. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan ervoor zorgen dat de accu's lekken, oververhit raken, scheuren of vlam vatten.
- Als accuvloeistof in aanraking komt met de ogen, spoel dan met veel schoon water en zoek onmiddellijk medische hulp. Het uitstellen van deze handeling kan oogletsel tot gevolg hebben.



WAARSCHUWING voor batterijen

- Houd accu's buiten bereik van kinderen. Mocht een kind een accu inslikken, zoek dan onmiddellijk medische hulp.
- Dompel accu's niet onder in water en stel ze niet bloot aan regen. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan brand of een defect aan het product tot gevolg hebben. Droog het product onmiddellijk met een handdoek of gelijkwaardig voorwerp, mocht deze nat worden.
- Stop het gebruik onmiddellijk indien u veranderingen aan de accu's opmerkt, zoals verkleuring en vervorming. Stop het opladen van een accu als deze niet binnen de opgegeven tijdsduur opgeladen is. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan ervoor zorgen dat de accu's lekken, oververhit raken, scheuren of vlam vatten.
- Isoleer de accupolen met tape alvorens deze weg te gooien. Oververhitting, scheuren of brand kan het gevolg zijn indien metalen voorwerpen in aanraking komen met de aansluiting. Recycle of gooi accu's weg overeenkomstig de lokale voorschriften.
- Als accuvloeistof in aanraking komt met iemand zijn huid of kleding, spoel het getroffen gebied dan onmiddellijk met veel schoon water. Het niet in acht nemen van deze voorzorgsmaatregel kan huidirritatie tot gevolg hebben.

Mededelingen

Mededelingen voor Europese klanten

OPGELET

GEVAAR VOOR ONTPLOFFING ALS DE ACCU WORDT VERVANGEN DOOR EEN VERKEERD TYPE.

GOOI GEBRUIKTE ACCU'S VOLGENS DE INSTRUCTIES WEG.

Dit pictogram geeft aan dat elektrische en elektronische apparaten via gescheiden inzameling moet worden afgevoerd.

Het volgende is alleen van toepassing op gebruikers in Europese landen:

- Dit product moet gescheiden van het overige afval worden ingeleverd bij een daarvoor bestemd inzamelingspunt. Gooi dit product niet weg als huishoudafval.
- Gescheiden inzameling en recycling helpt bij het behoud van natuurlijke bronnen en voorkomt negatieve consequenties voor mens en milieu die kunnen ontstaan door onjuist weggooien van afval.
- Neem voor meer informatie contact op met de leverancier of de gemeentelijke reinigingsdienst.



Inhoud van de verpakking

Voor u dit product gebruikt, dient u na te gaan of de volgende artikelen meegeleverd zijn.

- Waterdichte behuizing WP-AA1
- Houder voor extra accu (in de waterdichte behuizing)

Voorzorgsmaatregelen

- Plaats alleen de compatibele camera in de waterdichte behuizing WP-AA1.
- Voor u de waterdichte behuizing gebruikt, controleert u of dit product en de camera correct werken en of er geen waterlekken zijn. Mocht het voorvallen dat een defect van de waterdichte behuizing leidt tot schade ten gevolge van onderdompeling (binnendringen van water), kan Nikon niet aansprakelijk worden gesteld voor schade aan de interne apparatuur (camera, accu, geheugenkaart, enz.) en de opgenomen inhoud, noch voor kosten aangaande de fotografie. Nikon is niet aansprakelijk voor schade of gederfde inkomsten als gevolg van een defect van het product.
- Als de waterdichte behuizing wordt blootgesteld aan schokken of de waterdichte pakking versleten lijkt, is het aan te raden contact op te nemen met uw verkoper of een door Nikon geautoriseerde servicevertegenwoordiger zoals aangegeven in de handleiding van de camera.
- Bevestig de waterdichte behuizing WP-AA1 niet aan de stuurbevestiging AA-7, want deze zijn niet compatibel met elkaar.

Lekken voorkomen

Als er water binnendringt in de waterdichte behuizing, is het mogelijk dat de camera en de houder voor de extra accu onherstelbaar beschadigd raken en kan dit ook leiden tot brand, elektrische schokken of blootstelling aan giftige gassen. Neem de volgende voorzorgsmaatregelen in acht om te voorkomen dat er water binnendringt in de waterdichte behuizing:

- Voor u de waterdichte behuizing in of in de buurt van water gebruikt, moet u zoals beschreven in deze handleiding controleren of er waterlekken zijn.
- Voor u de waterdichte behuizing sluit, controleert u zorgvuldig de waterdichte pakking en de onderdelen van de waterdichte behuizing die aansluiten op de waterdichte pakking om na te gaan of deze vrij zijn van vloeistoffen, vuil, haar, pluizen, stof, zand en andere vreemde materialen. Zorg ervoor dat de waterdichte pakking niet gedraaid is en de juiste positie inneemt.
- Open de waterdichte behuizing nooit op plaatsen die blootgesteld zijn aan spatwater, krachtige wind, stof of zand.
- Laat de waterdichte behuizing niet vallen, plaats er geen zware voorwerpen op en stel deze niet bloot aan overmatige druk. Als u deze voorzorgsmaatregel niet in acht neemt, kan de waterdichte behuizing vervormd raken, met lekken als gevolg.
- Als er water binnengedrongen is, staakt u onmiddellijk het gebruik, droogt u de camera en de binnenkant van de waterdichte behuizing, en brengt u de camera en de waterdichte behuizing naar een door Nikon geautoriseerde servicevertegenwoordiger.

Voorafgaande lekttest

Voor u de camera in de waterdichte behuizing plaatst, vergrendelt u de waterdichte behuizing en dompelt u deze onder in water om te controleren of er lekken zijn (zie de beschrijving hieronder).

- Vergrendel de waterdichte behuizing en dompel deze vervolgens langzaam onder in water. Stop als u merkt dat er lucht ontsnapt uit de waterdichte behuizing.
- Dompel de waterdichte behuizing onder en druk gedurende 2 tot 3 minuten onder water op de knoppen terwijl u controleert of er bellen verschijnen.
- Neem de waterdichte behuizing uit het water, droog deze grondig af met een zachte, droge doek en open de waterdichte behuizing om te controleren of er water binnengedrongen is.

Schokken en vibratie

De waterdichte behuizing beschermt de camera niet tegen schokken of vibratie. Laat de waterdichte behuizing niet vallen, sla niet met de behuizing tegen harde voorwerpen, werp de behuizing niet in water en spring niet in water terwijl u de waterdichte behuizing vasthoudt.

Maximale diepte

De waterdichte behuizing is waterdicht tot op een diepte van 40 m. Dieper kan de waterdichte behuizing gaan lekken, barsten of vervormd raken, met schade aan de camera als gevolg.

Temperatuur

Laat de waterdichte behuizing nooit liggen op plaatsen die blootgesteld zijn aan hoge temperaturen of in de buurt van vuur. Als u deze voorzorgsmaatregel niet in acht neemt, kan de waterdichte behuizing verzwakt of vervormd raken. Bij plotse temperatuurschommelingen kan er condens gevormd worden in de waterdichte behuizing. Ook hierdoor kan de camera beschadigd raken. U kunt condensatie als volgt voorkomen:

- Wanneer u naar een andere plaats bent gegaan waar het merkbaar warmer of kouder is, laat u de camera in de waterdichte behuizing tot deze dezelfde temperatuur als de omgeving heeft.
- Stel de waterdichte behuizing niet bloot aan hoge temperaturen door deze te laten liggen op het strand of in direct zonlicht voor u zich in het water begeeft.

Chemicaliën

- Kleef geen stickers op de waterdichte behuizing. De kleefstof kan de behuizing beschadigen.
- Stel de waterdichte behuizing niet bloot aan de volgende chemicaliën of dampen ervan. Als u deze voorzorgsmaatregel niet in acht neemt, kan dat leiden tot schade aan de waterdichte behuizing.
 - Gebruik geen chemische detergents, roestremmers, verfverdunder, alcohol of andere vluchtige chemicaliën om de waterdichte behuizing schoon te maken. Spoel deze alleen af met zoet water.
 - Gebruik geen chemicaliën die aandamping voorkomen.
 - Gebruik geen kleefstoffen.
 - Breng geen cosmetica zoals zonnecrème aan.

Reizen met het vliegtuig

Bewaar de waterdichte behuizing indien mogelijk in uw handbagage als u met het vliegtuig reist. Wanneer u de waterdichte behuizing toch in uw in te checken bagage wilt bewaren, laat de behuizing dan open. Als u de waterdichte behuizing sluit, is het mogelijk dat de behuizing door schommelingen van de luchtdruk beschadigd raakt of dat u deze niet meer kunt openen.

Grote hoogtes

Wanneer u van een grote naar een geringe hoogte reist, moet u de waterdichte behuizing regelmatig openen om de druk gelijk te maken. Als u de waterdichte behuizing gesloten houdt, is het mogelijk dat de behuizing door schommelingen van de luchtdruk beschadigd raakt of dat u deze niet meer kunt openen.

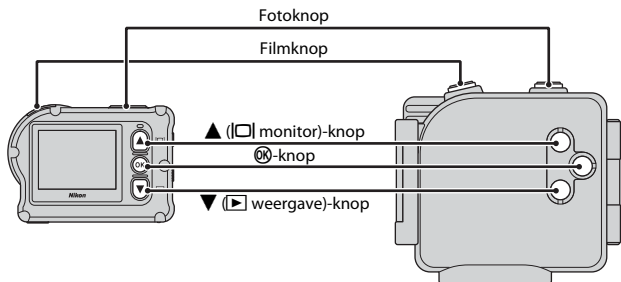
Na gebruik

- Maak de waterdichte behuizing na het gebruik zo snel mogelijk schoon. Spoel de waterdichte behuizing in een emmer zoet water zonder de behuizing te openen of de camera eruit te halen. Droog de buitenkant van de waterdichte behuizing goed af met een zachte, droge doek.
- Verwijder de camera en droog de binnenkant van de waterdichte behuizing met een zachte, droge doek. Was de binnenkant van de waterdichte behuizing niet met water.
- Sluit de behuizing opnieuw en laat deze gedurende twee tot drie uur in een emmer zoet water liggen. Druk een paar keer op alle knoppen om achterblijvend zout te verwijderen. Als u zout laat opdrogen op de knoppen, is het mogelijk dat deze niet langer werken of dat de metalen onderdelen ervan roesten, waardoor er water kan binnendringen in de waterdichte behuizing.
- Droog de waterdichte behuizing goed af met een zachte, droge doek. Gebruik hiervoor geen doek waar er zout aan kleeft. Laat de waterdichte behuizing buiten drogen op een goed verluchte plaats in de schaduw. Gebruik hiervoor geen haardroger of een andere warmtebron. Warmte kan ervoor zorgen dat de waterdichte behuizing of waterdichte pakking gaat verslijten, met lekken als gevolg.

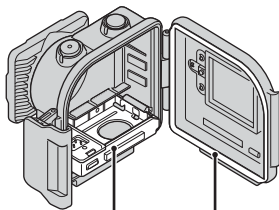
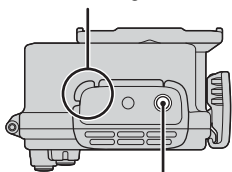
Opslag

- Laat de waterdichte behuizing open. Wanneer u de waterdichte behuizing langdurig niet zult gebruiken, plaatst u hem in een schone plastic zak om de waterdichte pakking te beschermen tegen stof.
- Bewaar de waterdichte behuizing op een koele, goed verluchte plaats. Bewaar de waterdichte behuizing niet op een plaats waar deze wordt blootgesteld aan direct zonlicht, plotse temperatuurschommelingen of een hoge vochtigheidsgraad. Bewaar de waterdichte behuizing of waterdichte pakking niet samen met naftaleen- of kamfermottenballen.

Naam van onderdelen

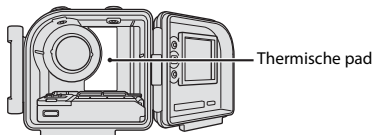


Oogje voor
valbeschermingskoord



✓ **Opmerkingen over de thermische pad**

De thermische pad voorkomt dat de temperatuur stijgt. Druk niet hard op de thermische pad en trek de zwarte kleeftband niet af.



De camera voorbereiden

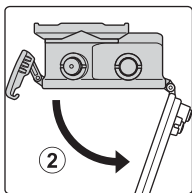
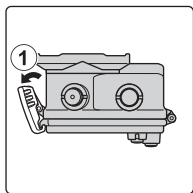
De camera voorbereiden

Verwijder de lensbescherming van de camera. Plaats een geheugenkaart en een volledig opgeladen accu.

- Gebruik een zachte doek of luchtspray om vreemde stoffen zoals water of stof van de camera te verwijderen. Als de camera nog nat is wanneer hij in de waterdichte behuizing wordt geplaatst, dan kan dit condensatie veroorzaken.

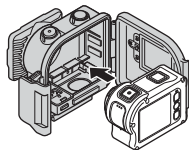
1 Open de waterdichte behuizing.

- Open de sluiting (1) en vervolgens het achterdeksel (2).



2 Plaats de camera in de behuizing.

- Plaats de camera in de waterdichte behuizing met het objectief in het objectiefvenster.

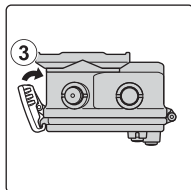
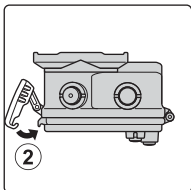
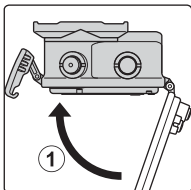


Voer de volgende controlehandelingen uit voor u de waterdichte behuizing sluit.

- Sluit de waterdichte behuizing voorzichtig zodat de waterdichte pakking niet loskomt.
- Zorg ervoor dat de sluiting volledig gesloten is.
- Om waterlekken te voorkomen, controleert u nogmaals of de waterdichte pakking niet naar buiten gedrukt wordt en of er geen vreemde materialen tussen de waterdichte behuizing geklemd zitten.

3 Sluit de waterdichte behuizing.

- Lijn het achterdeksel uit met het voordeksel (1), kantel de sluiting naar het achterdeksel en bevestig de haak (2). Kantel vervolgens de sluiting tot deze op zijn plaats klikt en vergrendel deze (3).



Als het objectiefvenster beslaat

- Probeer, om de condens te verwijderen, de camera uit de waterdichte behuizing te halen en hem een tijdje te gebruiken voordat u hem weer terugplaatst. Controleer goed of er zich geen water meer in de waterdichte behuizing bevindt als u de camera terugplaatst.

Als het achterdeksel niet gemakkelijk kan worden geopend

In de hierna beschreven omstandigheden is het moeilijk om het achterdeksel te openen wegens een verschil in luchtdruk ten gevolge van een verandering van de omgevingstemperatuur.

- Wanneer u de waterdichte behuizing gedurende lange tijd opbergt met het achterdeksel gesloten
- Wanneer u de waterdichte behuizing gedurende lange tijd bij hoge temperatuur opbergt
- Wanneer u de waterdichte behuizing naar een plaats met een groot temperatuurverschil brengt

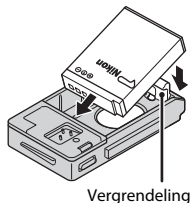
Zorg ervoor dat het achterdeksel niet volledig gesloten is wanneer u de waterdichte behuizing verplaatst of opbergt.

Een accu toevoegen

U kunt een accu toevoegen.

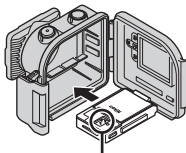
1 Steek de accu in de houder voor de extra accu.

- Plaats de accu met de positieve en negatieve pool in de juiste richting in de houder totdat hij door de vergrendeling goed op zijn plaats wordt gehouden.
- Zorg ervoor dat u de voedingsaansluiting niet natmaakt of aanraakt. Dit kan immers storingen veroorzaken.



2 Plaats de extra accu in het opslagcompartiment voor de houder voor de extra accu in de waterdichte behuizing.

- Als u het frame van de contactpunten van de accu natmaakt of aanraakt, kan dit storingen veroorzaken.
- Om de accu te verwijderen, trekt u de vergrendeling naar buiten en duwt u door de opening aan de onderkant van de extra accuhouder.



Frame van de contactpunten van de accu

Opnemen bij hoge temperaturen

- Het opnemen kan stoppen als de camera warm wordt als hij bij hoge temperaturen wordt gebruikt, zelfs als de accu voldoende is opgeladen.

Technische gegevens

Maximale waterdiepte	40 m
Bedrijfstemperatuur camera	-10 °C – +40 °C (voor gebruik op het land), 0 °C – 40 °C (voor gebruik onder water)
Afmetingen (B x H x D)	Circa 90,2 x 80,3 x 48,8 mm (exclusief stekkeradapter)
Gewicht	Circa 133 g (exclusief accu en camera)

De waterdichtheid van de waterdichte behuizing WP-AA1 komt overeen met JIS/IEC-waterdichtheidsklasse 8 (IPX8). Het is bevestigd dat water niet in de waterdichte behuizing binnendringt als deze gedurende 30 minuten onder water wordt gehouden op een diepte van 40 m.

- Nikon kan niet aansprakelijk worden gesteld voor eventuele fouten in deze handleiding.
- De vormgeving en technische gegevens van dit product kunnen zonder voorafgaande kennisgeving gewijzigd worden.

Informazioni di sicurezza

Per evitare danni alla proprietà o lesioni a se stessi o ad altri, leggere interamente la sezione "Informazioni di sicurezza" prima di utilizzare il prodotto.

Conservare queste istruzioni di sicurezza dove possano essere lette da chiunque utilizzi il prodotto.



PERICOLO

La mancata osservanza delle precauzioni contrassegnate con questa icona comporta un alto rischio di morte o gravi lesioni.



AVVERTENZA

La mancata osservanza delle precauzioni contrassegnate con questa icona potrebbe provocare morte o gravi lesioni.



ATTENZIONE

La mancata osservanza delle precauzioni contrassegnate con questa icona potrebbe provocare lesioni o danni alla proprietà.



AVVERTENZA

- Non smontare né modificare il prodotto.
Non toccare le parti interne che diventano esposte come risultato di caduta o altro incidente. La mancata osservanza di queste precauzioni potrebbe provocare scosse elettriche o altre lesioni.
- Se si dovessero notare anomalie, per esempio la produzione di fumo, calore o odori insoliti da parte del prodotto, scollegare immediatamente la batteria ricaricabile o la fonte di alimentazione. Continuare a utilizzarlo potrebbe provocare incendi, ustioni o altre lesioni.
- Non utilizzare questo prodotto in presenza di polveri o gas infiammabili, quali propano, benzina o aerosol. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare esplosioni o incendi.
- Mantenere il prodotto fuori dalla portata dei bambini. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare lesioni o malfunzionamenti del prodotto. Inoltre, si noti che i piccoli componenti costituiscono un rischio di soffocamento. Se un bambino ingerisce un componente del prodotto, rivolgersi immediatamente a un medico.
- Non utilizzare batterie ricaricabili non specificamente progettate per l'uso con questo prodotto.
La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare incendi o scosse elettriche.
- Non maneggiare a mani nude in luoghi esposti a temperature estremamente alte o basse. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare ustioni o congelamento.

- Assicurarsi che il prodotto sia stato adeguatamente fissato. Osservare le norme e i regolamenti di tutte le strutture e di tutte le competizioni in cui il prodotto deve essere utilizzato. La mancata osservanza di queste precauzioni potrebbe causare incidenti o altre lesioni.
- Non indossare questo prodotto se questo interferirà con l'uso di attrezzature necessarie. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare incidenti o altre lesioni.



ATTENZIONE

- Rimuovere le batterie/batterie ricaricabili se il prodotto non verrà usato per un periodo prolungato. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare incendi o malfunzionamenti del prodotto.
- Non lasciare il prodotto dove sarà esposto a temperature estremamente alte per un periodo prolungato, per esempio in un'automobile chiusa o sotto la luce diretta del sole. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare incendi o malfunzionamenti del prodotto.
- Fare attenzione affinché le dita, le mani e la pelle non restino intrappolati nell'apparecchiatura. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare incidenti o altre lesioni.
- Non posizionare il prodotto su superfici instabili né collegarlo alle stesse. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe far sì che il prodotto si stacchi o cada, causando incidenti o altre lesioni.



Nota di PERICOLO relativa alle batterie

- Non maneggiare in modo scorretto le batterie ricaricabili. La mancata osservanza delle seguenti precauzioni potrebbe provocare perdite, surriscaldamento, rotture o incendi delle batterie ricaricabili:
 - Utilizzare solo batterie ricaricabili approvate per l'uso in questo prodotto.
 - Non esporre le batterie ricaricabili a fiamme o calore eccessivo.
 - Non smontare.
 - Non cortocircuitare i terminali mettendoli a contatto con collane, forcine per capelli o altri oggetti metallici.
 - Non esporre le batterie ricaricabili o i prodotti nei quali sono inserite a forti shock fisici.
- Non tentare di ricaricare batterie ricaricabili EN-EL12 utilizzando caricatori/fotocamere non specificamente progettati per questo scopo. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare perdite, surriscaldamento, rotture o incendi delle batterie ricaricabili.
- Se il liquido della batteria ricaricabile viene a contatto con gli occhi, sciacquare con abbondante acqua pulita e rivolgersi immediatamente a un medico. Ritardare l'azione potrebbe provocare lesioni oculari.



AVVISO relativo alle batterie

- Mantenere le batterie ricaricabili fuori dalla portata dei bambini. Se un bambino dovesse ingerire una batteria ricaricabile, rivolgersi immediatamente a un medico.
- Non immergere le batterie ricaricabili nell'acqua né esporle alla pioggia. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare incendi o malfunzionamenti del prodotto. Asciugare il prodotto immediatamente con un asciugamano o simili se dovesse bagnarsi.
- Interrompere immediatamente l'uso se si dovessero notare cambiamenti nelle batterie ricaricabili, quali scolorimento o deformazione. Se le batterie non si ricaricano nei tempi specificati, interrompere il processo di ricarica. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare perdite, surriscaldamento, rotture o incendi delle batterie ricaricabili.
- Prima dello smaltimento, isolare i terminali della batteria ricaricabile con nastro isolante. Surriscaldamento, rottura o incendi potrebbero essere provocati dal contatto di oggetti di metallo con i terminali.
Riciclare o smaltire le batterie ricaricabili in base alle normative locali.
- Se il liquido della batteria ricaricabile viene a contatto con la pelle o gli abiti di una persona, sciacquare immediatamente l'area interessata con abbondante acqua pulita. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare irritazione della pelle.

Avvisi

Avvisi per gli utenti europei

AVVERTENZE

RISCHIO DI ESPLOSIONE IN CASO DI SOSTITUZIONE DELLA BATTERIA CON UN MODELLO DI TIPO NON CORRETTO.

PER LO SMALTIMENTO DELLE BATTERIE USATE ATTENERSI ALLE ISTRUZIONI.

Questo simbolo indica che gli apparecchi elettrici ed elettronici devono essere smaltiti negli appositi contenitori di rifiuti.

Le seguenti istruzioni sono rivolte esclusivamente agli utenti di paesi europei:

- Il presente prodotto deve essere smaltito nell'apposito contenitore di rifiuti.
Non smaltire insieme ai rifiuti domestici.
- La raccolta differenziata e il riciclaggio aiutano a preservare le risorse naturali e a prevenire le conseguenze negative per la salute umana e per l'ambiente che potrebbero essere provocate dallo smaltimento scorretto.
- Per ulteriori informazioni, vi preghiamo di contattare le autorità locali responsabili dello smaltimento dei rifiuti.



Contenuto della confezione

Prima di utilizzare il prodotto, controllare che la confezione contenga tutti gli articoli sotto elencati.

- Custodia subacquea WP-AA1
- Custodia per batteria aggiuntiva (all'interno della custodia subacquea)

Precauzioni per l'uso

- La custodia subacquea WP-AA1 deve essere utilizzata esclusivamente per riporre una fotocamera compatibile. Non inserirvi altri oggetti.
- Prima di utilizzare la custodia subacquea, assicurarsi che il prodotto e la fotocamera funzionino correttamente e che non vi siano infiltrazioni d'acqua. Nell'improbabile eventualità di un malfunzionamento della custodia subacquea in seguito all'immersione (infiltrazioni d'acqua), gli eventuali danni alle apparecchiature contenute (fotocamera, batteria ricaricabile, card di memoria, ecc.) e ai contenuti registrati non sono coperti da garanzia. Nikon inoltre declina ogni responsabilità per eventuali spese sostenute in relazione all'attività fotografica. Nikon declina ogni responsabilità per eventuali danni o perdite di profitto derivanti dal malfunzionamento del prodotto.
- Se la custodia subacquea è stata sottoposta a urti o la guarnizione di tenuta sembra deteriorata, si raccomanda di rivolgersi al proprio rivenditore o al centro assistenza autorizzato Nikon indicato nel manuale della fotocamera.
- Non montare la custodia subacquea WP-AA1 sul supporto per manubrio AA-7, poiché non sono compatibili.

Prevenzione delle infiltrazioni

La presenza di acqua all'interno della custodia subacquea potrebbe causare danni irreparabili alla fotocamera e alla custodia per batteria aggiuntiva, nonché provocare incendi, scosse elettriche o esposizione a gas velenosi. L'ingresso di acqua nella custodia subacquea può essere evitato osservando le seguenti precauzioni:

- Prima di utilizzare la custodia subacquea, eseguire una prova di tenuta in acqua o vicino all'acqua come descritto nel presente manuale, assicurandosi che non si verifichino infiltrazioni.
- Prima di sigillare la custodia subacquea, esaminare accuratamente la guarnizione di tenuta e le parti della custodia subacquea a contatto con la guarnizione di tenuta, assicurandosi che non vi siano liquidi, sporcizia, capelli, pelucchi, polvere, sabbia e altre particelle estranee. Assicurarsi che la guarnizione di tenuta non sia piegata o fuori posto.
- Non aprire la custodia subacquea in aree esposte a spruzzi, vento forte, polvere o sabbia.
- Evitare di far cadere la custodia subacquea, non collocarla sotto oggetti pesanti e non esercitare una forza eccessiva su di essa. L'inosservanza di questa precauzione può provocare deformazioni nella custodia subacquea, con conseguente rischio di infiltrazioni.
- In caso di infiltrazioni, sospendere immediatamente l'uso, asciugare la fotocamera e l'interno della custodia subacquea, quindi fare controllare la fotocamera e la custodia presso un centro assistenza autorizzato Nikon.

Prova di tenuta preliminare

Prima di inserire la fotocamera nella custodia subacquea, chiudere la custodia e immergerla in acqua per assicurarsi che non si verifichino infiltrazioni, attenendosi alla procedura sotto descritta.

- Chiudere la custodia subacquea e immergerla lentamente in acqua, fermandosi qualora si noti la fuoriuscita di aria dall'interno della custodia.
- Immergere la custodia subacquea e azionare i pulsanti sott'acqua per 2-3 minuti, controllando che non escano bolle d'aria.
- Estrarre la custodia subacquea dall'acqua e asciugarla accuratamente con un panno morbido e asciutto, quindi aprire la custodia subacquea e controllare che non vi sia acqua all'interno.

Urti e vibrazioni

La custodia subacquea non è progettata per proteggere la fotocamera da urti o vibrazioni. Evitare di far cadere la custodia subacquea, di farla urtare contro oggetti duri e di gettarla in acqua; non tuffarsi in acqua impugnando la custodia subacquea.

Profondità massima

La custodia subacquea è impermeabile fino a 40 m. A profondità superiori, la custodia subacquea potrebbe essere soggetta a infiltrazioni, rotture o deformazioni, con conseguenti rischi per la fotocamera.

Temperatura

Non lasciare la custodia subacquea in aree soggette a forti innalzamenti di temperatura o vicino al fuoco. In caso di mancata osservanza di questa precauzione, la custodia subacquea potrebbe indebolirsi o deformarsi. Gli sbalzi di temperatura possono provocare la formazione di condensa all'interno della custodia subacquea, anch'essa in grado di danneggiare la fotocamera. Per prevenire la formazione di condensa:

- Durante gli spostamenti tra ambienti con temperature notevolmente diverse, lasciare la fotocamera all'interno della custodia subacquea finché non avrà raggiunto la temperatura dell'ambiente circostante.
- Non esporre la custodia subacquea a temperature elevate prima di entrare in acqua, ad esempio lasciandola in spiaggia o esposta alla luce solare diretta.

Prodotti chimici

- Non applicare etichette adesive sulla custodia subacquea: il collante può provocarne il rapido deterioramento.
- Evitare di esporre la custodia subacquea ai prodotti chimici sottoelencati o ai vapori da essi generati. La mancata osservanza di questa precauzione potrebbe provocare danni alla custodia subacquea.
 - Per la pulizia della custodia subacquea, non utilizzare detergenti chimici, prodotti antiruggine, solventi, alcool o altre sostanze chimiche volatili. Lavare esclusivamente in acqua dolce.
 - Non utilizzare anti-appannanti chimici.
 - Non utilizzare adesivi.
 - Prestare attenzione a non applicare prodotti cosmetici come creme solari.

Viaggi in aereo

Se possibile, durante i viaggi in aereo riporre la custodia subacquea nel bagaglio a mano. Se si deve spedire la custodia subacquea con il bagaglio da stiva, lasciarla aperta. Se la custodia subacquea rimane sigillata, i cambiamenti di pressione potrebbero danneggiarla o impedirne l'apertura.

Quote elevate

Nel corso di viaggi con discese da altitudini elevate, aprire di tanto in tanto la custodia subacquea, in modo da uniformare la pressione. Se la custodia subacquea rimane sigillata, i cambiamenti di pressione potrebbero danneggiarla o impedirne l'apertura.

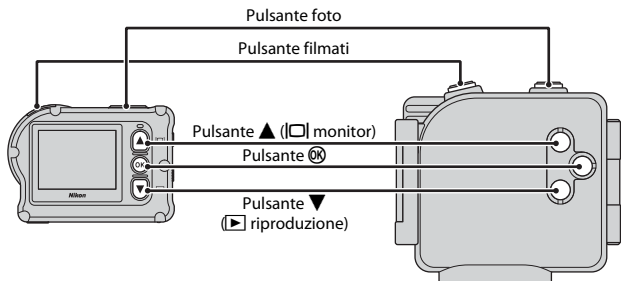
Dopo l'uso

- Dopo l'uso, pulire la custodia subacquea non appena possibile. Lavare la custodia subacquea in una bacinella d'acqua dolce senza aprire la custodia o rimuovere la fotocamera. Asciugare con cura l'esterno della custodia subacquea usando un panno morbido e asciutto.
- Estrarre la fotocamera e strofinare l'interno della custodia subacquea con un panno morbido e asciutto. Non lavare l'interno della custodia subacquea con acqua.
- Sigillare nuovamente la custodia subacquea e lasciarla in una bacinella d'acqua dolce per due o tre ore. Azionare un po' di volte i vari pulsanti in modo da rimuovere la salsedine. Se lasciato asciugare sui pulsanti, il sale può incepparli e determinare la formazione di ruggine nei componenti in metallo, con conseguenti infiltrazioni nella custodia subacquea.
- Asciugare accuratamente la custodia subacquea con un panno morbido e asciutto. Non utilizzare un panno con residui di sale. Completare l'asciugatura lasciando la custodia subacquea all'ombra, in un ambiente ben arieggiato. Non utilizzare un asciugacapelli o altra fonte di calore e non lasciare la custodia alla luce solare diretta. Il calore potrebbe danneggiare la custodia subacquea o la guarnizione di tenuta, provocando infiltrazioni.

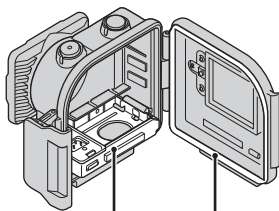
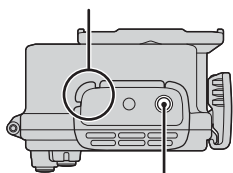
Conservazione

- Lasciare aperta la custodia subacquea. Se la custodia subacquea non verrà utilizzata per periodi prolungati, riporla in una busta di plastica pulita per proteggere la guarnizione di tenuta dalla polvere.
- Riporre la custodia subacquea in un ambiente fresco e ben arieggiato. Non riporre la custodia subacquea in luoghi esposti alla luce solare diretta o soggetti a improvvisi sbalzi di temperatura o a umidità elevata. Non conservare la custodia subacquea o la guarnizione di tenuta insieme a prodotti antitarma o canfora.

Denominazione delle parti



Foro per cordino anticaduta



✓ Note sull'imbottitura termica

L'imbottitura termica impedisce l'innalzamento della temperatura. Non esercitare una pressione eccessiva sull'imbottitura termica e non staccare il nastro nero.



Preparazione della fotocamera

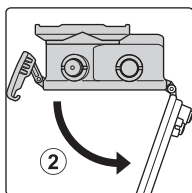
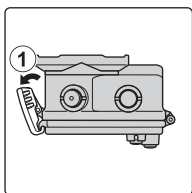
Preparare la fotocamera

Rimuovere la protezione per obiettivo dalla fotocamera. Inserire una card di memoria e una batteria completamente carica.

- Utilizzare un panno morbido o uno spray antipolvere ad aria compressa per rimuovere eventuali sostanze estranee come acqua o polvere dalla fotocamera. Se la fotocamera è ancora bagnata quando viene inserita nella custodia subacquea, ciò potrebbe provocare la formazione di condensa.

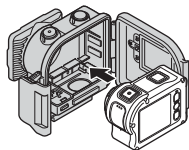
1 Aprire la custodia subacquea.

- Aprire l'elemento di chiusura (①), quindi aprire la calotta posteriore (②).



2 Inserire la fotocamera.

- Inserire la fotocamera nella custodia subacquea in modo che l'obiettivo entri nell'apposito oblò.

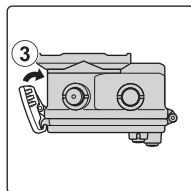
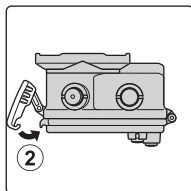
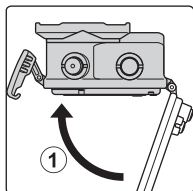


Prima di chiudere la custodia subacquea, effettuare i seguenti controlli.

- Chiudere delicatamente la custodia subacquea in modo che la guarnizione di tenuta non si stacchi.
- Controllare che l'elemento di chiusura sia ben chiuso.
- Onde evitare infiltrazioni d'acqua, controllare che la guarnizione di tenuta non sia schiacciata e che non siano rimasti corpi estranei all'interno della custodia subacquea.

3 Chiudere la custodia subacquea.

- Fare combaciare la calotta posteriore con la calotta anteriore (1), inclinare l'elemento di chiusura verso il lato della calotta posteriore e agganciare il dentino (2), quindi inclinare l'elemento di chiusura finché non scatterà in posizione e chiudere (3).



In caso di formazione di condensa sull'oblò per l'obiettivo

- Per eliminare la condensa, provare a estrarre la fotocamera dalla custodia subacquea e a utilizzarla per un po' prima di reinserirla. Quando si reinserisce la fotocamera, assicurarsi che non sia rimasta dell'acqua all'interno della custodia subacquea.

Se l'apertura della calotta posteriore risulta difficoltosa

Nei casi descritti di seguito, l'apertura della calotta posteriore potrebbe risultare difficoltosa a causa della differenza di pressione dell'aria determinata da una variazione della temperatura circostante.

- Prima di riporre la custodia subacquea per periodi prolungati con la calotta posteriore chiusa
- Prima di riporre la custodia subacquea per periodi prolungati in ambienti con temperature elevate
- Prima di portare la custodia subacquea in un ambiente con temperatura molto diversa

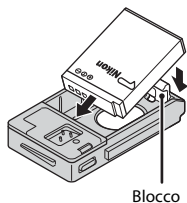
Prima di spostare o riporre la custodia subacquea, assicurarsi che la calotta posteriore non sia completamente chiusa.

Aggiunta di una batteria ricaricabile

È possibile aggiungere una batteria ricaricabile.

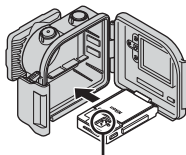
1 Inserire la batteria nella custodia per batteria aggiuntiva.

- Dopo aver verificato che i poli positivo e negativo della batteria ricaricabile siano orientati correttamente, inserire la batteria finché il blocco non la bloccherà in posizione.
- Prestare attenzione a non toccare o bagnare il terminale di alimentazione, poiché ciò potrebbe causare anomalie di funzionamento.



2 Inserire la batteria aggiuntiva nell'alloggiamento della custodia per batteria aggiuntiva, all'interno della custodia subacquea.

- Se il telaio di collegamento della batteria viene toccato o si bagna, si potrebbero verificare anomalie di funzionamento.
- Per rimuovere la batteria ricaricabile, tirare il blocco verso l'esterno e spingerla verso l'alto attraverso l'apertura sul fondo della custodia per batteria ricaricabile aggiuntiva.



Registrazione in condizioni di alta temperatura

- La registrazione potrebbe interrompersi se la fotocamera si surriscalda in seguito all'utilizzo in condizioni di alta temperatura, anche se la batteria ricaricabile è sufficientemente carica.

Caratteristiche tecniche

Profondità subacquea massima	40 m
Temperatura di funzionamento della fotocamera	Da -10 °C a +40 °C (uso sulla terraferma), da 0 °C a 40 °C (uso subacqueo)
Dimensioni (L x H x P)	Ca. 90,2 x 80,3 x 48,8 mm (escluse sporgenze)
Peso	Ca. 133 g (escluse batteria ricaricabile e fotocamera)

Le prestazioni di impermeabilità della Custodia subacquea WP-AA1 sono conformi alla norma JIS/IEC, classe di impermeabilità 8 (IPX8). L'impermeabilità della custodia subacquea è garantita per immersioni a profondità massima di 40 m di durata massima di 30 minuti.

- Nikon declina ogni responsabilità per eventuali errori contenuti nel presente manuale.
- L'aspetto e le caratteristiche tecniche del prodotto sono soggetti a modifica senza preavviso.

안전상의 주의

제품이 손상되거나 사용자나 타인이 상해를 입지 않도록 제품을 사용하기 전에 "안전상의 주의"에 나와 있는 모든 내용을 읽으십시오.

안전 지침은 모든 사용자가 읽을 수 있는 곳에 보관하십시오.



위험

이 아이콘이 표시된 주의사항을 지키지 않을 경우 사망이나 심각한 상해를 입을 위험이 큼니다.



경고

이 아이콘이 표시된 주의사항을 지키지 않을 경우 사망이나 심각한 상해를 입을 수 있습니다.



주의

이 아이콘이 표시된 주의사항을 지키지 않을 경우 상해를 입거나 제품이 손상될 수 있습니다.



경고

- 이 제품을 분해하거나 개조하지 마십시오. 떨어뜨리거나 다른 사고로 인해 노출된 내부를 만지지 마십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 감전이나 다른 상해를 입을 수 있습니다.
- 제품에서 연기가 나거나 제품이 뜨겁거나 이상한 냄새가 나는 등 이상 징후가 발견되면 배터리 또는 전원을 즉시 분리하십시오. 계속 사용할 경우 화재가 발생하거나 화상 또는 다른 상해를 입을 수 있습니다.
- 프로판, 가솔린, 에어로졸과 같은 가연성 가스 또는 분진이 있을 경우에는 제품을 사용하지 마십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 폭발이나 화재가 발생할 수 있습니다.
- 어린이의 손이 닿지 않는 곳에 두십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 상해를 입거나 제품이 고장 날 수 있습니다. 또한 작은 부품을 잘못 삼키면 질식될 위험이 있습니다. 어린이가 부품을 삼켰을 경우 즉시 응급 처치를 해야 합니다.
- 이 제품 전용이 아닌 배터리를 사용하지 마십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 화재가 발생하거나 감전될 수 있습니다.
- 극고온이나 극저온 장소에서는 맨손으로 만지지 마십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 화상이나 동상을 입을 수 있습니다.

- 제품이 제대로 고정되어 있는지 확인하십시오. 제품이 사용될 모든 시설 및 대회에 적용되는 규정을 준수하십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 사고가 나거나 다른 상해를 입을 수 있습니다.
- 필요한 장비를 사용하는데 방해될 경우 제품을 착용하지 마십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 사고가 나거나 다른 상해를 입을 수 있습니다.

주의

- 장시간 제품을 사용하지 않을 경우 배터리를 제거하십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 화재가 발생하거나 제품이 고장 날 수 있습니다.
- 밀폐된 자동차나 직사광선이 비치는 곳과 같이 온도가 매우 높은 장소에 장시간 제품을 노출하지 마십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 화재가 발생하거나 제품이 고장 날 수 있습니다.
- 손가락, 손, 피부가 장비에 끼지 않도록 주의하십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 사고가 나거나 다른 상해를 입을 수 있습니다.
- 불안정한 표면에 제품을 두거나 부착하지 마십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 제품이 헐거워지거나 벗겨져 사고가 나거나 다른 상해를 입을 수 있습니다.

배터리에 대한 위험

발열, 화재, 폭발 등의 위험을 수반할 수 있으니 다음 사항을 지켜주시기 바랍니다.

- 육안으로 식별이 가능할 정도의 부풀음이 발생된 전지는 위험할 수 있으므로 제조자 또는 판매자로 즉시 문의할 것
 - 지정된 정품 충전기만을 사용할 것
 - 화기에 가까이 하지 말 것 (전자레인지에 넣지 말 것)
 - 여름철 자동차 내부에 방치하지 말 것
 - 찜질방 등 고온 다습한 곳에서 보관, 사용하지 말 것
 - 전지 단자에 목걸이, 동전, 열쇠, 시계 등 금속 제품이 닿지 않도록 주의할 것
 - 휴대 기기, 제조업체가 보증한 리튬 2차전지 사용할 것
 - 분해, 압착, 관통 등의 행위를 하지 말 것
 - 높은 곳에서 떨어뜨리는 등 비정상적 충격을 주지 말 것
 - 60°C 이상의 고온에 노출하지 말 것
 - 습기에 접촉되지 않도록 할 것
- 배터리액이 눈에 들어갔을 경우 깨끗한 물로 충분히 씻어내고 응급처치를 하십시오. 즉시 조치를 취하지 않으면 눈이 손상될 수 있습니다.



배터리에 대한 경고

- 배터리를 어린이의 손이 닿지 않는 곳에 두십시오. 어린이가 배터리를 삼켰을 경우, 즉시 응급조치를 취하십시오.
- 배터리가 물이나 빗물에 젖지 않도록 하십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 화재가 발생하거나 제품이 고장 날 수 있습니다. 제품이 물에 젖었을 경우 수건 등으로 제품을 즉시 건조시키십시오.
- 변색이나 변형과 같이 배터리에 변화가 나타날 경우 즉시 사용을 중지하십시오. 지정된 시간에 충전되지 않으면 배터리 충전을 중단하십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 배터리가 누액되거나 과열되거나 파손되거나 화재가 발생할 수 있습니다.
- 배터리를 폐기처분하기 전에 테이프로 배터리 단자를 절연 처리하십시오. 금속 물체가 단자에 닿으면 과도한 열이 발생하거나 파손되거나 화재가 발생할 수 있습니다.
지역 규정에 따라 배터리를 재활용하거나 폐기처분하십시오.
- 배터리액이 피부나 옷에 닿을 경우 즉시 깨끗한 물로 여러 번 헹구십시오. 이 주의사항을 지키지 않으면 피부에 염증이 생길 수 있습니다.

구성품

본 제품을 사용하기 전에 다음 항목이 부속되었는지 확인하십시오.

- 방수 케이스 WP-AA1
- 추가 배터리 케이스 (방수 케이스 내부)

사용상 주의사항

- 호환 카메라 이외의 다른 카메라를 방수 케이스 WP-AA1에 넣지 마십시오.
- 방수 케이스를 사용하기 전에 본 제품과 카메라가 올바르게 작동되고 물이 새지 않는지 확인하십시오. 만에 하나 방수 케이스가 오작동하여 침수된 경우 (누수), Nikon은 내부 장비(카메라, 배터리, 메모리 카드 등) 및 기록된 콘텐츠의 손상 또는 사진에 수반된 비용에 대해 보증하지 않습니다. Nikon은 제품의 오작동으로 인한 손상이나 이익 손실에 대해서는 책임을 지지 않습니다.
- 방수 케이스가 충격을 받거나 방수 패킹이 열화된 것처럼 보이는 경우 대리점 또는 카메라의 설명서에 나오는 Nikon 서비스 지정점에 문의하는 것이 좋습니다.
- 방수 케이스 WP-AA1를 핸들 마운트 AA-7에 부착하지 마십시오. 서로 호환되지 않습니다.

누수 방지

방수 케이스 내의 물기는 카메라와 추가 배터리 케이스에 돌이킬 수 없는 손상을 일으키는 것 외에도 화재, 감전 또는 유독 가스를 발생시킬 수 있습니다. 다음 주의사항을 준수하여 방수 케이스 내부로 물이 들어가는 것을 방지할 수 있습니다:

- 물속 또는 물가에서 방수 케이스를 사용하기 전에 본 설명서에 설명된 대로 누수를 테스트하십시오.
- 방수 케이스를 밀봉하기 전에 액체, 먼지, 머리카락, 보풀, 티끌, 모래 및 기타 이물질이 끼어 있지 않은지 방수 패킹 및 방수 패킹이 맞닿는 방수 케이스 부분을 꼼꼼히 점검하십시오. 방수 패킹이 꼬여 있지 않은지, 제자리에 있는지 확인하십시오.
- 물보라, 강풍, 먼지 또는 모래에 노출된 곳에서 방수 케이스를 열지 마십시오.
- 방수 케이스를 떨어트리지 마십시오. 무거운 물건을 올려놓거나 과도한 힘을 주지 마십시오. 이 주의사항을 준수하지 않으면 방수 케이스가 뒤틀려서 물이 새 수 있습니다.
- 누수 발생 시 사용을 즉시 중단하고, 카메라와 방수 케이스 내부를 말리고, 카메라를 Nikon 공인 서비스 센터로 가져가십시오.

사전 누수 테스트

카메라를 방수 케이스에 넣기 전에, 아래 설명대로 방수 케이스를 잠그고 물에 담가서 물이 새는지 확인하십시오.

- 방수 케이스를 잠근 다음, 물에 천천히 담그고 방수 케이스 내부에서 공기가 배출되면 멈춥니다.
- 방수 케이스를 담그고 물속에서 2~3분간 버튼을 조작하여 기포가 나오는지 확인하십시오.
- 방수 케이스를 물에서 꺼내고, 부드럽고 마른 헝겊으로 완전히 말린 다음, 방수 케이스를 열고 내부에 물기가 있는지 확인하십시오.

충격 및 진동

방수 케이스는 충격 또는 진동으로부터 카메라를 보호하지 못합니다. 방수 케이스를 떨어트리거나, 단단한 물건으로 치거나, 물에 던져 넣거나, 방수 케이스를 들고 물에 뛰어들지 마십시오.

최대 수심

방수 케이스의 방수 성능은 최대 40 m입니다. 더 깊은 수심에서는 방수 케이스에 물이 새거나, 파손되거나 모양이 변형되어 카메라가 손상될 수 있습니다.

온도

고온에 노출된 곳 또는 불 근처에 방수 케이스를 두지 마십시오. 이 주의사항을 준수하지 않으면 방수 케이스가 약해지거나 변형될 수 있습니다. 갑작스러운 온도 변화 때문에 방수 케이스 내부가 응결되면 카메라가 손상될 수도 있습니다. 응결을 방지하려면:

- 매우 따뜻하거나 추운 곳으로 장소를 옮길 경우에는 주변과 동일한 온도가 될 때까지 카메라를 방수 케이스에 넣은 상태로 두십시오.
- 물에 들어가기 전에 해변 또는 직사광선 아래에 방수 케이스를 방치하여 방수 케이스가 고온에 노출되지 않게 하십시오.

화학 약품

- 접촉제 때문에 케이스가 열화될 수 있으므로 방수 케이스에 스티커를 붙이지 마십시오.
- 방수 케이스를 다음과 같은 약품 또는 약품 증기에 노출시키지 마십시오. 이 주의사항을 준수하지 않으면 방수 케이스가 훼손될 수 있습니다.
 - 방수 케이스를 청소할 때 화학 세제, 방청제, 시너, 알코올 또는 기타 휘발성 약품을 사용하지 마십시오. 담수로만 씻으십시오.
 - 김서림 방지제는 사용하지 마십시오.
 - 접착제를 사용하지 마십시오.
 - 선스크린 같은 화장품이 묻지 않게 조심하십시오.

비행기 탑승

비행기 탑승 시, 가능하면 방수 케이스는 휴대용 수화물로 기내에 휴대하십시오. 방수 케이스를 탁송 화물로 부칠 경우 방수 케이스를 열어 놓으십시오. 방수 케이스를 밀봉한 상태로 두면 기압 변화 때문에 방수 케이스가 손상되거나 방수 케이스가 열리지 않을 수도 있습니다.

높은 고도

높은 고도에서 낮은 고도로 이동 중일 때는 방수 케이스를 규칙적으로 열어서 압력을 완화하십시오. 방수 케이스를 밀봉한 상태로 두면 기압 변화 때문에 케이스가 손상되거나 케이스가 열리지 않을 수도 있습니다.

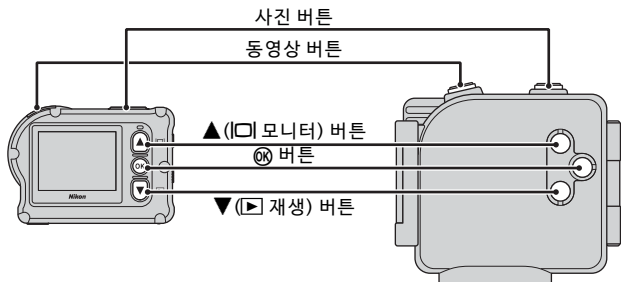
사용 후

- 사용한 직후에 방수 케이스를 청소하십시오. 방수 케이스를 열거나 카메라를 꺼내지 않고 담수가 든 대야에서 방수 케이스를 씻으십시오. 부드럽고 마른 헝겊으로 방수 케이스 외부를 완전히 말리십시오.
- 카메라를 꺼내고, 부드럽고 마른 헝겊으로 방수 케이스 내부를 닦으십시오. 방수 케이스 내부를 물로 씻지 마십시오.
- 케이스를 다시 봉인하고 담수가 든 대야에 2~3시간 동안 담가 두십시오. 각각의 버튼을 여러 번 조작하여 염분을 제거하십시오. 염분이 버튼에 낀 상태로 마르면 작동이 되지 않거나 금속 부품이 녹슬어서 방수 케이스가 쉼 수 있습니다.
- 부드럽고 마른 헝겊으로 방수 케이스를 완전히 말리십시오. 염분이 묻은 헝겊은 사용하지 마십시오. 그늘지고 환기가 잘 되는 곳에서 방수 케이스를 말리십시오. 헤어 드라이어 또는 기타 열원을 사용하거나 직사광선 아래에 케이스를 놓아두지 마십시오. 열기 때문에 방수 케이스 또는 방수 패키지가 열화되어 누수가 될 수 있습니다.

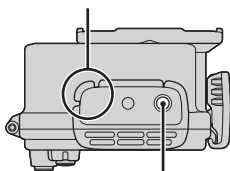
보관

- 방수 케이스는 열어 두십시오. 장기간 방수 케이스를 사용하지 않을 때는 먼지가 묻지 않도록 깨끗한 비닐 봉지에 방수 패키지를 넣어 두십시오.
- 방수 케이스는 선선하고 환기가 잘 되는 곳에 보관하십시오. 직사광선이 쬐거나 급작스러운 온도 변화가 있거나 습도가 많은 곳에 방수 케이스를 보관하지 마십시오. 방수 케이스 또는 방수 패키지를 나프타 또는 캄포 증약과 함께 보관하지 마십시오.

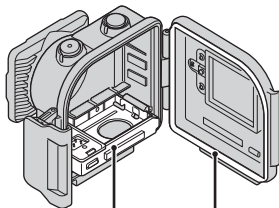
각부 명칭



낙상 방지 코드 연결부



삼각대 소켓

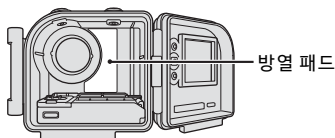


추가 배터리 케이스

방수 패킹

☑ 방열 패드에 대한 주의사항

방열 패드는 온도 상승을 방지합니다. 방열 패드를 세게 누르지 말고 블랙 테이프를 벗기지 마십시오.



카메라 준비

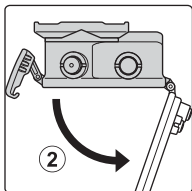
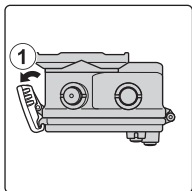
카메라 준비

카메라에서 렌즈 프로텍터를 분리합니다. 메모리 카드 및 완전히 충전된 배터리를 삽입합니다.

- 물 또는 먼지 같은 이물질은 카메라에서 제거하려면 부드러운 헝겊 또는 에어 더스터를 사용하십시오. 카메라에 방수 케이스를 넣은 채로 두어 축축한 상태가 오래가면 응결될 수 있습니다.

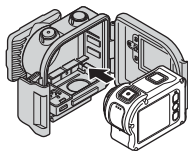
1 방수 케이스를 엽니다.

- 버클(①)을 열고 뒷 커버(②)를 엽니다.



2 카메라를 삽입합니다.

- 렌즈가 렌즈 창에 들어가도록 카메라를 방수 케이스에 삽입하십시오.

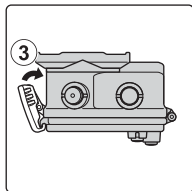
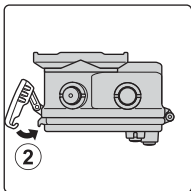
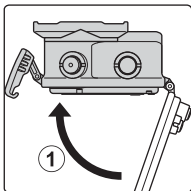


방수 케이스를 닫기 전에 다음을 확인할 것

- 방수 패킹이 이탈되지 않도록 방수 케이스를 차분하게 닫으십시오.
- 버클이 완전히 잠겼는지 확인하십시오.
- 누수를 방지하기 위해 방수 패킹이 찌그러지지 않았는지, 방수 케이스에 이물질이 끼지 않았는지 다시 한 번 확인하십시오.

3 방수 케이스를 닫습니다.

- 뒷 커버와 앞 커버가 맞물렸는지 확인하고 ①, 버클을 뒷 커버 쪽 갈고리에 건 다음 ②, 딸깍 하면서 제자리에 잠길 때까지 버클을 젖힙니다 ③.



렌즈 윈도우에 수증기가 찬 경우

- 수증기를 없애려면 방수 케이스에서 카메라를 꺼내고 한동안 사용한 다음 다시 넣으십시오. 카메라를 다시 넣을 때 방수 케이스에 남아 있는 물기가 없는지 확인하십시오.

뒷 커버가 잘 안 열리는 경우

아래 설명된 상황에서는 주변 온도 변화에 따른 기압 차 때문에 뒷 커버를 열기 어려울 수 있습니다.

- 뒷 커버를 닫은 상태에서 방수 케이스를 장시간 보관하는 경우
- 더운 환경에서 방수 케이스를 장시간 보관하는 경우
- 온도 차가 큰 장소로 방수 케이스를 옮기는 경우

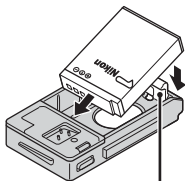
방수 케이스를 휴대하거나 보관하는 경우 뒷 커버가 완전히 닫혔는지 확인하십시오.

배터리 추가

배터리를 추가할 수 있습니다.

1 배터리를 보조 배터리 케이스에 삽입합니다.

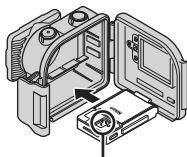
- 배터리의 양극과 음극 방향이 바르게 된 상태에서, 래치가 제자리에 걸릴 때까지 배터리를 삽입하십시오.
- 오작동할 수 있으므로 전원 단자가 젖게 하거나 전원 단자를 건드리지 마십시오.



래치

2 보조 배터리를 방수 케이스의 보조 배터리 케이스 보관 유닛에 삽입합니다.

- 배터리 핀 프레임이 젖었거나 핀 프레임을 건드리면 경우 고장날 수 있습니다.
- 배터리를 제거하려면 래치를 밖으로 당기면서 보조 배터리 케이스 바닥의 빈곳 사이로 밀어 올리십시오.



배터리 핀 프레임

고온에서 녹화

- 카메라를 고온에서 사용할 경우 배터리 잔량이 충분하더라도 녹화가 중지될 수 있습니다.

사양

최대 수심	40 m
카메라 사용 온도	-10°C - +40°C(육상), 0°C - 40°C(수중)
크기(W×H×D)	약 90.2 × 80.3 × 48.8 mm (돌출부 제외)
무게	약 133 g (배터리 및 카메라 제외)

방수 케이스 WP-AA1의 방수 성능은 JIS/IEC 방수 등급 8(IPX8)에 해당됩니다. 공식적으로 수심 40 m에서 30분간 방수 케이스에 물이 스며들지 않는 것으로 확인됩니다.

- Nikon은 본 설명서에 있을 수도 있는 오류에 대해 책임지지 않습니다.
- 본 제품의 외관 및 사양은 예고 없이 변경될 수 있습니다.

เพื่อความปลอดภัยของท่าน

เพื่อป้องกันความเสียหายกับทรัพย์สินหรือการบาดเจ็บต่อตัวท่านเองหรือผู้อื่น โปรดอ่าน "เพื่อความปลอดภัยของท่าน" ทั้งหมดก่อนการใช้งานผลิตภัณฑ์นี้ เก็บคำแนะนำเกี่ยวกับความปลอดภัยเหล่านี้ไว้ในที่ซึ่งผู้ใช้ผลิตภัณฑ์นี้สามารถอ่านได้



อันตราย

หากไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังเหล่านี้ที่จะแสดงด้วยสัญลักษณ์นี้ซึ่งมีความหมายว่ามีความเสี่ยงต่อการเสียชีวิตสูงหรือการได้รับบาดเจ็บรุนแรง



คำเตือน

หากไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังเหล่านี้ที่จะแสดงด้วยสัญลักษณ์นี้อาจทำให้เสียชีวิตหรือได้รับบาดเจ็บรุนแรง



ข้อควรระวัง

หากไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังเหล่านี้ที่จะแสดงด้วยสัญลักษณ์นี้อาจทำให้ได้รับบาดเจ็บหรือทรัพย์สินเสียหาย



คำเตือน

- ห้ามถอดแยกส่วนประกอบหรือดัดแปลงผลิตภัณฑ์นี้ ห้ามจับชิ้นส่วนด้านในที่เปิดออกเนื่องจากการตกหล่นหรืออุบัติเหตุอื่นๆ การไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังเหล่านี้อาจทำให้เกิดไฟฟ้าช็อตหรืออาการบาดเจ็บอื่นๆ ได้
- ถ้าคุณสังเกตเห็นความผิดปกติใดๆ เช่น มีกลิ่นผิดปกติ ความร้อน หรือควันออกมาจากผลิตภัณฑ์ ให้ถอดแบตเตอรี่ หรือแหล่งจ่ายไฟออกทันที การใช้งานต่อไปอาจทำให้เกิดไฟไหม้ แผลไหม้ หรือการบาดเจ็บได้
- ห้ามใช้ผลิตภัณฑ์นี้ใกล้ประกายไฟหรือก๊าซเช่นก๊าซหุงต้ม น้ำมันเชื้อเพลิง หรือแอมโมเนีย การไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจก่อให้เกิดการระเบิดหรือไฟไหม้ได้
- เก็บผลิตภัณฑ์นี้ให้พ้นมือเด็ก การไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจก่อให้เกิดอาการบาดเจ็บหรือผลิตภัณฑ์เสียหายได้ นอกจากนี้ โปรดระวังชิ้นส่วนขนาดเล็กติดคอ หากเด็กกลืนชิ้นส่วนของผลิตภัณฑ์นี้เข้าไป ให้รีบไปพบแพทย์ทันที
- ห้ามใช้แบตเตอรี่ที่ไม่ได้ถูกออกแบบมาเพื่อการใช้งานกับผลิตภัณฑ์นี้ การไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังเหล่านี้อาจทำให้เกิดไฟลุกไหม้หรือไฟฟ้าช็อตได้
- ห้ามจับด้วยมือเปล่าในสถานที่ที่มีอุณหภูมิสูงหรือต่ำจัด การไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจก่อให้เกิดการฉีกไหม้หรือความเย็นกัดได้

- ตรวจสอบให้แน่ใจว่าผลิตภัณฑ์ที่มีความแน่นหนา สังกะสีและระเบียบเกี่ยวกับศูนย์บริการทั้งหมดและความไม่เข้ากันทั้งหมดในสถานที่ที่ใช้งานผลิตภัณฑ์ การไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังเหล่านี้อาจก่อให้เกิดอุบัติเหตุหรือบาดเจ็บได้
- ห้ามใส่ผลิตภัณฑ์นี้หากเป็นการรบกวนการใช้งานอุปกรณ์ที่จำเป็น การไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจก่อให้เกิดอุบัติเหตุหรือบาดเจ็บได้



ข้อควรระวัง

- ถอดแบตเตอรี่ถ้าจะไม่มีการใช้งานผลิตภัณฑ์นี้เป็นเวลานาน การไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจก่อให้เกิดอาการบาดเจ็บหรือผลิตภัณฑ์เสียหายได้
- ห้ามทิ้งผลิตภัณฑ์ไว้ในที่ที่มีอุณหภูมิสูงเกินเป็นเวลานาน เช่น ในรถที่ปิดอยู่หรือการถูกแสงแดดโดยตรง การไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจก่อให้เกิดอาการบาดเจ็บหรือผลิตภัณฑ์เสียหายได้
- ระวังระวังนิ้วมือ มือ และผิวหนังของคุณ อย่าให้โดนอุปกรณ์หนีบ การไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจก่อให้เกิดอุบัติเหตุหรือบาดเจ็บได้
- อย่าวางผลิตภัณฑ์หรือต่อเข้ากับพื้นผิวที่ไม่มั่นคง การไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจทำให้ผลิตภัณฑ์หลวมหรือพลิกคว่ำ ซึ่งก่อให้เกิดอุบัติเหตุหรือบาดเจ็บได้



อันตรายเกี่ยวกับแบตเตอรี่

- ห้ามใช้แบตเตอรี่ในทางที่ผิด หากไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจทำให้แบตเตอรี่รั่ว เกิดความร้อนจัด เกิดการแตก หรือไฟติดขึ้นได้
 - ใช้เฉพาะแบตเตอรี่ที่ผ่านการรับรองให้ใช้กับอุปกรณ์นี้
 - อย่าให้แบตเตอรี่สัมผัสกับเปลวไฟ หรือความร้อนสูง
 - ห้ามถอดแยกชิ้นส่วน
 - ห้ามลัดวงจรขั้วต่อโดยการสัมผัสกับสกรูไขควง กีบตีตม หรือวัตถุโลหะอื่น
 - ห้ามกักเก็บแบตเตอรี่หรือผลิตภัณฑ์อื่น ในที่ที่เครื่องจะได้รับแรงกระแทกอย่างรุนแรง
- อย่าพยายามรีชาร์จแบตเตอรี่ EN-EL12 แบบรีชาร์จได้ เมื่อใช้เครื่องชาร์จ/กล่องที่ไม่ได้ถูกออกแบบมาตรงกับจุดประสงค์นี้ หากไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจทำให้แบตเตอรี่รั่ว เกิดความร้อนจัด เกิดการแตก หรือไฟติดขึ้นได้
- หากของเหลวจากแบตเตอรี่สัมผัสโดนดวงตา ให้ล้างด้วยน้ำสะอาดและพบแพทย์ทันที หากล่าช้าสามารถสร้างอาการบาดเจ็บต่อดวงตา



คำเตือนเกี่ยวกับแบตเตอรี่

- เก็บแบตเตอรี่ให้พ้นมือเด็ก หากเด็กกลืนแบตเตอรี่เข้าไป ให้รีบไปพบแพทย์ทันที
- อย่าจุ่มแบตเตอรี่ ในน้ำหรือให้สัมผัสกับฝน การไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจก่อให้เกิดอาการบาดเจ็บหรือผลิตภัณฑ์เสียหายได้ ให้เช็ดผลิตภัณฑ์ให้แห้งทันทีด้วยผ้าเช็ดตัวหรือสิ่งอื่นที่คล้ายกันถ้าผลิตภัณฑ์เปียก
- ให้หยุดใช้งานทันที หากสังเกตพบการเปลี่ยนแปลงใดๆ ของแบตเตอรี่ เช่น สีตกหรือรูปร่างผิดปกติ หยอดชาร์จแบตเตอรี่ หากแบตเตอรี่ไม่ชาร์จในระยะเวลาที่กำหนด หากไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจทำให้แบตเตอรี่รั่ว เกิดความร้อนจัด เกิดการแตก หรือไฟติดขึ้นได้
- ก่อนการทิ้ง ให้ตัดเทปที่ขั้วแบตเตอรี่ทั้งสองข้าง หากมีวัตถุโลหะเข้ามาสัมผัสขั้วแบตเตอรี่ อาจทำให้เกิดไฟไหม้ มีความร้อนสูง หรือแตกได้ ให้รีไซเคิลหรือกำจัดแบตเตอรี่ตามระเบียบข้อบังคับท้องถิ่น
- ถ้าหากของเหลวในแบตเตอรี่ออกมาสัมผัสกับผิวหนังของคนหรือเสื้อผ้า ให้ล้างบริเวณที่สัมผัสออกด้วยน้ำสะอาดปริมาณมากโดยทันที หากไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้ อาจทำให้ผิวหนังระคายเคือง

สิ่งที่ให้มา

ก่อนใช้งานผลิตภัณฑ์นี้ โปรดตรวจสอบว่ามีรายการต่อไปนี้ให้มาด้วย

- เคสกันน้ำ WP-AA1
- เคสแบตเตอรี่เสริม (ในเคสกันน้ำ)

ข้อควรระวังในการใช้

- ห้ามใส่สิ่งอื่นยกเว้นกล่องที่ใช้ร่วมกันได้ในเคสกันน้ำ WP-AA1
- ก่อนใช้งานเคสกันน้ำ ตรวจสอบว่าผลิตภัณฑ์นี้และกล่องใช้งานได้ตามปกติและไม่มีน้ำรั่วเข้ามาในกรณีที่ไม่น่าจะเกิดขึ้น เช่น การทำงานผิดปกติของเคสกันน้ำ ส่งผลให้เกิดความเสียหายเนื่องจากการจมน้ำ (น้ำรั่ว) Nikon ไม่รับประกันต่อความเสียหายกับอุปกรณ์ภายใน (กล่องแบตเตอรี่ การ์ดหน่วยความจำ และอื่นๆ) และข้อมูลที่บันทึกไว้ หรือค่าใช้จ่ายที่เกี่ยวข้องกับการถ่ายภาพ Nikon จะไม่รับผิดชอบต่อความเสียหายหรือการสูญเสียผลประโยชน์ที่อาจมีสาเหตุมาจากการทำงานผิดปกติของผลิตภัณฑ์
- หากเคสกันน้ำเกิดการกระแทกหรือปะทะกันน้ำเสื่อมสภาพ ขอแนะนำให้ปรึกษากับร้านค้าปลีกหรือตัวแทนบริการของ Nikon ที่ได้รับการแต่งตั้ง ดังที่อธิบายไว้ในคู่มือการใช้งานของกล่อง
- ห้ามประกอบเคสกันน้ำ WP-AA1 เข้ากับเมาท์ยึดแอนด์ AA-7 เนื่องจากใช้ร่วมกันไม่ได้

การป้องกันการรั่ว

น้ำที่อยู่ในเคสกันน้ำอาจส่งผลให้กล่องและเคสแบตเตอรี่เสริมได้รับความเสียหายที่ซ่อมแซมไม่ได้ ทั้งยังอาจส่งผลให้เกิดไฟไหม้ ไฟฟ้าช็อต หรือปล่อยก๊าซพิษออกมา เราสามารถป้องกันน้ำเข้าเคสกันน้ำได้โดยการปฏิบัติตามข้อควรระวังต่อไปนี้:

- ก่อนที่จะใช้เคสกันน้ำในน้ำหรือใกล้กับน้ำ ให้ทดสอบการรั่วตามคำอธิบายในคู่มือเล่มนี้
- ก่อนปิดเคสกันน้ำ ให้สำรวจปะทะกันน้ำและชิ้นส่วนต่างๆ ของเคสกันน้ำที่สัมผัสกับปะทะกันน้ำ ให้ละเอียดว่าไม่มีของเหลว สิ่งสกปรก เส้นผม ชู ฝุ่น หวาย และวัตถุแปลกปลอมอื่นๆ ติดอยู่ ตรวจสอบให้แน่ใจว่าปะทะกันน้ำไม่ปิดหรือหลุดออกจากตำแหน่ง
- ห้ามเปิดเคสกันน้ำในบริเวณที่มีละอองน้ำ ลมแรง ฝุ่น หรือทราย
- ห้ามทำเคสกันน้ำหล่น วางไว้ได้สิ่งของหนักๆ หรือโดนแรงกระแทก หากไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้ อาจส่งผลให้เคสกันน้ำเกิดการบิดเบี้ยว ทำให้เกิดการรั่วได้
- ในกรณีที่เกิดการรั่ว ให้หยุดใช้งานทันที เช็ดกล่องและด้านในของเคสกันน้ำให้แห้ง แล้วนำกล่องและเคสกันน้ำไปที่ตัวแทนบริการของ Nikon ที่ได้รับการแต่งตั้ง

การทดสอบการรั่วเบื้องต้น

ก่อนใส่กล่องเข้าในเคสกันน้ำ ให้ล๊อคเคสกันน้ำ แล้วจุ่มลงในน้ำเพื่อตรวจสอบการรั่วตามคำอธิบายด้านล่าง

- ล๊อคเคสกันน้ำ แล้วจุ่มลงในน้ำช้าๆ หยุดเมื่อมีอากาศขับออกจากด้านในเคสกันน้ำ
- จุ่มเคสกันน้ำและใช้งานปั๊มได้น้ำเป็นเวลา 2 ถึง 3 นาที ตรวจสอบว่ามีฟองอากาศออกมาหรือไม่
- นำเคสกันน้ำขึ้นจากน้ำ แล้วเช็ดให้ทั่วด้วยผ้าแห้งนุ่มๆ จากนั้นเปิดเคสกันน้ำ แล้วตรวจหาน้ำ

การกระแทกและสั่นสะเทือน

เคสกันน้ำไม่ได้ออกแบบมาเพื่อปกป้องกล่องจากแรงกระแทกหรือแรงสั่นสะเทือน ห้ามทำเคสกันน้ำหล่น กระแทกเข้ากับวัตถุแข็ง โยนลงในน้ำ หรือกระโดดลงน้ำขณะถือเคสกันน้ำ

ความลึกสูงสุด

เคสกันน้ำสามารถกันน้ำได้ที่ความลึกถึง 40 เมตร ในจุดที่ลึกกว่านี้ เคสกันน้ำอาจรั่ว แตก หรือเปลี่ยนรูป ส่งผลให้กล่องเกิดความเสียหายได้

อุณหภูมิ

ห้ามวางเคสกันน้ำในบริเวณที่มีอุณหภูมิสูง หรือใกล้กับแหล่งไฟ หากไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจส่งผลให้เคสกันน้ำอ่อนตัวหรือบิดเบี้ยว อุณหภูมิที่เปลี่ยนแปลงอย่างกะทันหันอาจส่งผลให้เกิดหยดน้ำในเคสกันน้ำ ทั้งยังอาจทำให้กล่องเกิดความเสียหายได้ การป้องกันหยดน้ำ:

- เมื่อย้ายจากสถานที่หนึ่งไปอีกสถานที่หนึ่งที่มีอุณหภูมิอุ่นหรือเย็นกว่าเดิมอย่างสังเกตเห็นได้ชัด ให้ทิ้งกล่องไว้ในเคสกันน้ำจนกว่าจะมีอุณหภูมิเท่ากับอุณหภูมิโดยรอบ
- อย่าให้เคสกันน้ำอยู่ที่ที่มีอุณหภูมิสูงโดยการทิ้งไว้บนชายหาดหรือมีแดดส่องตรงก่อนนำลงไปใต้น้ำ

สารเคมี

- ห้ามติดสติ๊กเกอร์บนเคสกันน้ำ เนื่องจากอาจทำให้เคสเสื่อมสภาพ
- ห้ามให้เคสกันน้ำสัมผัสกับสารเคมีหรือไอของสารเคมีต่อไปนี้ หากไม่ปฏิบัติตามข้อควรระวังนี้อาจส่งผลให้เคสกันน้ำเกิดความเสียหายได้
 - ห้ามใช้สารซักฟอก ตัวยับยั้งการเกิดสนิม ทินเนอร์ แอลกอฮอล์ หรือสารระเหยเมื่อทำความสะอาดเคสกันน้ำ ล้างในน้ำเปล่าเท่านั้น
 - ห้ามใช้น้ำยาซักผ้า
 - ห้ามใช้กาบ
 - อย่าให้เครื่องสำอางค์ เช่น ครีมกันแดด โดนเคส

การนำขึ้นเครื่องบิน

หากเป็นไปได้ ควรเก็บเคสกันน้ำไว้ในกระเป๋าที่ถือขึ้นเครื่องบิน เมื่อใส่เคสกันน้ำไว้ในกระเป๋าใต้ท้องเครื่อง ให้เปิดเคสกันน้ำไว้ หากปิดซีลเคสกันน้ำ การเปลี่ยนแปลงในแรงดันอากาศอาจทำให้เคสกันน้ำได้รับความเสียหาย หรือทำให้เปิดเคสกันน้ำไม่ได้

ระดับความสูง

เมื่อเดินทางจากที่สูงไปยังที่ต่ำ ให้เปิดเคสกันน้ำเป็นระยะๆ เพื่อปรับแรงดันให้เท่ากัน หากปิดซีลเคสกันน้ำไว้ การเปลี่ยนแปลงในแรงดันอากาศอาจทำให้เคสได้รับความเสียหาย หรือทำให้เปิดเคสไม่ได้

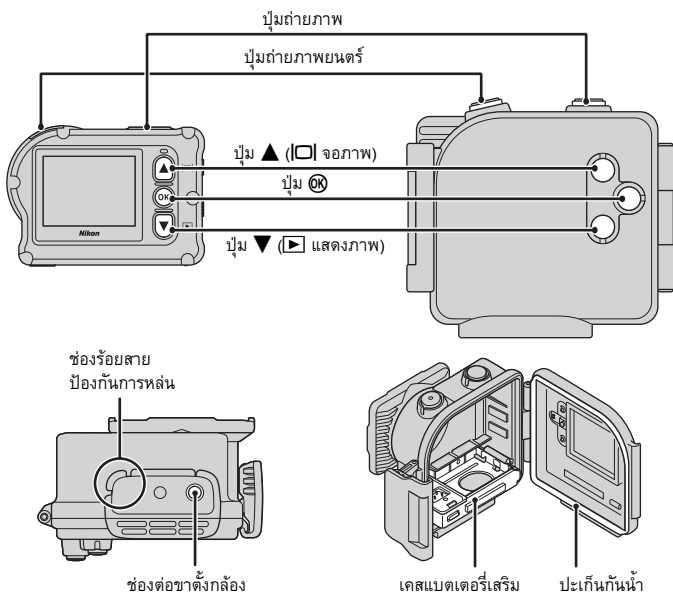
หลังการใช้งาน

- ทำความสะอาดเคสกันน้ำทันทีที่ได้หลังจากใช้งาน ล้างเคสกันน้ำในอ่างน้ำเปล่าโดยที่ยังไม่ต้องเปิดเคสกันน้ำหรือนำกล้อออก เช็ดภายนอกเคสกันน้ำให้ทั่วด้วยผ้าแห้งนุ่มๆ
- นำกล้อออก แล้วเช็ดด้านในของเคสกันน้ำด้วยผ้าแห้งนุ่มๆ ห้ามใช้น้ำล้างด้านในเคสกันน้ำ
- ปิดซีลเคส แล้วแขวนไว้ในอ่างน้ำเปล่าประมาณ 2 ถึง 3 ชั่วโมง ใช้ปั๊มแต่ละปั๊มสองสามครั้ง เพื่อให้เกลือหลุดออก หากมีเกลือแข็งติดอยู่กับปั๊ม อาจทำให้ปั๊มเหล่านั้นไม่ทำงาน หรืออาจเกิดสนิมตรงชิ้นส่วนที่เป็นโลหะ ทำให้เคสกันน้ำรั่วได้
- เช็ดเคสกันน้ำให้ทั่วด้วยผ้าแห้งนุ่มๆ ห้ามใช้ผ้าที่มีเกลือติดอยู่ ผึ่งเคสกันน้ำในที่ร่มและมีการระบายอากาศที่ดี ห้ามใช้ไดร์เป่าผมหรือแหล่งความร้อนอื่นๆ หรือวางเคสในที่แดดส่องตรง ความร้อนอาจทำให้เคสกันน้ำหรือปะเก็นกันน้ำเสื่อมสภาพ ส่งผลให้เกิดการรั่ว

การจัดเก็บ

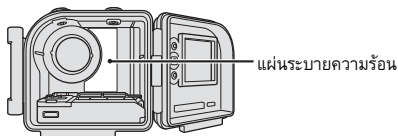
- เปิดเคสกันน้ำทิ้งไว้ เมื่อจะไม่ใช้เคสกันน้ำเป็นเวลานาน ให้เก็บไว้ในถุงพลาสติกที่สะอาดเพื่อป้องกันไม่ให้มีฝุ่นจับที่ปะเก็นกันน้ำ
- เก็บเคสกันน้ำในที่ที่มีอากาศเย็นและมีกการระบายอากาศที่ดี ห้ามเก็บเคสกันน้ำในที่แดดส่องตรง หรือในที่ที่มีอุณหภูมิเปลี่ยนแปลงกะทันหัน หรือมีความชื้นในระดับสูง ห้ามเก็บเคสกันน้ำหรือปะเก็นกันน้ำไว้กับลูกเหม็นหรือการบูร

ชื่อชิ้นส่วน



✓ ข้อควรทราบเกี่ยวกับแผ่นระบายความร้อน

แผ่นระบายความร้อนจะป้องกันไม่ให้อุณหภูมิสูงขึ้น อย่าใช้กดตรงแผ่นระบายความร้อนแรงๆ และห้ามดึงเทปสีดำออก



การเตรียมกล้อง

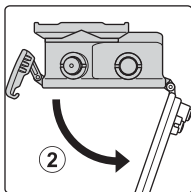
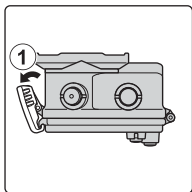
การเตรียมกล้อง

ถอดอุปกรณ์ป้องกันเลนส์ออกจากกล้อง เสียบการ์ดหน่วยความจำและแบตเตอรี่ที่ชาร์จไว้เต็มแล้ว

- ใช้ผ้านุ่มหรือปืนเป่าลมเพื่อขจัดสิ่งแปลกปลอมต่างๆ เช่น น้ำหรือฝุ่น ออกจากกล้อง หากกล้องยังคงเปียกอยู่ขณะที่ประกอบเข้ากับเคสกันน้ำ อาจทำให้เกิดการควบแน่นของไอน้ำได้

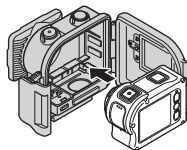
1 เปิดเคสกันน้ำ

- เปิดตัวยึด (1) จากนั้นเปิดฝาด้านหลัง (2)



2 ใส่กล้อง

- ใส่กล้องเข้าไปในเคสกันน้ำ โดยให้เลนส์อยู่ตรงหน้าต่างเลนส์พอดี

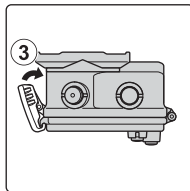
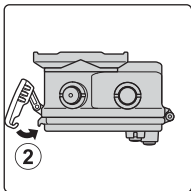
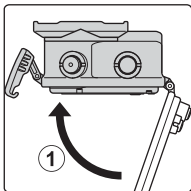


ตรวจสอบสิ่งต่อไปนีวก่อนปิดเคสกันน้ำ

- ค่อยๆ ปิดเคสกันน้ำ เพื่อไม่ให้ปะเก็นกันน้ำหลุดออกมา
- ตรวจสอบให้แน่ใจว่าล็อคตัวยึดดีแล้ว
- เพื่อป้องกันไม่ให้น้ำรั่วเข้าไป ให้ตรวจสอบปะเก็นกันน้ำอีกครั้งว่าไม่หลุดออกหรือมีสิ่งแปลกปลอมติดอยู่ในเคสกันน้ำ

3 ปิดเคสกันน้ำ

- ประกอบฝาด้านหลังเข้ากับฝาด้านหน้า (1) ครอบตัวยึดไปที่ฝาด้านหลังแล้วเกี่ยวกับขอยึด (2) จากนั้นดันตัวยึดกลับจนกว่าจะคลิกเข้าที่และล็อก (3)



หากกระจกปิดเลนส์เกิดฝ้า

- ในการขจัดฝ้า ให้ลองถอดกล้องออกจากเคสกันน้ำ แล้วใช้งานสักพักก่อนที่จะใส่กลับเข้าไป ตรวจสอบให้แน่ใจว่าไม่มีน้ำเหลืออยู่ในเคสกันน้ำขณะที่ท่านใส่กล้องกลับเข้าไป

หากฝาครอบด้านหลังเปิดออกยาก

ในสถานการณ์ด้านล่าง อาจทำให้เปิดฝาครอบด้านหลังออกยากเนื่องจากความดันอากาศที่แตกต่างกันตามการเปลี่ยนแปลงของอุณหภูมิแวดล้อม

- เมื่อจัดเก็บเคสกันน้ำเป็นเวลานานโดยที่ปิดฝาครอบด้านหลังไว้
- เมื่อจัดเก็บเคสกันน้ำในที่ที่มีอุณหภูมิสูงเป็นระยะเวลานาน
- เมื่อเคลื่อนย้ายเคสกันน้ำไปยังสถานที่ที่มีอุณหภูมิแตกต่างกันมาก

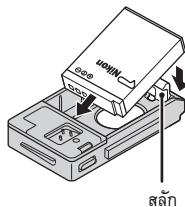
ตรวจสอบให้แน่ใจว่าไม่ได้ปิดฝาครอบด้านหลังแน่นจนเกินไปเมื่อจะเคลื่อนย้ายหรือจัดเก็บเคสกันน้ำ

การเพิ่มแบตเตอรี่

ท่านสามารถเพิ่มแบตเตอรี่ได้

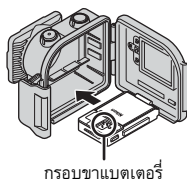
1 ใส่แบตเตอรี่เสริมเข้าไปในเคสแบตเตอรี่เสริม

- เมื่อหันขั้วบวกและขั้วลบถูกต้องแล้ว ให้ใส่แบตเตอรี่จนกว่าสลักจะยึดแบตเตอรี่เข้าที่อย่างแน่นหนา
- ระวังอย่าทำให้ขั้วแบตเตอรี่เปียกหรือสัมผัสกับขั้วแบตเตอรี่ เพราะอาจส่งผลให้ทำงานผิดปกติได้



2 ใส่แบตเตอรี่เสริมเข้าไปในส่วนจัดเก็บเคสแบตเตอรี่เสริมของเคสกันน้ำ

- หากท่านสัมผัสหรือทำให้กรอบขาแบตเตอรี่เปียก อาจส่งผลให้ทำงานผิดปกติได้
- หากต้องการถอดแบตเตอรี่ให้ดึงสลักออกด้านนอก แล้วดันขึ้นผ่านช่องเคสแบตเตอรี่เสริมที่อยู่ด้านล่าง



การบันทึกในสภาพแวดล้อมที่มีอุณหภูมิสูง

- การบันทึกอาจหยุดทำงานหากกล้องเริ่มร้อนเมื่อใช้ในสภาพแวดล้อมที่มีอุณหภูมิสูง แม้ว่าจาร์จแบตเตอรี่ไว้เพียงพอก็ตาม

ข้อมูลจำเพาะ

ความลึกในน้ำสูงสุด	40 เมตร
อุณหภูมิการใช้งานกล้อง	-10°C – +40°C (สำหรับใช้บนบก), 0°C–40°C (สำหรับใช้ใต้น้ำ)
ขนาด (ก × ส × ล)	ประมาณ 90.2 × 80.3 × 48.8 มม. (ไม่รวมส่วนที่ยื่นออกมา)
น้ำหนัก	ประมาณ 133 กรัม (ไม่รวมแบตเตอรี่และกล้อง)

ประสิทธิภาพในการกันน้ำของเคสกันน้ำ WP-AA1 จะเทียบเท่ากับกรณีน้ำระดับ 8 ของ JIS/IEC (IPX8) โดยยืนยันว่าน้ำจะไม่เข้าไปในเคสกันน้ำหากใช้งานใต้น้ำที่มีความระมัดระวังไม่เกิน 40 ม. เป็นเวลาสูงสุด 30 นาที

- Nikon ไม่รับผิดชอบในทุกกรณีสำหรับข้อผิดพลาดใดๆ ที่อาจมีอยู่ในคู่มือเล่มนี้
- รูปลักษณะของผลิตภัณฑ์นี้และข้อมูลจำเพาะอาจมีการเปลี่ยนแปลงโดยไม่ต้องแจ้งให้ทราบ

Demi Keamanan Anda

Untuk mencegah kerusakan pada harta benda atau cedera pada diri Anda atau orang lain, bacalah “Demi Keamanan Anda” secara menyeluruh sebelum menggunakan produk ini. Simpan petunjuk keselamatan ini di mana semua pihak yang menggunakan produk ini dapat membacanya.



BAHAYA

Gagal mematuhi pencegahan dengan ikon bertanda ini berisiko tinggi menyebabkan kematian atau cedera berat.



PERINGATAN

Gagal mematuhi pencegahan dengan ikon bertanda ini dapat menyebabkan kematian atau cedera berat.



PERHATIKAN

Gagal mematuhi pencegahan dengan ikon bertanda ini dapat menyebabkan cedera atau kerusakan harta benda.



PERINGATAN

- Jangan membongkar atau memodifikasi produk ini. Jangan menyentuh bagian dalam yang menjadi tidak terlindung akibat dari terjatuh atau kecelakaan lainnya. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menimbulkan sengatan listrik atau cedera lainnya.
- Apabila Anda mengamati ketidakwajaran apapun seperti keluar asap, panas, atau bau tidak biasa dari produk, putuskan segera hubungan baterai atau sumber daya. Melanjutkan pengoperasian dapat menyebabkan kebakaran, luka bakar atau cedera lainnya.
- Jangan gunakan produk ini saat hadirnya debu atau gas yang mudah terbakar seperti propana, bensin atau erosol. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan ledakan atau kebakaran.
- Jauhkan produk ini dari jangkauan anak-anak. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan cedera atau gagal fungsi pada produk. Sebagai tambahan, catat bahwa onderdil kecil merupakan bahaya tersedak. Apabila onderdil apapun dari produk ini tertelan oleh anak, segera minta bantuan medis.
- Jangan gunakan baterai yang bukan khusus untuk penggunaan dengan produk ini. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyulut api atau sengatan listrik.
- Jangan menangani dengan tangan kosong di tempat yang terpapar pada suhu teramat tinggi atau teramat rendah. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan luka bakar atau radang dingin.

- Pastikan produk telah dikunci dengan benar. Patuhi peraturan dan regulasi di semua bangunan dan dalam seluruh pertandingan di mana produk ini digunakan. Gagal mematuhi pencegahan-pencegahan ini dapat menyebabkan kecelakaan atau cedera lainnya.
- Jangan kenakan produk jika ini akan mengganggu penggunaan dari peralatan vital. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan kecelakaan atau cedera lainnya.



PERHATIKAN

- Keluarkan baterai jika produk ini tidak akan digunakan untuk jangka panjang. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan kebakaran atau gagal fungsi produk.
- Jangan tinggalkan produk di tempat di mana ia akan terpapar pada suhu yang teramat tinggi, selama jangka panjang seperti dalam kendaraan tertutup atau di bawah sinar matahari langsung. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan kebakaran atau gagal fungsi produk.
- Perhatikan jari, tangan, dan kulit Anda agar tidak tersangkut ke dalam peralatan. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan kecelakaan atau cedera lainnya.
- Jangan letakkan produk pada, atau memasangnya ke, permukaan yang tak stabil. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan produk menjadi terlepas atau terjatuh, yang menyebabkan kecelakaan atau cedera lainnya.



BAHAYA untuk Baterai

- Jangan menyalahgunakan baterai. Gagal mematuhi pencegahan berikut ini dapat menyebabkan baterai bocor, kepanasan, pecah, atau terbakar:
 - Gunakan hanya baterai isi ulang yang disetujui untuk digunakan dengan produk ini.
 - Jangan paparkan baterai pada nyala api atau panas berlebihan.
 - Jangan membongkar.
 - Jangan mengarus-pendek terminal dengan penyentuhan ke kalung, jepit rambut, atau benda logam lainnya.
 - Jangan paparkan baterai atau produk dimana ia dikenakan pada guncangan fisik kuat.
- Jangan mencoba mengisi ulang baterai isi ulang EN-EL12 menggunakan pengisi daya/kamera yang bukan khusus untuk tujuan penggunaan ini. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan baterai bocor, kepanasan, pecah, atau terbakar.
- Apabila cairan baterai mengenai mata, bilas dengan air bersih yang banyak dan minta bantuan medis secepatnya. Penundaan tindakan dapat menyebabkan cedera mata.



PERINGATAN untuk Baterai

- Jauhkan baterai dari jangkauan anak-anak. Apabila baterai tertelan oleh anak kecil, minta bantuan medis segera.
- Jangan merendam baterai di dalam air atau memaparkan pada hujan. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan kebakaran atau gagal fungsi produk. Segera keringkan produk dengan handuk atau benda sejenis jika terkena basah.
- Segera hentikan penggunaan jika Anda mengamati adanya perubahan pada baterai, seperti perubahan warna atau bentuk. Hentikan pengisian daya baterai jika baterai tidak terisi daya dalam jangka waktu yang ditentukan. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan baterai bocor, kepanasan, pecah, atau terbakar.
- Sebelum membuang, sekat terminal baterai dengan plester. Kepanasan, pecah, atau kebakaran dapat terjadi bilamana benda logam bersentuhan dengan terminalnya. Daur ulang atau buanglah baterai menurut peraturan setempat.
- Apabila cairan baterai bersentuhan dengan kulit atau pakaian seseorang, bilas segera area yang terkena dengan air bersih yang banyak. Gagal mematuhi pencegahan ini dapat menyebabkan iritasi kulit.

Isi kemasan

Sebelum menggunakan produk ini, periksa apakah item-item berikut sudah tersedia.

- Kantung tahan air WP-AA1
- Wadah baterai tambahan (di dalam kantung tahan air)

Tindakan Pencegahan sebelum Penggunaan

- Jangan menaruh apa pun selain kamera yang sesuai ke dalam Kantung Tahan Air WP-AA1.
- Sebelum menggunakan kantung tahan air, pastikan produk ini dan kamera beroperasi dengan benar dan tidak ada kebocoran air. Dalam kejadian yang kemungkinan tidak terjadi, yaitu kantung tahan air menyebabkan kerusakan akibat kamera terendam (kebocoran air), Nikon tidak memberikan garansi atas kerusakan yang terjadi pada komponen internal (kamera, baterai, kartu memori, dll) dan konten yang terekam, serta biaya yang diperlukan dalam kaitannya dengan fotografinya. Nikon tidak akan bertanggung jawab atas kerusakan atau hilangnya keuntungan yang mungkin diakibatkan oleh kerusakan produk.
- Jika kantung tahan air terpapar guncangan atau kemasan tahan air tampak rusak, sebaiknya konsultasikan dengan toko penjual atau perwakilan servis resmi-Nikon yang dijelaskan dalam manual kamera ini.
- Jangan pasang Kantung Tahan Air WP-AA1 ke Dudukan Setang AA-7, karena keduanya tidak kompatibel.

Mencegah Kebocoran

Air di dalam kantung tahan air dapat membuat kamera dan baterai tambahan mengalami kerusakan yang tidak dapat diperbaiki, serta dapat mengakibatkan kebakaran, sengatan listrik, atau paparan terhadap gas beracun. Masuknya air ke dalam kantung tahan air dapat dicegah dengan melakukan tindakan pencegahan berikut ini:

- Sebelum menggunakan kantung tahan air di dalam atau dekat air, lakukan uji kebocoran seperti yang dijelaskan dalam petunjuk ini.
- Sebelum menutup kantung tahan air, periksa kemasan tahan air dan bagian-bagian kantung tahan air yang bersentuhan dengan kemasan tahan air secara hati-hati untuk memastikan bahwa tidak ada cairan, kotoran, rambut, serat, debu, pasir, dan benda asing lainnya pada kemasan tersebut. Pastikan kemasan tahan air tidak terpuntir atau keluar dari posisinya.
- Jangan membuka kantung tahan air di area yang terpapar semprotan, angin kencang, debu, atau pasir.
- Jangan menjatuhkan kantung tahan air, meletakkannya di bawah benda berat, atau memberikan tekanan berlebih. Jika tindakan pencegahan ini tidak diperhatikan, kantung tahan air dapat melengkung, sehingga menyebabkan kebocoran.
- Apabila terjadi kebocoran, segera hentikan penggunaan, keringkan kamera dan bagian dalam kantung tahan air, dan perbaiki kamera dan kantung tahan air di perwakilan servis resmi Nikon.

Uji Kebocoran Awal

Sebelum memasukkan kamera ke dalam kantung tahan air, pasang kait pada kantung tahan air, lalu rendam di dalam air untuk memeriksa apakah ada kebocoran seperti dijelaskan di bawah ini.

- Pasang kait pada kantung tahan air, lalu secara perlahan rendam di dalam air. Hentikan jika ada udara yang keluar dari dalam kantung tahan air tersebut.
- Rendam kantung tahan air, lalu operasikan tombol-tombolnya di bawah air selama 2 hingga 3 menit, untuk memeriksa apakah muncul gelembung.
- Keluarkan kantung tahan air dari dalam air dan keringkan secara menyeluruh dengan kain kering yang lembut, lalu buka kantung tahan air dan periksa apakah ada air di dalamnya.

Guncangan dan Getaran

Kantung tahan air tidak dirancang untuk melindungi kamera dari guncangan atau getaran. Jangan menjatuhkan kantung tahan air, menabrakkannya pada benda keras, melemparkannya ke dalam air, atau melompat ke dalam air dengan memegang kantung tahan air.

Kedalaman Maksimal

Kantung tahan air ini tahan terhadap air hingga kedalaman 40 m. Jika kedalamannya lebih dari itu, kantung tahan air ini bisa bocor, pecah, atau berubah bentuk sehingga merusak kamera.

Suhu

Jangan membiarkan kantung tahan air berada di area yang terpapar suhu tinggi, atau dekat dengan api. Jika tindakan pencegahan ini tidak diperhatikan, kantung tahan air bisa lembek atau melengkung. Perubahan suhu yang tiba-tiba dapat mengakibatkan kondensasi di dalam kantung tahan air, yang juga dapat merusak kamera. Untuk mencegah kondensasi:

- Saat Anda berpindah dari satu lokasi ke lokasi lain yang terlihat lebih hangat atau lebih dingin, biarkan kamera di dalam kantung tahan air hingga suhu kamera sama dengan suhu sekitarnya.
- Jangan paparkan kantung tahan air dalam suhu tinggi dengan meletakkannya di pantai atau di bawah sinar matahari langsung sebelum masuk ke dalam air.

Bahan kimia

- Jangan menempelkan stiker pada kantung tahan air, karena bahan adhesifnya dapat menurunkan kualitas kantung.
- Jangan memaparkan kantung tahan air terhadap bahan kimia berikut atau uap bahan kimia tersebut. Jika tindakan pencegahan ini tidak diperhatikan, kantung tahan air bisa rusak.
 - Ketika membersihkan kantung tahan air, jangan gunakan detergen kimiawi, pencegah karat, thinner, alkohol, atau bahan kimia volatil lainnya. Cuci dengan air tawar saja.
 - Jangan gunakan bahan kimia anti-kabut.
 - Jangan gunakan bahan adhesif.
 - Berhati-hatilah agar tidak menggunakan kosmetik seperti tabir surya.

Melakukan Perjalanan Udara

Jika memungkinkan, masukkan kantung tahan air ke dalam tas jinjing yang selalu Anda bawa saat melakukan perjalanan udara. Apabila kantung tahan air ditaruh di dalam bagasi yang dicek masuk, biarkan kantung tahan air tetap terbuka. Jika kantung tahan air ditutup, perubahan tekanan udara dapat merusak kantung tahan air atau membuat kantung tahan air tidak dapat dibuka.

Ketinggian

Apabila melakukan perjalanan dari lokasi yang sangat tinggi menuju lokasi yang rendah, buka kantung tahan air secara berkala untuk menyeimbangkan tekanannya. Jika kantung tahan air selalu tertutup, perubahan tekanan udara dapat merusak atau membuat kantung tersebut tidak dapat dibuka.

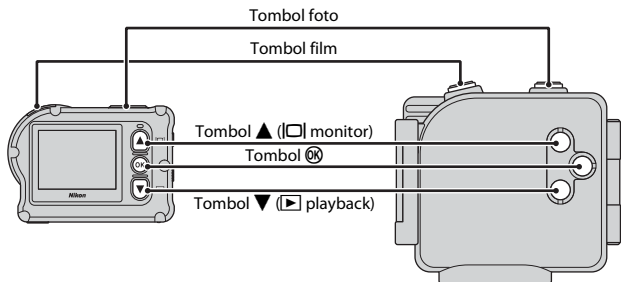
Setelah Penggunaan

- Setelah digunakan, bersihkan kantung tahan air sesegera mungkin. Tanpa membuka kantung tahan air atau mengeluarkan kameranya, cuci kantung tahan air di dalam baskom air tawar. Keringkan bagian luar kantung tahan air secara menyeluruh dengan kain kering yang lembut.
- Keluarkan kamera dan usap bagian dalam kantung tahan air dengan kain kering yang lembut. Jangan mencuci bagian dalam kantung tahan air dengan air.
- Tutup kembali kantung dan tetap letakkan di dalam baskom air tawar selama dua hingga tiga jam. Operasikan masing-masing tombol beberapa kali untuk membersihkan garam. Jika garam mengering di dalam tombol, kontrol mungkin tidak dapat berfungsi atau bagian logamnya mungkin berkarat, sehingga kantung tahan air bocor.
- Keringkan kantung tahan air secara menyeluruh dengan kain kering yang lembut. Jangan gunakan kain yang memiliki kandungan garam. Keringkan kantung tahan air di luar ruang di area yang berventilasi baik serta teduh. Jangan gunakan pengering rambut (hair dryer) atau sumber panas lainnya atau meletakkan kantung di bawah sinar matahari langsung. Panas dapat menyebabkan penurunan kinerja kantung tahan air atau kemasan tahan air yang menyebabkan kebocoran.

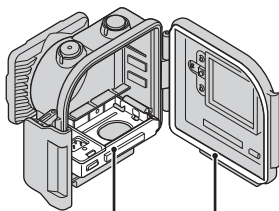
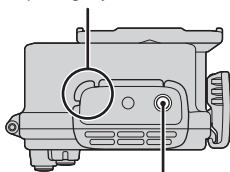
Penyimpanan

- Biarkan kantung tahan air terbuka. Jika kantung tahan air tidak dipakai dalam jangka waktu lama, letakkan dalam kantong plastik yang bersih untuk melindungi kemasan tahan air dari debu.
- Simpan kantung tahan air di area yang ventilasinya baik dan sejuk. Jangan menyimpan kantung tahan air di bawah sinar matahari langsung atau di tempat yang terpapar perubahan suhu tiba-tiba atau tingkat kelembapan yang tinggi. Jangan menyimpan kantung tahan air atau kemasan tahan air dengan nafta atau kapur barus.

Nama Komponen

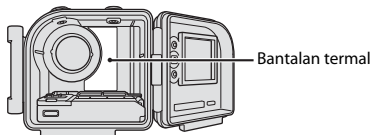


Lubang untuk tali pencegah jatuh



✓ Catatan tentang bantalan termal

Bantalan termal mencegah naiknya suhu. Jangan tekan bantalan termal dengan kuat, dan jangan kelupas selotip hitamnya.



Menyiapkan Kamera

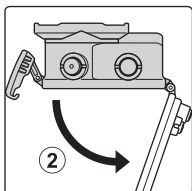
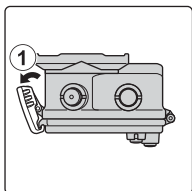
Menyiapkan kamera

Lepaskan pelindung lensa dari kamera. Masukkan kartu memori dan baterai yang telah terisi penuh ke dalam kamera.

- Gunakan kain lembut atau penyemprot angin untuk membersihkan zat asing, seperti air atau debu dari kamera. Jika kamera masih basah saat dimasukkan ke dalam kantong tahan air, hal ini bisa menimbulkan kondensasi.

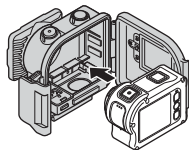
1 Buka kantong tahan air.

- Buka gesper (1), lalu buka penutup belakang (2).



2 Masukkan kamera.

- Masukkan kamera ke dalam kantong tahan air sehingga lensa terpasang secara pas ke jendela lensa.

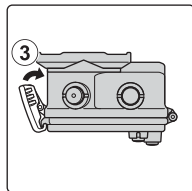
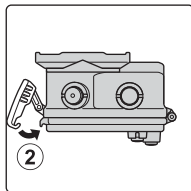
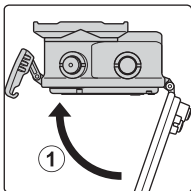


Lakukan pemeriksaan berikut sebelum menutup kantong tahan air.

- Tutup kantong tahan air secara perlahan sehingga kemasan tahan air tidak akan terlepas.
- Pastikan gesper terkunci sepenuhnya.
- Untuk mencegah kebocoran air, periksa kembali bahwa kemasan tahan air tidak tergecet atau ada benda asing yang terperangkap di dalam kantong tahan air.

3 Tutup kantong tahan air.

- Pasang penutup belakang ke penutup depan (1), miringkan gesper ke sisi penutup belakang dan kaitkan cakar atau claw (2), lalu miringkan gesper hingga berbunyi klik di tempatnya, lalu kunci (3).



Jika jendela lensa berkabut

- Untuk membersihkan kabut, lepaskan kamera dari kantong tahan air dan gunakan sebentar sebelum memasukkannya kembali. Pastikan tidak ada sisa air di dalam kantong tahan air saat Anda memasukkan kamera kembali.

Jika penutup belakang sulit dibuka

Pada situasi yang dijelaskan di bawah, penutup belakang mungkin sulit dibuka karena adanya perbedaan tekanan udara yang disebabkan oleh berubahnya suhu sekitar.

- Saat menyimpan kantong tahan air untuk jangka waktu yang lama dengan penutup belakang yang tertutup
- Saat menyimpan kantong tahan air dalam kondisi panas untuk jangka waktu yang lama
- Saat memindahkan kantong tahan air ke tempat yang perbedaannya signifikan

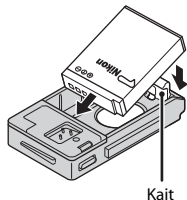
Pastikan penutup belakang tidak tertutup sepenuhnya saat memindahkan atau menyimpan kantong tahan air.

Menambahkan baterai

Anda dapat menambahkan baterai.

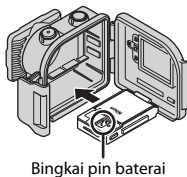
1 Masukkan baterai ke wadah baterai tambahan.

- Dengan terminal positif dan negatif yang ditempatkan dengan benar, masukkan baterai hingga kaitnya terpasang dengan kencang di tempatnya.
- Jangan menyentuh terminal daya atau membiarkannya basah, karena dapat menyebabkan kerusakan.



2 Masukkan baterai tambahan ke unit penyimpanan kantung baterai tambahan pada kantung tahan air.

- Jika Anda menyentuh bingkai pin baterai atau membiarkannya basah, maka akan menyebabkan kerusakan.
- Untuk melepaskan baterai, tarik kait ke atas lalu dorong melalui bukaan di bagian bawah wadah baterai tambahan.



Merekam dalam kondisi bersuhu tinggi

- Perekaman dapat berhenti jika kamera menjadi panas saat digunakan dalam kondisi bersuhu tinggi, meskipun baterai telah terisi daya secara mencukupi.

Spesifikasi

Kedalaman air maksimal	40 m
Suhu pengoperasian kamera	-10°C–+40°C (di darat), 0°C–40°C (di bawah air)
Dimensi (L x T x D)	Sekitar 90,2 x 80,3 x 48,8 mm (tidak termasuk bagian yang menonjol)
Berat	Sekitar 133 g (tidak termasuk baterai dan kamera)

Kinerja tahan air dari Kantung Tahan Air WP-AA1 setara dengan kinerja tahan air JIS/IEC kelas 8 (IPX8). Telah dipastikan bahwa air tidak akan masuk ke dalam kantung tahan air jika digunakan di bawah air dengan kedalaman hingga 40 m selama hingga 30 menit.

- Nikon tidak bertanggung jawab atas segala kesalahan yang mungkin terdapat di dalam buku petunjuk ini.
- Penampilan produk ini serta spesifikasinya dapat berubah tanpa pemberitahuan.

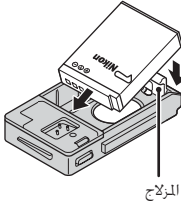
إضافة بطارية

يمكنك إضافة بطارية.

1

أدخل البطارية في حقيبة البطارية الإضافية.

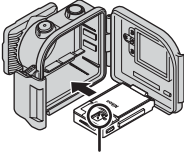
- مع توجيه الأطراف الموجبة والسالبة بشكل صحيح، أدخل البطارية حتى يستقر المزلاج بإحكام في موضعه.
- كن حذراً من عدم خفيف أو لس أطراف توصيل الطاقة حيث أنه قد يتسبب في عطل المنتج.



2

أدخل البطارية الإضافية داخل وحدة تخزين حقيبة البطارية الإضافية في حقيبة مقاومة للماء.

- إذا بللت أو لمست إطار مسمار البطارية، قد يتسبب ذلك في حدوث عطل.
- لإزالة البطارية، اجذب المزلاج للخارج وادفع لأعلى خلال الفتحة أسفل علبة البطارية الإضافية.



إطار مسمار البطارية

التسجيل في ظروف درجة الحرارة العالية

- قد يتوقف التسجيل إذا أصبحت الكاميرا ساخنة عند استخدامها في ظروف درجات الحرارة المرتفعة. حتى إذا كانت البطارية مشحونة بدرجة كافية.

المواصفات

40 متر

العمق الأقصى للماء

10- درجة مئوية+40 درجة مئوية (للاستخدام على الأرض)، 0 درجة مئوية-40 درجة مئوية (للاستخدام تحت الماء)

درجة الحرارة التشغيلية للكاميرا

تقريباً 90.2 × 80.3 × 48.8 مم (باستثناء البروزات)

الأبعاد (العرض × الارتفاع × العمق)

تقريباً 133 جرام. (باستثناء البطارية و الكاميرا)

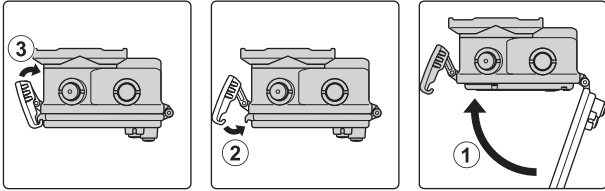
الوزن

أداء المقاومة للماء للحقيبة المقاومة للماء WP-AA1 مكافئ للمقاومة للماء JIS/IEC من الفئة 8 (IPX8). من المؤكد أن الماء لن يدخل حقيبة مقاومة للماء إذا تم إبقاؤها تحت الماء على أعماق تصل إلى 40 متر لمدة تصل إلى 30 دقيقة.

- لن تكون نيكون مسؤولة عن أية أخطاء قد يحتوي عليها هذا الدليل.
- مظهر هذا المنتج ومواصفاته عرضة للتغير بدون إشعار.

3 أألق حقية مقاومة للماء.

- لانم الغطاء الخلفي على الغطاء الأمامي (1). قم بامالة الإبرم إلى جانب الغطاء الخلفي وعلق الحطاف (2). ثم قم بامالة الإبرم حتى يتم قفله في مكانه الصحيح مصدرا صوت طقطقة (3).



إذا أصبحت نافذة العدسة ضبابية

- لإزالة الضباب، جرب إزالة الكاميرا من الحقيبة المقاومة للماء واستخدامها لفترة قبل وضعها مرة أخرى بالداخل. تأكد أنه لا يتبقى ماء في الحقيبة المقاومة للماء عندما تضع الكاميرا مرة أخرى بالداخل.

إذا كان من الصعب فتح الغطاء الخلفي

- في الظروف الموصوفة أدناه، قد يصبح من الصعب فتح الغطاء الخلفي بسبب اختلاف في ضغط الهواء ناجم عن تغيير في درجة الحرارة المحيطة.
 - عند تخزين الحقيبة المقاومة للماء لفترة زمنية طويلة مع غلق الغطاء الخلفي
 - عند تخزين الحقيبة المقاومة للماء في أحوال جوية حارة لفترة زمنية طويلة
 - عند نقل الحقيبة المقاومة للماء إلى مكان به اختلاف كبير في درجة الحرارة
- تأكد أن الغطاء الخلفي ليس مغلقا بالكامل عند تحريك أو تخزين الحقيبة المقاومة للماء.

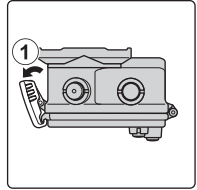
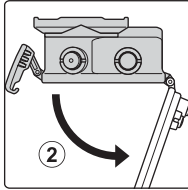
إعداد الكاميرا

إعداد الكاميرا

- قم بإزالة واقي العدسة من الكاميرا. أدخل بطاقة ذاكرة وبطارية مشحونة بالكامل.
- استخدم قطعة قماش نظيفة أو منظف بالهواء لإزالة المواد الدخيلة مثل الماء والتراب من الكاميرا. إذا كانت الكاميرا لا تزال مبتلة عند إدخالها داخل الحقيبة المقاومة للماء، قد يسبب ذلك التآكل.

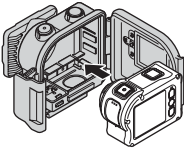
1 افتح حقيبة مقاومة للماء.

- افتح المشبك المعدني (1)، ثم افتح الغطاء الخلفي (2).



2 أدخل الكاميرا.

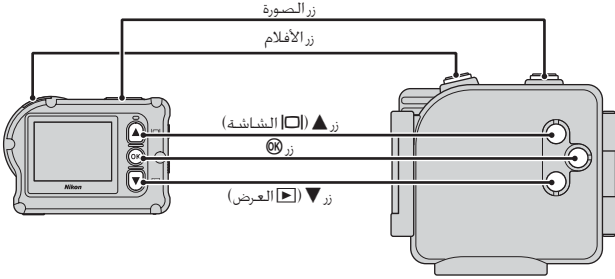
- أدخل الكاميرا في حقيبة مقاومة للماء بحيث يتم ضبط العدسة في نافذة العدسة.



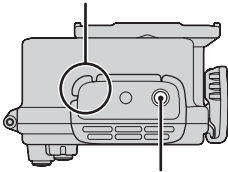
قم بإجراء الفحوصات التالية قبل غلق حقيبة مقاومة للماء.

- أغلق بهدوء الحقيبة المقاومة للماء بحيث لا تنخلع عبوة ضد الماء.
- تأكد من قفل الإبرمات بالكامل.
- لمنع تسرب الماء، خقق مجدداً أن عبوة ضد الماء ليست معتصرة وأنه لم يتم احتجاز شيء دخيل في الحقيبة المقاومة للماء.

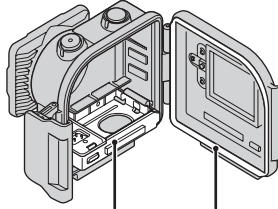
كيفية الاستخدام



الفتحة المخصصة لرباط
الوقاية من السقوط



مقيس الحامل ثلاثي الأرجل



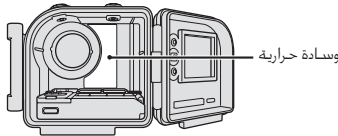
حقيبة بطارية
إضافية

عبوة ضد الماء

ملاحظات حول الوسادة الحرارية



تمنع الوسادة الحرارية درجة الحرارة من الارتفاع. لا تضغط بقوة على الوسادة الحرارية، ولا تقم بتفشير الشريط الأسود.



السفر جوا

إن أمكن، أدرج حقيبة مقاومة للماء في أمتعتك المحمولة عند السفر جوا. عند تعبئة حقيبة مقاومة للماء مع حقائب السفر التي تسلمها، اترك حقيبة مقاومة للماء مفتوحة. إذا كانت حقيبة مقاومة للماء محكمة الغلق، قد تتلف التغيرات في ضغط الهواء حقيبة مقاومة للماء أو تمتع حقيبة مقاومة للماء من أن تفتح.

الارتفاعات العالية

عند السفر من ارتفاعات عالية إلى ارتفاعات منخفضة، افتح حقيبة مقاومة للماء دوريا لجعل الضغط متساويا. إذا تم الاحتفاظ بحقيبة مقاومة للماء محكمة الغلق، قد تتلف التغيرات في ضغط الهواء الحقيبة أو تمنعها من أن تفتح.

بعد الاستخدام

- قم بتنظيف حقيبة مقاومة للماء بأسرع ما يمكن بعد الاستخدام، بدون فتح حقيبة مقاومة للماء أو إزالة الكاميرا. اغسل حقيبة مقاومة للماء في حوض ماء عذب. جفف السطح الخارجي حقيبة مقاومة للماء جيدا بواسطة قطعة قماش ناعمة جافة.
- قم بإزالة الكاميرا ومسح داخل حقيبة مقاومة للماء بواسطة قطعة قماش ناعمة جافة. لا تغسل داخل حقيبة مقاومة للماء بالماء.
- أعد غلق الحقيبة بشكل محكم واتركها في حوض ماء عذب لمدة ساعتين إلى ثلاث ساعات. قم بتنشغيل جميع الأزرار عدة مرات لإزالة الملح. إذا جف الملح على الأزرار، فإنها قد تتوقف عن العمل أو قد تصدأ أجزائها المعدنية، مما يؤدي إلى تسريب حقيبة مقاومة للماء.
- جفف حقيبة مقاومة للماء جيدا بواسطة قطعة قماش ناعمة جافة. لا تستخدم قطعة قماش التنصق الملح بها. اترك حقيبة مقاومة للماء بالخارج لتجف في منطقة ظليلة جيدة التهوية. لا تستخدم مجفف هواء أو مصدر حرارة آخر أو تضع الحقيبة في ضوء الشمس المباشر. يمكن أن تسبب الحرارة تدهور الحقيبة المقاومة للماء أو عبوة ضد الماء، مما يؤدي إلى حدوث تسريب.

التخزين

- اترك الحقيبة المقاومة للماء مفتوحة. عند ترك الحقيبة المقاومة للماء غير مستخدمة لفترة طويلة، ضعها في حقيبة بلاستيكية نظيفة لحماية عبوة ضد الماء من التراب.
- قم بتخزين حقيبة مقاومة للماء في منطقة باردة جيدة التهوية. لا تخزن حقيبة مقاومة للماء في ضوء الشمس المباشر أو حيث ستكون معرضة لتغيرات مفاجئة في درجة الحرارة أو مستويات عالية من الرطوبة. لا تخزن الحقيبة المقاومة للماء أو عبوة ضد الماء مع كرات العنة من النايف أو الكامفور.

اختبار التسريب التمهيدي

- قبل وضع الكاميرا في حقيبة مقاومة للماء، أغلق مزلاج حقيبة مقاومة للماء واغمرها في الماء للتحقق من عدم وجود تسريبات كما هو موضح أدناه.
- أغلق مزلاج حقيبة مقاومة للماء ثم اغمرها ببطء في الماء، وتوقف إذا تم طرد الماء من داخل حقيبة مقاومة للماء.
 - اغمر حقيبة مقاومة للماء وقم بتنشغيل الأزرار تحت الماء لمدة 2 إلى 3 دقائق، وحقق من عدم خروج فقاعات.
 - أخرج حقيبة مقاومة للماء من الماء وجففها جيداً بقطعة قماش ناعمة وجافة، ثم افتح الحقيبة المضادة للماء وحقق من وجود ماء بداخلها.

الصدمة والاهتزاز

- حقيبة مقاومة للماء غير مصممة لحماية الكاميرا من الضربات أو الاهتزاز، لا تسقط حقيبة مقاومة للماء، أو تضرب بها أشياء صلبة، أو تلق بها في الماء، أو تقفز في الماء حاملاً حقيبة مقاومة للماء.

أقصى عمق

- حقيبة مقاومة للماء مقاومة للماء حتى 40 متر. عند الأعماق الأكبر يمكن أن يحدث تسريب بحقيبة مقاومة للماء أو تنكسر أو تتغير شكلها، مما ينتج عنه حدوث تلف بالكاميرا.

درجة الحرارة

- لا تترك حقيبة مقاومة للماء في المناطق المعرضة لدرجة حرارة عالية، أو اشتعال قريب. عدم اتباع هذا التنبيه قد يضعف أو ي تلف حقيبة مقاومة للماء. قد تؤدي التغيرات المفاجئة في درجة الحرارة إلى تكثف داخل حقيبة مقاومة للماء، مما قد يؤدي أيضاً إلى تلف الكاميرا. لمنع التكثف:
- عند انتقالك من مكان لأخر أكثر دفئاً أو برودة، اترك الكاميرا في حقيبة مقاومة للماء حتى تصل إلى نفس درجة حرارة المناطق المحيطة بها.
 - لا تعرّض حقيبة مقاومة للماء لدرجات الحرارة العالية بتركها على الشاطئ، أو في ضوء الشمس المباشر قبل دخول الماء.

الكيمويات

- لا تضع ملامص على حقيبة مقاومة للماء، حيث أن اللاصق يمكن أن يسبب تدهور الحقيبة.
- لا تعرض حقيبة مقاومة للماء للكيمويات التالية أو أبخرتها. قد يؤدي عدم الالتزام بهذا الاحتياط إلى حدوث تلف بحقيبة مقاومة للماء.
- لا تستخدم منظفات كيميائية أو مثبّطات صدأ أو ثنر أو كحول أو كيمويات متطايرة أخرى عند تنظيف حقيبة مقاومة للماء. اغسلها بالمياه العذبة فقط.
- لا تستخدم كيمويات مضادة للضباب.
- لا تستخدم مواد لاصقة.
- كن حذراً من استعمال مستحضرات التجميل مثل كريمات الوقاية من الشمس.

محتويات العبوة

قبل استخدام هذا المنتج، خَقق ما إذا كان قد تم توريد العناصر التالية.

- حقيبة مقاومة للماء WP-AA1
- حقيبة بطارية إضافية (داخل الحقيبة المقاومة للماء)

احتياطات عند الاستخدام

- لا تضع عناصر بخلاف الكاميرا المتوافقة في حقيبة مقاومة للماء WP-AA1.
- قبل استخدام حقيبة مقاومة للماء، خَقق أن هذا المنتج والكاميرا سوف يعملان بشكل صحيح وأنه لا يوجد تسريب للماء، في الحالة بعيدة الاحتمال لتسبب عطل في حقيبة مقاومة للماء في تلف نتيجة الغمر (تسرب الماء). لا تقدم نيكون ضمانا ضد التلفيات للمعدات الداخلية (الكاميرا، البطارية، بطاقة الذاكرة، إلخ.) والمحتويات المسجّلة، والمصروفات اللازمة في التصوير الفوتوغرافي. لن تتحمل نيكون مسؤولية عن التلفيات أو الأرباح المفقودة التي قد تنتج عن تعطل المنتج.
- إذا تعرضت الحقيبة المقاومة للماء للصددمات أو كانت عبوة ضد الماء تبدو متدهورة، يوصى باستشارة تاجر التجزئة الخاص بك أو مثل خدمة نيكون المعتمد المشروح في دليل الكاميرا.
- لا تقم بتركيب الحقيبة المقاومة للماء WP-AA1 على قاعدة التركيب على مقود الدراجة AA-7، لأنهما غير متوافقين.

منع التسرب

- قد يعرض الماء داخل حقيبة مقاومة للماء الكاميرا وحقيبة البطارية الإضافية لتلف لا يمكن إصلاحه، وبالإضافة إلى ذلك قد يؤدي إلى نشوب حريق أو صدمة كهربائية أو تعرض للغازات السامة. يمكن منع دخول الماء داخل حقيبة مقاومة للماء عن طريق الالتزام بالاحتياطات التالية:
- قبل استخدام حقيبة مقاومة للماء في أو بالقرب من الماء، اختبر للتأكد من عدم وجود تسريبات كما هو موضح في هذا الدليل.
- قبل إحكام غلق الحقيبة المقاومة للماء، اختبر عبوة ضد الماء والأجزاء من الحقيبة المقاومة للماء التي تكون ملامسة عبوة ضد الماء، خَقق بعناية أنها خالية من السوائل والقذارة والشعر والانسالة والتراب والرمل وأي أشياء دخيلة، خَقق أن عبوة ضد الماء ليست ملتوية أو في غير موضعها.
- لا تفتح حقيبة مقاومة للماء في المناطق المعرّضة للرياح العاتية أو التراب أو الرمل.
- لا تسقط حقيبة مقاومة للماء، أو تضعها تحت أشياء ثقيلة أو تعرضها للقوة المفرطة، قد يتسبب عدم الالتزام بهذا الاحتياط في اعوجاج حقيبة مقاومة للماء، مما يؤدي إلى حدوث تسرب.
- في حالة التسرب، توقف عن الاستخدام فوراً، وجفف الكاميرا وداخل حقيبة مقاومة للماء، وخذ الكاميرا وحقيبة مقاومة للماء إلى مثل خدمة معتمد من نيكون.

تحذير خاص بالبطاريات

- احفظ البطاريات بعيدًا عن متناول الأطفال. إذا ابتلع طفليبطارية، فاستشر طبيبًا على الفور.
- لا تغمر البطاريات أو تعرضها إلى الماء أو الأمطار. عدم اتباع هذه التعليمات قد يتسبب في حريق أو عطل المنتج. جفف المنتج فورًا بمنشفة أو بشيء مائل إذا تعرض للبلل.
- توقف عن استخدام البطاريات مباشرة في حال ملاحظة أي تغير فيها، مثل تغير في اللون أو الشكل. توقف عن استخدام البطاريات القابلة لإعادة الشحن إذا لم يتم شحنها في الفترة الزمنية المحددة. عدم اتباع هذا التنبيه قد يؤدي إلى تسريب البطاريات أو ارتفاع درجة حرارتها أو انفجارها أو الحريق.
- اعزل أطراف توصيل البطارية عند التخلص بشريط عزل. قد تشتعل أطراف التوصيل أو ترتفع درجة حرارتها أو تنفجر إذا تلامست مع أجسام معدنية.
- أعد تدوير البطاريات أو تخلص منها وفق اللوائح المحلية.
- إذا حدث تلامس بين سائل البطارية وبشرة الشخص أو ملابسه، فقم فورًا بشطف المنطقة المصابة بكمية كبيرة من المياه النظيفة. عدم اتباع هذا التنبيه قد يؤدي إلى حدوث تهيج للبشرة.

تنبيه !

- قم بإزالة البطاريات إذا كان هذا المنتج سيترك دون استخدام لفترة طويلة. عدم اتباع هذه التعليمات قد يتسبب في حريق أو عطل المنتج.
- لا تترك المنتج في مناطق يتعرض فيها لدرجات حرارة مرتفعة لفترة طويلة، مثل سيارة مغلقة أو في ضوء الشمس المباشر. عدم اتباع هذه التعليمات قد يتسبب في حريق أو عطل المنتج.
- انتبه لأصابعك وبديك وبشترتك لكي لا تلامس الجهاز. عدم اتباع هذا التنبيه قد يتسبب في حوادث أو إصابة أخرى.
- لا تضع المنتج على أسطح غير مستقرة أو تثبته فيها. عدم اتباع هذا التنبيه قد يتسبب في فك المنتج أو سقوطه، مما يؤدي إلى حوادث أو إصابة أخرى.

خطر البطاريات !

- لا تفكك البطاريات. عدم اتباع هذه التنبيهات قد يؤدي إلى تسريب البطاريات أو ارتفاع درجة حرارتها أو انفجارها أو الحريق:
 - استخدم فقط البطاريات المخصصة للاستخدام مع هذا المنتج.
 - لا تعرض البطاريات للهب أو لدرجة حرارة مفرطة.
 - لا تفكك المنتج.
 - لا تقصر دوائر الأطراف عن طريق تلميسها بالقلادات أو دبائيس الشعر أو غيرها من الأشياء المعدنية.
 - لا تعرض البطاريات أو المنتجات الأخرى التي تدخل فيها لصدمات بدنية قوية.
- لا حاول إعادة شحن بطاريات EN-EL12 القابلة لإعادة الشحن باستخدام الشواحن/الكاميرات غير المخصصة لهذا الغرض. عدم اتباع هذا التنبيه قد يؤدي إلى تسريب البطاريات أو ارتفاع درجة حرارتها أو انفجارها أو الحريق.
- إذا حدث احتكاك بين سائل البطارية والعينين، فقم بالمشطف بكمية كبيرة من الماء النظيف واستشر طبيبًا على الفور. وتأخير هذا الإجراء قد يؤدي إلى إصابات في العين.

من أجل سلامتك

لمنع إتلاف الممتلكات أو تعريض نفسك أو الآخرين للإصابة، اقرأ "احتياطات السلامة" كاملة قبل استخدام هذا المنتج.

احتفظ بتعليمات السلامة هذه في مكان يتمكن من خلاله جميع مستخدمي هذا المنتج من قراءتها.

عدم مراعاة التنبيهات الموضحة على هذه الأيقونة ينطوي على خطورة كبيرة تتمثل في الوفاة أو الإصابة الحادة.



عدم مراعاة التنبيهات الموضحة على هذا الرمز ينطوي على خطورة كبيرة تتمثل في الوفاة أو الإصابة الحادة.

عدم مراعاة التنبيهات الموضحة على هذه الأيقونة ينطوي على خطورة كبيرة تتمثل في الوفاة أو تلف الممتلكات.



تحذير

- لا تفكك البطارية أو تعدّل هذا المنتج.
لا تلمس الأجزاء الداخلية التي تنكشف بسبب السقوط أو بسبب حادث آخر. عدم اتباع هذه الاحتياطات قد يتسبب في حدوث صدمة كهربية أو إصابة أخرى.
- إذا لاحظت أية أمور غير عادية مثل خروج دخان من المنتج أو حرارة أو روائح غير معتادة، فقم فوراً بفصل البطارية أو مصدر الطاقة، قد يؤدي الاستمرار في الاستخدام إلى التعرض للإصابة أو نشوب حريق.
- لا تستخدم هذا المنتج في وجود غبار قابل للاشتعال أو غاز مثل البروبان أو الغازولين أو الأيروسول. عدم اتباع هذه التنبيهات قد يتسبب في حدوث انفجار أو حريق.
- يحفظ هذا المنتج بعيد عن متناول الأطفال. عدم اتباع هذه التعليمات قد يتسبب في إصابة أو في عطل المنتج. إضافة إلى ذلك، لاحظ أن الأجزاء الصغيرة قد تتسبب في التعرض لخطر الاختناق. في حالة ابتلاع طفل أي جزء من أجزاء هذا المنتج، برجاء استشارة طبيب على الفور.
- لا تستخدم البطاريات غير المخصصة للاستخدام مع هذا المنتج.
عدم اتباع هذا الاحتياط قد يؤدي إلى نشوب حريق أو صدمة كهربية.
- لا تلمسه بأيدي عارية في الأماكن المعرضة لدرجات حرارة عالية جداً أو منخفضة جداً. عدم اتباع هذا التنبيه قد يؤدي إلى الإصابة بحروق أو قضمة صقيع.
- تأكد من أن المنتج مثبت جيداً. قم بمراعاة القواعد واللوائح لجميع المرافق وفي جميع المسابقات التي سيستخدم فيها المنتج. عدم اتباع هذه الاحتياطات قد يتسبب في حوادث أو إصابة أخرى.
- لا ترتدي هذا المنتج إذا كان سيتداخل مع استخدام الأجهزة المطلوبة. عدم اتباع هذا التنبيه قد يتسبب في حوادث أو إصابة أخرى.

Nikon

Waterproof Case

WP-AA1

.....



Ar دليل المستخدم

NIKON CORPORATION

© 2016 Nikon Corporation

Printed in China



YP6K03(F6)
6MHW05F6-03